公共土木施設災害復旧事業に係る
虚偽文書作成事案

広島県

（土木建築局）

令和８年３月３日

国費への影響額について

設計変更協議に添付された協議録80件のうち、虚偽の協議録と判定した61件について、国費への影響額を算出した。

算出に当たっては、協議録が事実ではない案件について、

・実際に災害査定後に現地等において状況変化があったのか

・実際の設計変更の内容や理由がどのようなものであったか

という観点で、施工業者と交わす書類（工事打合せ簿や確認書等）等を改めて調査した。

その結果、査定後に状況変化があり、それに伴う設計変更の内容・理由が、本来、国との設計変更協議において同意を得られる内容・理由である場合は、国費への影響額はないものとして整理した。

一方、書類等で査定後の状況変化が確認できないもの、設計変更の内容や理由についての根拠が確認できないものについては、国との設計変更協議において同意を得ることが難しいと整理し、「実際に施工された工事費」と「正しく措置されていた場合の工事費」との差額を国費への影響額として算出した。

なお、

・一部廃工により減額になる案件については、国費を受け入れていないこと

・協議録の日時等は異なっているものの、実際に相手方と協議を行っているもの

については、国費への影響額はないものとして整理した。

さらに、残土処分先の変更に係る虚偽の協議録（聞取り表）については、その当時の受入れ先の容量や受入状況、受入単価を再確認し、その結果を踏まえ、当時、受入不可とした業者が受入可能だった場合の単価と比較して影響額を算出した。

このような県の考え方について、当事者である県のみの考え方で整理するのは適当ではないと考え、学識経験者の方に意見を伺いながら整理した。

※　本来、国との設計変更協議において同意を得られる事例

・根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更において、「地元関係者との協議により現地製作ができず、二次製品への変更が必要となった」と虚偽の協議録を添付していた案件について、実際は、施工業者との工事打合せ簿等の資料により、二次製品への変更について「施工ヤードが確保できない、あるいは型枠や技能者が不足している」という理由が確認できるもの。

・工事用道路の位置変更において、「地権者から土地の使用を拒否された」と虚偽の協議録を添付していた案件について、実際は、施工業者との工事打合せ簿等の資料により、「地権者が施工業者に対し工事用道路の位置を変更するよう指示をした」という理由が確認できるもの。

【国費への影響額の計】

件数	影響額	内国費
21件	75,294,580円	50,221,475円

※　影響のあった国費について、国から交付決定の一部取消・返還命令が行われる場合は、別途、加算金（影響のあった国費を年度内に返還する場合、約23百万円となる見込み）の納付や、県債の繰上償還が必要となる見込み。

平成30年災　第4289号　一級河川太田川水系根谷川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系根谷川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月15日から1月18日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。工事は、被災した護岸背後の民地（工場敷地）に敷鉄板を敷設した上でバックホウ（0.7m3）により掘削（床堀）作業を実施する内容で申請し決定されたものである。

【決定額8,456,000円】

令和2年12月17日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、工事用道路（敷鉄板）の施工に伴う必要用地については、当該箇所近傍に位置する工場敷地内を地権者承諾のもと無償借地としていた。実施にあたり再度地権者に確認を行った結果、土地使用を拒否された。これに伴い、工事用道路を施工可能、かつ当該箇所直近の位置に変更し、構造については平坦な場所ではないことから敷鉄板タイプから盛土タイプに変更したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　13,934,000円】

（上記理由による増減額　＋5,394,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実ではないと判定した。

実際には、工事着手後、受注者から工事打合せ簿により、バックホウ（0.7m3）では掘削（床堀）範囲に届かないため、河川内に工事用道路を設置することについて協議があり、令和2年2月27日付けで河川内への工事用道路の設置について設計変更の対象とし指示をし、令和３年６月21日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

工事用道路の変更をしなければ工事ができなかったのは事実であるが、工事内容の変更が必要となった原因は、査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなか

った。このため、本来設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（5,553,900 円）と、実際に施工された工事費（B）（10,584,200 円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）　10,584,200　（円）－（A）　5,553,900　（円）＝　5,030,300　（円）
（内国費　3,355,210　（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	4289号	路線名	一級河川太田川水系根谷川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果による工事用道路工の変更」土地の使用の承諾を得ていた地権者から使用を拒否されたことにより工事用道路工の位置と構造(敷鉄板→盛土)を変更したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費(A)(5,553,900円)と、実際に施工された工事費(B)(10,584,200円)との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額(返還対象額)(B)ー(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		2,387,308	1		2,366,652	1		2,366,652			
	河川土工			式	1		552,800	1		431,793	1		431,793			
		掘削工		式				1		1,477	1		1,477			
		掘削		m3				4	369	1,477	4	369	1,477			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				4	369.3	1,477	4	369.3	1,477			
		盛土工		式	1		552,800	1		294,000	1		294,000			
		路体(築堤)盛土		m3	80	6,910	552,800	60	4,900	294,000	60	4,900	294,000			
		購入土盛土	購入土 (総合単価)	m3	80	6,910	552,800									
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				60	4,900	294,000	60	4,900	294,000			
		法面整形工		式				1		13,960	1		13,960			
		法面整形(切土部)		m2				20	698	13,960	20	698	13,960			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				20	698	13,960	20	698	13,960			
		残土処理工		式				1		122,356	1		122,356			
		土砂等運搬		m3				40	658	26,356	40	658	26,356			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				40	658.9	26,356	40	658.9	26,356			
		残土等処分		m3				40	2,400	96,000	40	2,400	96,000			
		投棄料	残土	m3				40	2,400	96,000	40	2,400	96,000			
	護岸基礎工			式				1		18,430	1		18,430			
		作業土工		式				1		18,430	1		18,430			
		床掘り		m3				40	270	10,812	40	270	10,812			
		床掘り	土砂標準	m3				40	270.3	10,812	40	270.3	10,812			
		埋戻し		m3				20	236	4,738	20	236	4,738			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				20	236.9	4,738	20	236.9	4,738			
		基面整正		m2				8	360	2,880	8	360	2,880			
		基面整正		m2				8	360	2,880	8	360	2,880			
	法覆護岸工			式	1		1,805,164	1		1,823,346	1		1,823,346			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		1,691,636	1		1,642,562	1		1,642,562			
		コンクリートブロック基礎		m	13	130,126	1,691,636	13	4,572	59,440	13	4,572	59,440			
		コンクリートブロック積	河川(基礎・裏込材有・裏コン無)1:0.3~1:0.9 (総合単価)	m2	68	24,877	1,691,636									
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				1	59,440	59,440	1	59,440	59,440			
		コンクリートブロック積		m2				68	19,140	1,301,520	68	19,140	1,301,520			
		コンクリートブロック積工		m2				68	19,140	1,301,520	68	19,140	1,301,520			
		胴込・裏込材(砕石)		m3				38	6,179	234,802	38	6,179	234,802			
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				38	6,179	234,802	38	6,179	234,802			
		天端コンクリート		m3				1	46,800	46,800	1	46,800	46,800			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				1	46,800	46,800	1	46,800	46,800			
		護岸付属物工		式	1		113,528	1		180,784	1		180,784			
		小口止		箇所	2	75,049	113,528	2	90,392	180,784	2	90,392	180,784			
		コンクリート擁壁	H=3.0~5.0m (総合単価)	m3	1	36,570	36,570									
		1号小口止工		箇所				1	87,738	87,738	1	87,738	87,738			
		もたれ擁壁	H=5.0~8.0m (総合単価)	m3	2	38,479	76,958									
		2号小口止工		箇所				1	93,046	93,046	1	93,046	93,046			
	構造物撤去工			式	1		29,344	1		93,083	1		93,083			
		構造物取壊し工		式	1		26,444	1		73,454	1		73,454			
		コンクリート構造物取壊し		m3	4	6,611	26,444	5	6,742	33,710	5	6,742	33,710			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	4	6,611	26,444	5	6,742	33,710	5	6,742	33,710			
		土のう撤去		袋				69	576	39,744	69	576	39,744			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				69	576	39,744	69	576	39,744			
		運搬処理工		式	1		2,900	1		19,629	1		19,629			
		殻運搬		m3	4	725	2,900	5	625	3,129	5	625	3,129			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	4	725.1	2,900	5	625.9	3,129	5	625.9	3,129			
		殻処分		m3				5	3,300	16,500	5	3,300	16,500			
		コンクリート殻 (無筋) 処分費	再生工場搬入	t				11	1,500	16,500	11	1,500	16,500			
	全工種共通仮設			式	1		348,123	1		297,962	1		3,476,601		3,177,639	
	仮設工			式	1		348,123	1		297,962	1		3,476,601		3,177,639	
		工事用道路工		式	1		81,300	1		50,974	1		1,654,486		1,603,512	
		敷鉄板		m2	25	3,252	81,300	75	679	50,974				▲ 75	▲ 50,974	
		工事用道路	W=3.0m(敷鉄板,t=22mm) (総合単価)	m	25	3,252	81,300									
		敷鉄板設置		m2				75	162	12,150				▲ 75	▲ 12,150	
		敷鉄板撤去		m2				75	152	11,400				▲ 75	▲ 11,400	
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚				16	1,714	27,424				▲ 16	▲ 27,424	
		工事用道路盛土		m3							480	839	402,768	480	402,768	
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3							480	839.1	402,768	480	402,768	
		土砂等運搬		m3							530	557	295,475	530	295,475	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							530	557.5	295,475	530	295,475	
		土材料		m3							640	600	384,000	640	384,000	
		購入土		m3							640	600	384,000	640	384,000	
		整地		m3							20	1,267	25,340	20	25,340	
		復興歩掛_整地	敷均し(ルーズ)	m3							20	147	2,940	20	2,940	
		再生クラッシャラン	40~0mm	m3							16	1,400	22,400	16	22,400	
		掘削		m3							500	369	184,650	500	184,650	
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3							500	369.3	184,650	500	184,650	
		土のう		袋							51	7,103	362,253	51	362,253	
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋							51	6,527	332,877	51	332,877	
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋							51	576	29,376	51	29,376	
		土留・仮締切工		式	1		58,877	1		92,339	1		56,824		▲ 35,515	
		土のう		袋	13	4,529	58,877	13	7,103	92,339	8	7,103	56,824	▲ 5	▲ 35,515	
		大型土のう	(総合単価)	袋	13	4,529	58,877									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				13	6,527	84,851	8	6,527	52,216	▲ 5	▲ 32,635	
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				13	576	7,488	8	576	4,608	▲ 5	▲ 2,880	
		水替工		式	1		184,368	1		112,485	1		112,485			
		ポンプ排水		日	3	61,456	184,368	5	31,685	112,485	5	22,497	112,485			
		締切排水工	(総合単価)	箇所	1	184,368	184,368									
		ポンプ設置・撤去		箇所				1	68,910	68,910	1	68,910	68,910			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				5	8,715	43,575	5	8,715	43,575			
		残土処理工		式	1		23,578	1		42,164	1		1,651,806		1,609,642	
		土砂等運搬		m3				10	557	5,575				▲ 10	▲ 5,575	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				10	557.5	5,575				▲ 10	▲ 5,575	
		土材料		m3	10	1,800	18,000	10	600	6,000				▲ 10	▲ 6,000	
		購入土		m3	10	1,800	18,000	10	600	6,000				▲ 10	▲ 6,000	
		土砂等運搬		m3	10	557	5,578	10	658	6,589	540	658	355,806	530	349,217	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	10	557.8	5,578	10	658.9	6,589	540	658.9	355,806	530	349,217	
		残土等処分		m3				10	2,400	24,000	540	2,400	1,296,000	530	1,272,000	
		投棄料	残土	m3				10	2,400	24,000	540	2,400	1,296,000	530	1,272,000	

直接工事費						2,735,431			2,664,614			5,842,253		3,177,639	
処分費・投棄料等									136,500					▲ 136,500	
運搬費						97,104			125,696					▲ 125,696	
運搬費			式	1		97,104	1		125,696				▲ 1	▲ 125,696	
運搬費			式	1		97,104	1		125,696				▲ 1	▲ 125,696	
	仮設材運搬費		t	14	7,140	97,104	14	9,820	125,696				▲ 14	▲ 125,696	
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,型工板,鉄鉄板等)運搬	運搬距離7.9km	式	1	97,104	97,104	1	125,696	125,696				▲ 1	▲ 125,696	
共通仮設費率分						342,000			359,000			635,000		276,000	
共通仮設費計						439,104			484,696			635,000		150,304	
純工事費						3,174,535			3,149,310			6,477,253		3,327,943	
現場管理費						1,333,000			1,469,000			2,491,000		1,022,000	
工事原価						4,507,535			4,618,310			8,968,253		4,349,943	
一般管理費率分						1,023,662			756,690			1,273,747		517,057	
契約保証費						1,803									
一般管理費計						1,025,465			756,690			1,273,747		517,057	
工事価格						5,533,000			5,375,000			10,242,000		4,867,000	
工事価格計						5,533,000			5,049,000			9,622,000		4,573,000	落札率込
消費税相当額						442,640			504,900			962,200		457,300	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						5,975,000			5,553,900			10,584,200		5,030,300	
工事雑費						89,000			83,000			158,000		75,000	
応急工事費						2,392,000			2,392,640			2,392,640			
工事費計						8,456,000			8,029,540			13,134,840		5,105,300	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														3,355,210	

平成30年災　第3367号　一級河川太田川水系山倉川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系山倉川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月17日から12月21日の間に実施された。決定した工事概要は被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。工事は、被災した護岸の対岸にある市道から直接作業する内容で申請し決定されたものである。

【決定額4,485,000円】

令和3年1月5日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、市道335号線の交通規制（通行止め）を行い、市道上での施工を想定していたことから、工事用道路工は未計上であった。実施にあたり、地元関係者との調整を行った結果、市道335号線の交通規制（通行止め）を行うことについて同意を得ることができなかった。これに伴い、護岸背後地と最寄りの市道534号線との間に、新たに工事用道路工を追加したい。なお、平坦部は敷鉄板タイプ、盛土を要する区間は盛土タイプにて設計した。」

との内容の協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　6,798,000円】

（上記理由による増減額　＋2,050,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議記録簿の内容は事実ではないと判定した。

実際には、被災した護岸背後に工事用道路を追加して工事を行い、令和3年2月26日付けで変更契約を締結し、令和３年３月11日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付し、設計変更協議をしていたものである。

（影響額の算定）

工事用道路の追加をしなければ工事ができなかったのは事実であるが、配置が必要となった原因は、査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（4,528,700円）と、実際に施工された工事費（B）（6,419,600円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理

した金額）

（B）　6,419,600　（円）－（A）　4,528,700　（円）＝　1,890,900　（円）
（内国費　1,261,230（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	3367号	路線名	一級河川太田川水系山倉川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果による工事用道路工の追加」地元から工事に伴う交通規制（通行止め）の同意を得ることができないため、工事用道路工（盛土・敷鉄板）を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（4,528,700円）と、実際に施工された工事費（B）（6,419,600円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		2,015,159	1		2,163,069	1		2,863,041		799,972	
	河川土工			式	1		18,737	1		152,024	1		152,024			
		掘削工		式				1		7,272	1		7,272			
		掘削		m3				20	363	7,272	20	363	7,272			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				20	363.6	7,272	20	363.6	7,272			
		盛土工		式	1		18,737	1		16,134	1		16,134			
		河床盛土		式	4	4,684	18,737	1	16,134	16,134	1	16,134	16,134			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3	4	884.3	3,537	4	233.5	934	4	233.5	934			
		割ぐり石	150～50mm	m3	4	3,800	15,200	4	3,800	15,200	4	3,800	15,200			
		法面整形工		式				1		28,064	1		28,064			
		法面整形(切土部)		m2				40	701	28,064	40	701	28,064			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				40	701.6	28,064	40	701.6	28,064			
		残土処理工		式				1		100,554	1		100,554			
		土砂等運搬		m3				30	751	22,554	30	751	22,554			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				30	751.8	22,554	30	751.8	22,554			
		残土等処分		m3				30	2,600	78,000	30	2,600	78,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3				30	2,600	78,000	30	2,600	78,000			
	護岸基礎工			式				1		7,755	1		7,755			
		作業土工		式				1		7,755	1		7,755			
		床掘り		m3				20	266	5,326	20	266	5,326			
		床掘り	土砂標準	m3				20	266.3	5,326	20	266.3	5,326			
		埋戻し		m3				1	233	233	1	233	233			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				1	233.5	233	1	233.5	233			
		基面整正		m2				6	366	2,196	6	366	2,196			
		基面整正		m2				6	366	2,196	6	366	2,196			
	法覆護岸工			式	1		978,740	1		1,036,643	1		1,036,643			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		646,802	1		621,480	1		621,480			
		コンクリートブロック基礎		m				5	4,867	24,336	5	4,867	24,336			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				0.4	60,840	24,336	0.4	60,840	24,336			
		コンクリートブロック積		m2	26	24,877	646,802	26	19,620	510,120	26	19,620	510,120			
		コンクリートブロック積	河川(護岸-普通材等-普コン無)1:0.2～1:0.8（総合単価）	m2	26	24,877	646,802									
		コンクリートブロック積工(練積)	粗面ブロック	m2				26	19,620	510,120	26	19,620	510,120			
		胴込・裏込材(砕石)		m3				14	6,216	87,024	14	6,216	87,024			
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				14	6,216	87,024	14	6,216	87,024			
		護岸付属物工		式	1		200,688	1		323,800	1		323,800			
		コンクリート根継		m	5	18,196	90,978	5	19,622	98,110	5	19,622	98,110			
		コンクリート根継	一法型,t=40cm,H=2m（総合単価）	m3	2	45,489	90,978									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				2	31,190	62,380	2	31,190	62,380			
		型枠	一般型枠	m2				5	7,146	35,730	5	7,146	35,730			
		小口止		箇所	2	54,855	109,710	2	112,845	225,690	2	112,845	225,690			
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	3	36,570	109,710									
		1号小口止工		箇所				1	107,876	107,876	1	107,876	107,876			
		2号小口止工		箇所				1	117,814	117,814	1	117,814	117,814			
		石積(張)工		式	1		131,250	1		91,363	1		91,363			
		石積		m2	7	18,750	131,250	7	9,664	67,648	7	9,664	67,648			
		石積	練積(胴張-普通材等-普コン有)1:0.2～1:0.8（総合単価）	m2	7	18,750	131,250									
		石積(張)	積工	m2				7	9,664	67,648	7	9,664	67,648			
		胴込・裏込コンクリート		m3				0.9	26,350	23,715	0.9	26,350	23,715			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	積工	m3				0.9	26,350	23,715	0.9	26,350	23,715			
	根固め工			式	1		333,260	1		417,360	1		417,360			
		護床工		式	1		291,500	1		374,280	1		374,280			
		底張コンクリート工		式	1		79,500	1	93,570	93,570	1	93,570	93,570			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	3	26,500	79,500	2	31,190	62,380	2	31,190	62,380			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				1	31,190	31,190	1	31,190	31,190			
		水叩工		式	1		212,000	1	280,710	280,710	1	280,710	280,710			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	8	26,500	212,000	9	31,190	280,710	9	31,190	280,710			
		かご工		式	1		41,760	1		43,080	1		43,080			
		ふとんかご		m	4	10,440	41,760	4	10,770	43,080	4	10,770	43,080			
		ふとんかご	設置	m	4	10,440	41,760	4	10,770	43,080	4	10,770	43,080			
	構造物撤去工			式	1		184,888	1		186,696	1		186,696			
		構造物取壊し工		式	1		184,888	1		186,696	1		186,696			
		コンクリート構造物取壊し		m3	16	6,611	105,776	16	6,737	107,792	16	6,737	107,792			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)	機械施工	m3	16	6,611	105,776	10	6,737	67,370	10	6,737	67,370			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)	機械施工	m3				2	6,737	13,474	2	6,737	13,474			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)	機械施工	m3				4	6,737	26,948	4	6,737	26,948			
		コンクリート取壊し運搬処理		m3	16	4,945	79,112	16	4,931	78,904	16	4,931	78,904			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	16	1,382	22,112	16	1,369	21,904	16	1,369	21,904			
		コンクリート殻処分費	無筋	t	38	1,500	57,000	38	1,500	57,000	38	1,500	57,000			
	仮設工			式	1		499,534	1		362,591	1		1,162,563		799,972	
		工事用道路工		式							1		179,274	1	179,274	
		工事用道路盛土		m3							100	840	84,092	100	84,092	
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3							100	230.3	23,030	100	23,030	
		復興歩掛_整地	敷均し(ルーズ)	m3							10	146.6	1,466	10	1,466	
		再生クラッシャラン	40～0mm	m3							14	1,400	19,600	14	19,600	
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3							110	363.6	39,996	110	39,996	
		敷鉄板		m2							145	656	95,182	145	95,182	
		敷鉄板設置		m2							145	162	23,490	145	23,490	
		敷鉄板撤去		m2							145	153	22,185	145	22,185	
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚							31	1,597	49,507	31	49,507	
		土留・仮締切工		式	1		54,348	1		85,464	1		85,464			
		土のう		袋	12	4,529	54,348	12	7,122	85,464	12	7,122	85,464			
		大型土のう	（総合単価）	袋	12	4,529	54,348									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				12	6,543	78,516	12	6,543	78,516			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				12	579	6,948	12	579	6,948			
		水替工		式	1		394,607	1		225,609	1		225,609			
		ポンプ排水		日	5	73,747	368,736	5	36,479	182,395	5	36,479	182,395			
		締切排水工	（総合単価）	箇所	2	184,368	368,736									
		ポンプ設置・撤去		箇所				2	69,660	139,320	2	69,660	139,320			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				5	8,615	43,075	5	8,615	43,075			
		暗渠排水管		m	41	631	25,871	41	1,054	43,214	41	1,054	43,214			
		掛樋工	高密度ポリエチレン管φ200～400mm（総合単価）	m	41	631	25,871									
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管200～400mm	m				41	1,054	43,214	41	1,054	43,214			
		残土処理工		式	1		50,579	1		51,518	1		672,216		620,698	
		土材料		m3	10	1,800	18,000	10	1,800	18,000	150	1,800	270,000	140	252,000	
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	10	1,800	18,000	10	1,800	18,000	150	1,800	270,000	140	252,000	
		土砂等運搬		m3	10	658	6,579	10	751	7,518	120	751	90,216	110	82,698	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	10	657.9	6,579	10	751.8	7,518	120	751.8	90,216	110	82,698	
		残土等処分		m3	10	2,600	26,000	10	2,600	26,000	120	2,600	312,000	110	286,000	
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3	10	2,600	26,000	10	2,600	26,000	120	2,600	312,000	110	286,000	
直接工事費							2,015,159			2,163,069			2,963,041		799,972	
処分費・投棄料等							83,000			161,000			447,000		286,000	
	運搬費												244,518		244,518	
		運搬費		式							1		244,518	1	244,518	
		運搬費		式							1		244,518	1	244,518	
		仮設材運搬費		t							24.9	9.820	244,518	24.9	244,518	
		仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離4.6km	式							1	244,518	244,518	1	244,518	
	共通仮設費率分						302,000			284,000			358,000		74,000	
共通仮設費計							302,000			284,000			602,518		318,518	
純工事費							2,317,159			2,447,069			3,565,559		1,118,490	
現場管理費							1,022,000			1,123,000			1,532,000		409,000	
工事原価							3,339,159			3,570,069			5,097,559		1,527,490	
	一般管理費率分															
	契約保証費															
一般管理費計							752,841			632,931			859,441		226,510	
工事価格							4,092,000			4,203,000			5,957,000		1,754,000	
工事価格計							4,092,000			4,117,000			5,836,000		1,719,000	落札率込
消費税相当額							327,360			411,700			583,600		171,900	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							4,419,000			4,528,700			6,419,600		1,890,900	
工事雑費							66,000			67,000			96,000		29,000	
工事費計							4,485,000			4,595,700			6,515,600		1,919,900	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															1,261,230	

平成30年災　第3924号　一級河川太田川水系麻下川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系麻下川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額12,684,000円】

令和3年1月14日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所は背後に県が管理する公園用地（広島県緑化センター）があったことから、査定時は施設管理者と協議の結果により護岸復旧はブロック積工とし、背後地等の境界は安定勾配により盛土として設計した。実施にあたり、再度公園管理者と協議を行った結果、県災の工事発注が当初の予定から遅れたこと（不調・不落の多発が要因）を理由に、公園用地内において、被災水位の高さまでの護岸復旧（ふとんかご工）をする旨を伝えられた。公園用地内の護岸復旧工法は河川護岸と同様の構造となることから、当該箇所（A箇所）を廃止としたい。」

との内容について、背後地の公園管理者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　3,725,000円】

（上記理由による増減額　△9,973,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議記録簿の内容は事実ではないと判定した。

実際には、当初契約後、公園管理者である農林部局において、先に施工していることが判明したため、土木部局の災害復旧分を廃工した。なお、この廃工については、変更契約を締結し、令和５年３月30日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議記録簿を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議記録簿は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・災害復旧事業の二重採択防止に係る覚書を厳守するよう改めて周知徹底を図る。

平成30年災　第4635号　一級河川太田川水系湯坂川及支川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系湯坂川及支川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月21日から1月25日の間に実施された。決定した工事概要は被災した護岸を石積工で復旧するものであり、現場はA箇所からG箇所まで複数に分かれている。

【決定額20,292,000円】

令和3年1月15日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①施工機械の変更及び材料等の小運搬の計上＞について、

「査定時に想定していた工事車両の通行ルートについて、実施にあたり、地元関係者と協議した結果、通行を拒否された。これに伴い通行ルートを変更することとなり、査定時の工事用道路の通行が不可能となったため、変更通行ルートでの小型機械（BH0.8m3→0.28m3等）による施工機械の変更及び材料等の小運搬の追加計上を行いたい。なお、査定時に想定していた工事車両の通行ルートの道路拡幅等、複数の通行ルートを比較検討した結果、最も安価な変更通行ルートを採用している。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　29,323,000円】

（上記理由による増減額　＋3,861,000円）

また、＜理由②護岸線形の変更及び用地買収面積の増加＞について、

「平成30年7月豪雨は激甚であったことから、大規模災害時における公共土木施設災害復旧事業査定方針に則り、国土交通省水管理・国土保全局防災課と協議を行い、査定の簡素化の適用を受けた。この中において「設計書に添付する図面等の効率化」の適用を受け、当該箇所は、測量結果に基づき、査定決定を受けた。査定時には、簡素化の適用を受けて、調整を省略していた床掘影響線外の設計について、工事による近接家屋への影響はないと判断していた。実施にあたり、地権者より被災箇所における変状について連絡を受け、現地確認を行ったところ、施工位置の変更を要望された。これに伴い、査定時の線形設計では安全な施工ができないことから、工事による近接家屋への影響が生じないよう、護岸工（C、E箇所）の線形を変更し、用地買収面積を増加したい。なお、工損事前調査は県単独費にて実施しているが、その結果、建物本体への損害は見受けられていない。また、査定時の設計と変更設計による施工を費用比較した結果、変更設計による施工が安価になることを確認している。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　29,323,000 円】
（上記理由による増減額　＋2,111,000 円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の両方とも内容は事実ではないと判定した。

実際には、①については、受注者から令和元年 5 月 22 日付けで大型車が通行困難との内容について確認依頼書が提出され、現地を確認したところ、大型車が通行できない道路であったため設計（契約）変更の対象とし、令和元年 5 月 27 日付けで確認結果を通知した。また②については、護岸線形の変更について令和 4 年 3 月 15 日付けで変更契約を締結している。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和４年３月 25 日付けで完成している。

①については、国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。
また②については、査定どおりの施工は困難であったため、地権者から要望があったこととする事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）
【①施工機械の変更及び材料等の小運搬の計上】
施工機械の変更及び材料等の小運搬をしなければ工事が出来なかったのは事実であるものの、配置が必要となった原因は査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（19,800,000 円）と、実際に施工された工事費（B）（24,032,800 円）との差額を影響額とした。

（B）　24,032,800　（円）－（A）　19,800,000　（円）＝　4,232,800　（円）
（内国費　2,823,277（円））

【②護岸線形の変更及び用地買収面積の増加】
令和 2 年 7 月に家屋前面の亀裂発生の申出が有り現地を確認したところ、護岸線形の変更が必要であったのは事実であり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２一に定める「水勢又は地形の変動」に該当するため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	4635号	路線名	一級河川太田川水系湯坂川及支川

内容

■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果による施工機械の変更及び材料等の小運搬の計上」　想定していたルートの通行が不可となったことにより施工機械の変更及び材料等の小運搬を計上したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（19,800,000円）と、実際に施工された工事費（B）（24,032,800円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		摘要
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		6,677,314	1		7,674,582	1		8,741,730		1,067,148	
	河川土工			式	1		306,368	1		1,233,085	1		1,907,209		674,124	
		掘削工		式	1			1		57,730	1		233,220		175,490	
		掘削		m3				230	251	57,730	230	1,014	233,220		175,490	
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				230	251	57,730				▲ 230	▲ 57,730	
		掘削	土砂上記以外(小規模)	m3							230	1,014	233,220	230	233,220	
		盛土工		式	40	4,601	306,368	1		282,685	1		414,004		131,319	
		路体(築堤)盛土		m3	40	4,601	184,040	50	4,784	239,200	50	6,253	312,670		73,470	
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3	40	4,601	184,040	50	4,784	239,200	50	4,784	239,200			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	1,035	62,100	60	62,100	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
		河床砕石		m3	30	4,077	122,328	27	1,610	43,485	27	3,753	101,334		57,849	
		積込(ルーズ)	土砂	m3	30	277.6	8,328	30	189.5	5,685	30	893.3	26,799		21,114	
		割くり石	150～50mm	m3	30	3,800	114,000									
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							30	1,035	31,050	30	31,050	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							30	189.5	5,685	30	5,685	
		再生クラッシャラン	40～0mm	m3				27	1,400	37,800	27	1,400	37,800			
		法面整形工		式				1		118,490	1		204,170		85,680	
		法面整形(切土部)		m2				170	697	118,490	170	1,201	204,170		85,680	
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				170	697	118,490				▲ 170	▲ 118,490	
		法面整形	切土部現場制約有り	m2							170	1,201	204,170	170	204,170	
		残土処理工		式				1		774,180	1		1,055,815		281,635	
		土砂等運搬		m3				230	1,366	314,180	230	2,590	595,815		281,635	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				230	1,366	314,180	230	1,366	314,180			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							230	1,035	238,050	230	238,050	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							230	189.5	43,585	230	43,585	
		残土等処分		m3				230	2,000	460,000	230	2,000	460,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3				230	2,000	460,000	230	2,000	460,000			
	護岸基礎工			式				1		125,375	1		150,025		24,650	
		作業土工		式				1		125,375	1		150,025		24,650	
		床掘り		m3				70	1,764	123,480	70	1,764	123,480			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3				70	1,764	123,480	70	1,764	123,480			
		埋戻し		m3				10	189	1,895	10	2,654	26,545		24,650	
		積込(ルーズ)	土砂	m3				10	189.5	1,895	10	1,430	14,300		12,405	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							10	1,035	10,350	10	10,350	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							10	189.5	1,895	10	1,895	
	法覆護岸工			式	1		4,550,981	1		5,214,168	1		5,488,407		274,239	
		石積(張)工		式	1		3,415,300	1		3,389,710	1		3,598,757		209,047	
		石積(張)基礎		m				74	4,766	352,740	74	5,097	377,222		24,482	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				6	58,790	352,740	6	61,850	371,100		18,360	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							5	1,035	5,175	5	5,175	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							5	189.5	947	5	947	
		石積		m2	196	17,425	3,415,300	181	9,578	1,733,618	181	9,578	1,733,618			
		石積(張)	積工	m2	196	17,425	3,415,300	181	9,578	1,733,618	181	9,578	1,733,618			
		胴込・裏込コンクリート		m3				21	25,680	539,280	21	28,590	600,390		61,110	
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				21	25,680	539,280	21	28,590	600,390		61,110	
		裏込材		m3				92	5,791	532,772	92	6,988	642,977		110,205	
		裏込材(クラッシャラン)	積工	m3				92	5,791	532,772	92	5,791	532,772			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							90	1,035	93,150	90	93,150	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							90	189.5	17,055	90	17,055	
		天端コンクリート		m				72	3,212	231,300	72	3,396	244,550		13,250	
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				5	46,260	231,300	5	48,910	244,550		13,250	
		護岸付属物工		式	1		296,310	1		899,496	1		929,688		30,192	
		小口止		箇所	9	41,610	296,310	10	89,949	899,496	10	92,968	929,688		30,192	
		コンクリート擁壁	H＝3.0m未満（総合単価）	m3	4	46,650	186,600									
		コンクリート擁壁	H＝3.0m～5.0m未満（総合単価）	m3	3	36,570	109,710									
		1号小口止工		箇所				1	62,746	62,746	1	64,768	64,768		2,022	
		2号小口止工		箇所				1	48,231	48,231	1	49,774	49,774		1,543	
		3号小口止工		箇所				1	84,165	84,165	1	86,878	86,878		2,713	
		4号小口止工		箇所				1	43,407	43,407	1	44,790	44,790		1,383	
		5号小口止工		箇所				1	58,793	58,793	1	60,682	60,682		1,889	
		6号小口止工		箇所				1	190,756	190,756	1	197,406	197,406		6,650	
		7号小口止工		箇所				1	90,667	90,667	1	93,593	93,593		2,926	
		8号小口止工		箇所				1	52,950	52,950	1	54,652	54,652		1,702	
		9号小口止工		箇所				1	42,642	42,642	1	43,999	43,999		1,357	
		10号小口止工		箇所				1	225,139	225,139	1	233,146	233,146		8,007	
		石積(張)工（すりつけ）		式	1		723,680	1		700,400	1		723,680		23,280	
		石積		m2	33	17,897	590,601	46	10,760	494,960	46	10,760	494,960			
		石積(張)	材料（基礎・裏込材料・裏コン無）1：0.2～1：0.3（総合単価）	m2	33	17,897	590,601									
		石積(張)	積工	m2				46	10,760	494,960	46	10,760	494,960			
		胴込・裏込コンクリート		m3				8	25,680	205,440	8	28,590	228,720		23,280	
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				8	25,680	205,440	8	28,590	228,720		23,280	
		Coブロック工（すりつけ）		式	1		248,770	1		224,562	1		236,282		11,720	
		コンクリートブロック基礎		m				1	11,758	11,758	1	12,480	12,480		722	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				0.2	58,790	11,758	0.2	61,850	12,370		612	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							0.09	1,035	93	0.09	93	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							0.09	189.5	17	0.09	17	
		コンクリートブロック積		m2	10	24,877	248,770	10	18,810	188,100	10	19,420	194,200		6,100	
		コンクリートブロック積	材料（基礎・裏込材料・裏コン無）1：0.2～1：0.3（総合単価）	m2	10	24,877	248,770									
		コンクリートブロック積工		m2				10	18,810	188,100	10	19,420	194,200		6,100	
		胴込・裏込材(砕石)		m3				4	6,176	24,704	4	7,400	29,602		4,898	
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				4	6,176	24,704	4	6,176	24,704			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							4	1,035	4,140	4	4,140	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							4	189.5	758	4	758	
	床固め工			式	1		1,171,558	1		1,065,550	1		1,097,830		32,280	
		護床工		式	1		997,158	1		889,470	1		921,750		32,280	
		均しコンクリート		m3				12	27,300	327,600	12	29,990	359,880		32,280	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB（バックホウ打設）	m3				12	27,300	327,600	12	29,990	359,880		32,280	
		底張コンクリート		m3	33	26,510	874,830	27	20,810	561,870	27	20,810	561,870			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB（ポンプ車打設）	m3	33	26,510	874,830	27	20,810	561,870	27	20,810	561,870			
		かご工		式	1		174,400	1		176,080	1		176,080			
		ふとんかご		m	16	10,900	174,400	16	11,005	176,080	16	11,005	176,080			
		ふとんかご	設置	m	12	11,050	132,600	12	11,160	133,920	12	11,160	133,920			
		ふとんかご	設置	m	4	10,450	41,800	4	10,540	42,160	4	10,540	42,160			
	構造物撤去工			式	1		35,565	1		36,384	1		98,259		61,875	
		構造物取壊し工		式	1		19,833	1		19,887	1		74,850		54,963	
		コンクリート構造物取壊し		m3	3	6,611	19,833	3	6,629	19,887	3	24,950	74,850		54,963	
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	3	6,611	19,833	3	6,629	19,887	3	24,950	74,850		54,963	
		運搬処理工		式	1		15,732	1		16,497	1		23,409		6,912	
		殻運搬		m3	3	2,044	6,132	3	2,499	7,497	3	4,803	14,409		6,912	
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	3	2,044	6,132	3	2,499	7,497	3	2,499	7,497			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし人力積込	m3							3	2,304	6,912	3	6,912	
		殻処分		m3	3	3,200	9,600	3	3,000	9,000	3	3,000	9,000			
		コンクリート殻処分費	無筋	t	8	1,200	9,600	6	1,500	9,000	6	1,500	9,000			

	全工種共通仮設			式	1		2,162,053	1		2,909,880	1		4,268,378		1,358,498	
	仮設工			式	1		2,162,053	1		2,909,880	1		4,268,378		1,358,498	
		工事用道路工		式	1		1,377,425	1		462,197	1		926,810		464,613	
		工事用道路（盛土）		m	137	8,313	1,138,881	137	1,502	205,779	137	4,893	670,392		464,613	
		工事用道路	W＝4.0m（総合単価）	m	137	8,313	1,138,881									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3				310	158.7	49,197	310	638	197,780		148,583	
		整地	敷均し(ルーズ)	m3				40	283.3	11,332	40	283.3	11,332			
		再生クラッシャラン	40～0mm	m3				41	1,400	57,400	41	1,400	57,400			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							40	1,035	41,400	40	41,400	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							40	189.5	7,580	40	7,580	
		掘削	土砂上記以外(小規模)	m3				350	251	87,850	350	1,014	354,900		267,050	
		工事用道路（敷鉄板）		m	40	3,252	130,080	40	4,071	162,878	40	4,071	162,878			
		工事用道路	W＝3.0m（鉄板板、t＝22mm（総合単価）	m	40	3,252	130,080									
		敷鉄板設置・撤去		m2				120	217	26,040	120	217	26,040			
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚				26	5,263	136,838	26	5,263	136,838			
		土のう		袋	16	6,779	108,464	20	4,677	93,540	20	4,677	93,540			
		大型土のう	（総合単価）	袋	16	4,529	72,464									
		購入土砂（ほぐし）	設計CBR20以上	m3	20	1,800	36,000									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				20	4,102	82,040	20	4,102	82,040			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				20	575	11,500	20	575	11,500			
		水替工		式	1		748,908	1		428,263	1		428,263			
		ポンプ排水		日	24	184,368	553,104	21	18,496	388,422	21	18,496	388,422			
		締切排水工	（総合単価）	箇所	3	184,368	553,104									
		ポンプ設置・撤去		箇所				3	68,840	206,520	3	68,840	206,520			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				21	8,662	181,902	21	8,662	181,902			
		水替とい		m	108	1,813	195,804	108	368	39,841	108	368	39,841			
		掛樋工	高密度ポリエチレン管450～600mm（総合単価）	m	108	1,813	195,804									
		暗渠排水管	板付波状管及び鋼状管450～600mm	m				108	368.9	39,841	108	368.9	39,841			
		残土処理工		式	1		35,720	1		2,019,420	1		2,913,305		893,885	
		土材料		m3				430	1,800	774,000	430	2,825	1,214,820		440,820	
		購入土砂（ほぐし）	設計CBR20以上	m3				430	1,800	774,000	430	1,800	774,000			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							360	1,035	372,600	360	372,600	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							360	189.5	68,220	360	68,220	
		土砂等運搬		m3	10	1,572	15,720	370	1,366	505,420	370	2,590	958,485		453,065	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	10	1,572	15,720	370	1,366	505,420	370	1,366	505,420			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							370	1,035	382,950	370	382,950	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							370	189.5	70,115	370	70,115	
		残土等処分		m3	10	2,000	20,000	370	2,000	740,000	370	2,000	740,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3	10	2,000	20,000	370	2,000	740,000	370	2,000	740,000			
直接工事費							8,226,525			10,584,442			13,010,108		2,425,666	
処分費・投業料等							29,600						1,209,000		1,209,000	
	運搬費						153,180						153,180		153,180	
		運搬費		式	1		153,180	1		153,180	1		153,180			
		運搬費		式	1		153,180	1		153,180	1		153,180			
		仮設材運搬費		t	20.7	7,400	153,180	20.7	7,400	153,180	20.7	7,400	153,180			
		仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離12.8km	式	1	153,180	153,180	1	153,180	153,180	1	153,180	153,180			
	共通仮設費率分						1,145,000			1,313,000			1,564,000		251,000	
共通仮設費計							1,298,180			1,466,180			1,717,180		251,000	
純工事費							9,402,377			12,050,622			14,727,288		2,676,666	
現場管理費							3,935,000			4,503,000			5,356,000		853,000	
工事原価							13,337,377			16,553,622			20,083,288		3,529,666	
	一般管理費率分						27,166,289			1,990,659			2,427,338		436,679	
	契約保証費						5,334			5,963			5,963			
一般管理費計							2,721,623			1,996,378			2,432,712		436,334	
工事価格							16,059,000			18,550,000			22,516,000		3,966,000	
工事価格計							16,059,000			18,000,000			21,848,000		3,848,000	落札率込
消費税相当額							1,284,720			1,800,000			2,184,800		384,800	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							17,343,000			19,800,000			24,032,800		4,232,800	
用地費及び補償費							945,000			541,031			541,031			
工事雑費							300,000			319,969			382,969		63,000	
応急工事費							1,704,000			1,665,360			1,665,360			
工事費計							20,292,000			22,326,360			26,622,160		4,295,800	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															2,823,277	

平成30年災　第3782号　その他河川 天地川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川 天地川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月25日から12月27日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額13,778,000円】

令和３年１月27日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は交通誘導警備員を配置しない計画としており、事前の災害復旧事業の説明では、地元関係者に交通誘導員を配置しない旨を説明していた。工事開始後、地元関係者より、工事車両の通行が想像より多く、また、通学路ではないが児童がよく通る道路であるため、工事用道路進入口に交通誘導警備員を配置してほしい、と要望があった。検討の結果、児童の安全確保のために必要と判断したため、交通誘導警備員を追加したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　16,115,000円】

（上記理由による増減額　＋1,473,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、工事発注後、現地着手の段階で受注者から工事打合せ簿により、工事に伴う交通規制に必要な交通誘導警備員の配置について協議があり、その内容について令和元年５月16日に承諾した上で令和３年３月12日付けで変更契約を締結し、令和３年６月25日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、工事開始後に地元関係者から要望があったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

交通誘導警備員を配置して工事を実施したのは事実であるものの、配置が必要となった原因は査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（15,409,960円）と、実際に施工された工事費（B）（17,054,460円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した

金額）

（B）17,054,460（円）－（A）15,409,960（円）＝　1,644,500（円）

（内国費　1,096,881（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	3782号	路線名	その他河川天地川

内容

■設計変更協議時の変更理由

「地元調整の結果による交通誘導警備員の追加」地元関係者から交通誘導警備員の配置を指摘されたことにより交通誘導警備員を追加したい

■影響額の考え方

正しく措置された場合の工事費（A）（15,409,960円）と、実際に施工された工事費（B）（17,054,460円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	流路			式	1		5,951,000	1		8,137,696	1		9,036,796		899,100	
	砂防土工			式	1		331,633	1		501,381	1		501,381			
		掘削工		式	1		7,593	1		17,381	1		17,381			
		掘削		m3	30	253.	7,593	70	248	17,381	70	248	17,381			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3	30	253.4	7,593	70	248.3	17,381	70	248.3	17,381			
		盛土工		式	1		324,040	1		484,000	1		484,000			
		盛土		m3	40	8,101	324,040	40	12,100	484,000	40	12,100	484,000			
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3	40	4,601	184,040	40	4,600	184,000	40	4,600	184,000			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	70	2,000	140,000	150	2,000	300,000	150	2,000	300,000			
	流路護岸工			式	1		4,330,577	1		3,878,450	1		3,878,450			
		作業土工		式	1			1		55,902	1		55,902			
		床掘り		m3				80	525	42,056	80	525	42,056			
		床掘り	土砂標準	m3				80	266.2	21,296	80	266.2	21,296			
		基面整正		m2				60	346	20,760	60	346	20,760			
		埋戻し		m3				24	576	13,846	24	576	13,846			
		積込(ルーズ)	土砂	m3				20	244.5	4,890	20	244.5	4,890			
		埋戻し		m3				4	2,239	8,956	4	2,239	8,956			
		ブロック積擁壁工		式	1		2,214,053	1		1,699,548	1		1,699,548			
		コンクリートブロック積		m2	89	24,877	2,214,053	64	19,300	1,235,200	64	19,300	1,235,200			
		コンクリートブロック積工	（総合単価）	m2	89	24,877	2,214,053									
		コンクリートブロック積工		m2				64	19,300	1,235,200	64	19,300	1,235,200			
		胴込・裏込材(砕石)		m3				30	5,980	179,400	30	5,980	179,400			
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				30	5,980	179,400	30	5,980	179,400			
		吸出し防止材設置		m2				64	681	43,628	64	681	43,628			
		吸出し防止材設置	全面	m2				64	681.7	43,628	64	681.7	43,628			
		場所打基礎		m				25	9,652	241,320	25	9,652	241,320			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				4	60,330	241,320	4	60,330	241,320			
		コンクリート擁壁工		式	1		2,116,524	1		2,123,000	1		2,123,000			
		防波工		m3	43	46,650	2,005,950	46	43,550	2,003,300	46	43,550	2,003,300			
		コンクリート擁壁（防波工）	（総合単価）	m3	43	46,650	2,005,950									
		重力式擁壁	擁壁平均高さ1m超2m未満	m3				46	43,550	2,003,300	46	43,550	2,003,300			
		小口止コンクリート		m3	2	46,650	93,300	1	102,298	102,298	1	102,298	102,298			
		コンクリート擁壁（小口止工）	（総合単価）	m3	2	46,650	93,300									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				1	29,650	29,650	1	29,650	29,650			
		型枠	一般型枠	m2				10	6,219	62,190	10	6,219	62,190			
		型枠	化粧型枠	m2				1	8,458	8,458	1	8,458	8,458			
		化粧型枠材料費		m2				1	2,000	2,000	1	2,000	2,000			
		足場	掛m2	掛m2	6	2,879	17,274	6	2,900	17,402	6	2,900	17,402			
		手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場	単管足場	掛m2	4	3,027	12,108	4	3,048	12,192	4	3,048	12,192			
		手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場	単管傾斜足場	掛m2	2	2,583	5,166	2	2,605	5,210	2	2,605	5,210			
	仮設工			式	1		839,859	1		2,587,371	1		3,486,471		899,100	
		工事用道路工		式	1		290,955	1		362,624	1		362,624			
		工事用道路盛土		m	35	8,313	290,955	35	10,360	362,624	35	10,360	362,624			
		工事用道路	W=4.0m（総合単価）	m	35	8,313	290,955									
		工事用道路	W=4.0m　盛土	m				35	6,835	239,225	35	6,835	239,225			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				90	248.3	22,347	90	248.3	22,347			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				140	721.8	101,052	140	721.8	101,052			
		土留・仮締切工		式	1		364,536	1		2,080,927	1		2,080,927			
		土のう設置		袋	81	3,251	263,309	150	6,428	964,214	150	6,428	964,214			
		大型土のう（新設分）	（総合単価）	袋	50	4,529	226,450									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				150	6,326	948,900	150	6,326	948,900			
		大型土のう設置	作業半径6m以下	袋	31	1,189	36,859	13	1,178	15,314	13	1,178	15,314			
		土のう撤去		袋	81	567	45,927	163	561	91,443	163	561	91,443			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	81	567	45,927	163	561	91,443	163	561	91,443			
		土砂等運搬		m3	70	790	55,300	170	6,031	1,025,270	170	6,031	1,025,270			
		作業残土処理	（総合単価）	m3	70	790	55,300									
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				170	4,331	736,270	170	4,331	736,270			
		土砂処分費		m3				170	1,700	289,000	170	1,700	289,000			
		水替工		式	1		184,368	1		143,820	1		143,820			
		ポンプ排水		日	14	13,169	184,368	9	15,980	143,820	9	15,980	143,820			
		締切排水工	（総合単価）	箇所	1	184,368	184,368									
		ポンプ設置・撤去		箇所				1	66,780	66,780	1	66,780	66,780			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				9	8,560	77,040	9	8,560	77,040			
		交通管理工		式							1		899,100	1	899,100	
		交通誘導警備員		人							81	11,100	899,100	81	899,100	
		交通誘導警備員B		人							81	11,100	899,100	81	899,100	
	構造物撤去工			式	1		448,931	1		1,170,494	1		1,170,494			
		構造物取壊し工		式	1		448,931	1		1,170,494	1		1,170,494			
		構造物取壊し		式	1	448,931	448,931	1	1,170,494	1,170,494	1	1,170,494	1,170,494			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	22	8,594	189,068	36	8,617	310,212	36	8,617	310,212			
		石積取壊し(人力)	空積控え45cm未満	m2	55	3,820	210,100									
		舗装版取壊工(As)	機械施工(t=3～7cm)（総合単価）	m2	27	628	16,956									
		掘削	硬岩オープンカット	m3				20	2,590	51,800	20	2,590	51,800			
		舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2				27	454.3	12,266	27	454.3	12,266			
		舗装版切断	アスファルト舗装版	m				2	495.8	991	2	495.8	991			
		作業残土処理	空石積（総合単価）	m3	20	790.0	15,800									
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				20	4,331	86,620	20	4,331	86,620			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし人力積込	m3	22	725.1	15,952	36	9,603	345,708	36	9,603	345,708			
		殻運搬	舗装版破砕機械積込(小規模土工)	m3	1	1,055	1,055	1	7,397	7,397	1	7,397	7,397			
		石積処分		t				50	4,500	225,000	50	4,500	225,000			
		コンクリート塊受入費		t				84	1,500	126,000	84	1,500	126,000			
		アスファルト塊受入費		t				3	1,500	4,500	3	1,500	4,500			
直接工事費							5,951,000			8,137,696			9,036,796		899,100	
処分費・投棄料等							0			644,500			644,500			
	共通仮設費率分						903,000			1,042,000			1,141,000		99,000	
共通仮設費計							903,000			1,042,000			1,141,000		99,000	
純工事費							6,854,000			9,179,696			10,177,796		998,100	
現場管理費							3,055,000			3,533,000			3,867,000		334,000	
工事原価							9,909,000			12,712,696			14,044,796		1,332,100	
	一般管理費率分						2,088,037			1,533,580			1,698,933		165,353	
	契約保証費						3,963			4,124			4,124			
一般管理費計							2,092,000			1,537,304			1,702,204		164,900	
工事価格							12,001,000			14,250,000			15,747,000		1,497,000	
工事価格計							12,001,000			14,223,000			15,718,000		1,495,000	落札率込
消費税相当額							960,080			1,186,960			1,336,460		149,500	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							12,961,000			15,409,960			17,054,460		1,644,500	
工事雑費							194,000			239,000			263,000		24,000	
応急仮工事費							623,000			599,400			599,400			
工事費計							13,778,000			16,248,360			17,916,860		1,668,500	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															1,096,881	

平成30年災　第3896号　二級河川瀬野川水系熊野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系熊野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。工事は、県道から既設橋を渡り、被災した護岸背面の農地を借用することを前提に、工事用道路（盛土）を施工する内容で申請し決定されたものである。

【決定額42,173,000円】

令和3年1月29日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①地元調整の結果に係る仮設工の変更＞について、「査定時、工事用道路の必要用地については、護岸背後の農地を地権者の承諾のもと無償借地としていた。変更時に再度、地権者に確認を行った結果、土地の借地を拒否されたことから工事用道路を県道側から進入する位置に見直し(L=111.2m→145.0m)、仮設工を変更したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　50,007,000円】

（上記理由による増減額　＋4,837,000円）

また、＜理由②地元調整の結果に係る擁壁工及び用地費の変更＞について、「査定時は，被災水位に合わせた護岸高で復旧するため，護岸背面を盛土による築堤構造を申請しており，一部農地の用地買収費を見込んでいた。変更時に再度，地権者確認を行った結果，用地買収を拒否されたため，用地費を削減した上で，擁壁工等を追加したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　50,007,000円】

（上記理由による増減額　△2,211,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、＜①仮設工の変更＞については、受注者から令和2年1月16日付けで提出された工事打合せ簿において、河川内への工事用道路の設置について任意仮設として承諾した旨の受発注者間の議事録が添付されているが、その後の工事打合せ簿により、査定決定時の工事用道路では既設橋の幅員が2.5mしかなく施工機械（大型車両）の現場への進入が困難であるため、施工機械（大型車両）が通行可能な河川内への工事用道路の設置に

ついて協議があり、河川内への工事用道路の設置について設計（契約）変更の対象とし令和２年２月４日付けで指示をしていた。また、＜②擁壁工等の追加＞については、官民境界に重力擁壁を追加することについて、工事内容変更通知書により指示していた。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和３年７月 16 日付けで完成している。

国との設計変更協議について、

＜①仮設工の変更＞については、設計変更協議に現地の状況変化の説明が必要なため、前任の担当者が地権者と協議した内容を設計変更協議時の担当者が協議したこととした事実でない協議録を添付していたものである。

＜②擁壁工等の追加＞についても同様である。

（影響額の算定）

＜①仮設工の変更＞については、実施設計においても施工機械（大型車両）が進入困難であることは認識できておらず、受注者からの協議により進入困難であることを認識していることから、現地状況の精査不足によるものであり、査定後の状況変化は認められないものと判断した。影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（44,201,300 円）と、実際に施工された工事費（B）（48,418,700 円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）48,418,700－（A）44,201,300＝4,217,400（円）

（内国費　2,813,005（円）

＜②擁壁工等の追加＞については、協議録の作成者は事実でないものの、用地買収を拒否されたという協議の内容は事実であり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	3896号	路線名	二級河川瀬野川水系熊野川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果に係る仮設工の変更」 地権者に無償借地を拒否されたことに伴い、工事用道路の配置等を変更したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（44,201,300円）と、実際に施工された工事費（B）（48,418,700円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		19,304,420	1		24,096,970	1		26,671,844		2,574,874	
	河川土工			式	1		147,980	1		1,987,088	1		1,987,088			
		掘削工		式				1		99,711	1		99,711			
		掘削		m3				270	369	99,711	270	369	99,711			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				270	369.3	99,711	270	369.3	99,711			
		盛土工		式				1		637,000	1		637,000			
		路体(築堤)盛土		m3				130	4,900	637,000	130	4,900	637,000			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				130	4,900	637,000	130	4,900	637,000			
		法面整形工		式				1		332,090	1		332,090			
		法面整形(切土部)		m2				430	698	300,140	430	698	300,140			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				430	698	300,140	430	698	300,140			
		法面整形(盛土部)		m2				90	355	31,950	90	355	31,950			
		法面整形	盛土部法面締固め無し現場制約無し	m2				90	355	31,950	90	355	31,950			
		残土処理工		式				1		861,120	1		861,120			
		土砂等運搬		m3				160	2,382	381,120	160	2,382	381,120			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				160	2,382	381,120	160	2,382	381,120			
		残土等処分		m3				160	3,000	480,000	160	3,000	480,000			
		残土処分費	土砂	m3				160	3,000	480,000	160	3,000	480,000			
		植生工		式	140	1,057	147,980	1		57,167	1		57,167			
		人工張芝		m2	140	1,057	147,980	110	520	57,167	110	519	57,167			
		人工張芝	張芝幅100cmワラ付	m2				110	519.7	57,167	110	519.7	57,167			
		張芝【総合単価】	人工芝	m2	140	1,057	147,980									
	法覆護岸工			式	1		15,748,633	1		13,035,254	1		13,035,254			
		作業土工		式				1		261,716	1		261,716			
		床掘り		m3				590	270	159,477	590	270	159,477			
		床掘り	土砂標準	m3				590	270.3	159,477	590	270.3	159,477			
		埋戻し		m3				310	237	73,439	310	236	73,439			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				310	236.9	73,439	310	236.9	73,439			
		基面整正		m2				80	360	28,800	80	360	28,800			
		基面整正		m2				80	360	28,800	80	360	28,800			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		15,301,208	1		12,697,657	1		12,697,657			
		コンクリートブロック基礎		m3				15	59,440	891,600	15	59,440	891,600			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				15	59,440	891,600	15	59,440	891,600			
		大型ブロック積		m2	588	24,877	14,627,676	500	16,160	8,080,000	500	16,160	8,080,000			
		コンクリートブロック積【総合単価】	河川(基礎・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.9	m2	588	24,877	14,627,676									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				500	16,160	8,080,000	500	16,160	8,080,000			
		胴込・裏込材		m3				385	9,595	1,670,501	385	4,338	1,670,501			
		胴込・裏込材（栗石）	大型ブロック	m3				133	6,281	835,373	133	6,281	835,373			
		胴込・裏込材（砕石）	大型ブロック	m3				252	3,314	835,128	252	3,314	835,128			
		吸出し防止材(全面)設置		m2				500	771	385,250	500	770	385,250			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				500	770.5	385,250	500	770.5	385,250			
		天端コンクリート		m3				13	46,800	608,400	13	46,800	608,400			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				13	46,800	608,400	13	46,800	608,400			
		小口止コンクリート		m3	10	38,097	380,972	7	80,685	564,794	7	80,684	564,794			
		もたれ擁壁【総合単価】	H=5.0～8.0m	m3	8	38,479	307,832									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m	m3	2	36,570	73,140									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				7	28,400	198,800	7	28,400	198,800			
		型枠	一般型枠	m2				46	6,340	291,640	46	6,340	291,640			
		化粧型枠	化粧型枠	m2				7	8,622	60,354	7	8,622	60,354			
		化粧型枠材料費		m2				7	2,000	14,000	7	2,000	14,000			
		間切コンクリート		m3	8	36,570	292,560	6	82,852	497,112	6	82,852	497,112			
		コンクリート擁壁【総合単価】	H=3.0～5.0m	m3	8	36,570	292,560									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				6	27,850	167,100	6	27,850	167,100			
		型枠	一般型枠	m2				42	6,340	266,280	42	6,340	266,280			
		型枠	化粧型枠	m2				6	8,622	51,732	6	8,622	51,732			
		化粧型枠材料費		m2				6	2,000	12,000	6	2,000	12,000			
		すり付け工		式	1		447,425	1		75,881	1		75,881			
		石積		式	1	447,425	447,425	1	75,881	75,881	1	75,881	75,881			
		石積【総合単価】	練積(岩着・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.9	m2	25	17,897	447,425									
		石積(張)	積工	m2				6	9,582	57,492	6	9,582	57,492			
		胴込・裏込コンクリート_石	積工	m3				0.7	26,270	18,389	0.7	26,270	18,389			
	根固め工			式	1		219,737	1		420,527	1		420,527			
		根固めブロック工		式	1		27,928	1		43,072	1		43,072			
		根固めブロック据付		式	8	3,491	27,928	1	43,072	43,072	1	43,072	43,072			
		標準平型ブロック再設置【総合単価】	層積1～2t	個	8	3,491	27,928									
		消波根固めブロック撤去	2.5t以下	個				8	1,277	10,216	8	1,277	10,216			
		消波根固めブロック据付け	2.5t以下据付場所陸上層積	個				8	4,107	32,856	8	4,107	32,856			
		間詰工		式	1		40,034	1		175,330	1		175,330			
		間詰コンクリート		m3	8	30,780	40,034	6	27,850	167,100	6	27,850	167,100			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	0.3	26,780	8,034	6	27,850	167,100	6	27,850	167,100			
		割ぐり石	150～50mm	m3	8	4,000	32,000									
		吸出し防止材		m2				12	685	8,230	12	685	8,230			
		吸出し防止材設置	全面	m2				12	685.9	8,230	12	685.9	8,230			
	水叩工			式	1		151,775	1		111,400	1		111,400			
		水叩工		m3	13	11,675	151,775	4	27,850	111,400	4	27,850	111,400			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	4	26,780	107,120	4	27,850	111,400	4	27,850	111,400			
		型枠	一般型枠	m2	3	6,885	20,655									
		割ぐり石	150～50mm	m3	6	4,000	24,000									
	落差工			式				1		90,725	1		90,725			
		落差工		m3				2		90,725	2	45,362	90,725			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				2	27,850	55,700	2	27,850	55,700			
		型枠	一般型枠	m2				5	7,005	35,025	5	7,005	35,025			
	擁壁工			式				1		1,433,015	1		1,433,015			
		作業土工		式				1		85,115	1		85,115			
		床掘り		m3				50	270	13,515	50	270	13,515			
		床掘り	土砂標準	m3				50	270.3	13,515	50	270.3	13,515			
		埋戻し		m3				20	2,320	46,400	20	2,320	46,400			
		埋戻し		m3				20	2,320	46,400	20	2,320	46,400			
		基面整正		m2				70	360	25,200	70	360	25,200			
		基面整正		m2				70	360	25,200	70	360	25,200			
		場所打擁壁工(構造物単位)		式				1		1,347,900	1		1,347,900			
		重力式擁壁		m3				30	44,930	1,347,900	30	44,930	1,347,900			
		重力式擁壁	擁壁平均高さ1m超2m未満	m3				30	44,930	1,347,900	30	44,930	1,347,900			

	構造物撤去工		式	1		1,423,620	1		1,408,104	1		1,408,104			
	構造物取壊し工		式	1		819,764	1		801,346	1		801,346			
	コンクリート構造物取壊し		式	1	819,764	819,764	1	801,346	801,346	1	801,346	801,346			
	構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	124	6,611	819,764	119	6,734	801,346	119	6,734	801,346			
	運搬処理工		式	1		603,856	1		606,758	1		606,758			
	殻運搬		m3	124	2,044	253,456	119	1,582	188,258	119	1,582	188,258			
	殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	124	2,044	253,456	119	1,582	188,258	119	1,582	188,258			
	殻処分		t	292	1,200	350,400	279	1,500	418,500	279	1,500	418,500			
	Co殻処分費		t	292	1,200	350,400	279	1,500	418,500	279	1,500	418,500			
	仮設工		式	1		1,764,450	1		5,812,982	1		8,387,856		2,574,874	
	工事用道路工		式	1		1,104,743	1		712,972	1		1,256,778		543,806	
	工事用道路		m	111	8,313	922,743									
	工事用道路【総合単価】	W=4.0m	m	111	8,313	922,743									
	工事用道路盛土		m3	91	2,000	182,000	350	1,088	380,920	450	1,520	684,040	100	303,120	
	復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3				350	231.2	80,920	450	231.2	104,040	100	23,120	
	購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	91	2,000	182,000	150	2,000	300,000	290	2,000	580,000	140	280,000	
	敷砂利		m3				33	5,362	176,946	71	5,362	380,702	38	203,756	
	敷砂利	再生砕石を使用する	m3				33	5,362	176,946	71	5,362	380,702	38	203,756	
	掘削工		式				1	155,106	155,106	1	192,036	192,036		36,930	
	復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				420	369.3	155,106	520	369.3	192,036	100	36,930	
	掛樋工		式							1		620,550	1	620,550	
	暗渠排水管		m							45	13,790	620,550	45	620,550	
	暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管450～600mm	m							45	13,790	620,550	45	620,550	
	仮締切・濁水対策工		式	1		412,139	1		984,360	1		1,533,758		549,398	
	大型土のう		袋	91	9,058	412,139	120	8,203	984,360	186	8,246	1,533,758	66	549,398	
	大型土のう（仮締切）【総合単価】		袋	82	4,529	371,378									
	大型土のう（沈砂池）【総合単価】		袋	9	4,529	40,761									
	大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				120	5,627	675,240	186	5,627	1,046,622	66	371,382	
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				120	576	69,120	186	576	107,136	66	38,016	
	購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				120	2,000	240,000	190	2,000	380,000	70	140,000	
	水替工		式	1		184,368	1		243,210	1		243,210			
	ポンプ排水		日	1	184,368	184,368	20	12,160	243,210	20	12,160	243,210			
	締切排水工【総合単価】		箇所	1	184,368	184,368									
	ポンプ設置・撤去		箇所				1	68,910	68,910	1	68,910	68,910			
	ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				20	8,715	174,300	20	8,715	174,300			
	残土処理工		式	1		63,200	1		2,798,640	1		3,659,760		861,120	
	土砂等運搬		m3				520	2,382	1,238,640	680	2,382	1,619,760	160	381,120	
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				520	2,382	1,238,640	680	2,382	1,619,760	160	381,120	
	残土等処分		m3	80	790	63,200	520	3,000	1,560,000	680	3,000	2,040,000	160	480,000	
	残土処分費	土砂	m3	80	790	63,200	520	3,000	1,560,000	680	3,000	2,040,000	160	480,000	
	交通管理工		式				1		1,073,800	1		1,073,800			
	交通誘導警備員		人				91	11,800	1,073,800	91	11,800	1,073,800			
	交通誘導警備員B		人				91	11,800	1,073,800	91	11,800	1,073,800			
直接工事費						19,304,420			24,096,970			26,671,844		2,574,874	
処分費・投棄料等						350,400			2,458,500			2,938,500		480,000	
	共通仮設費率分					1,940,000			2,394,000			2,585,000		191,000	
共通仮設費計						1,940,000			2,394,000			2,585,000		191,000	
純工事費						21,244,420			26,490,970			29,256,844		2,765,874	
現場管理費						7,063,000			8,933,000			9,599,000		666,000	
工事原価						28,307,420			35,423,970			38,855,844		3,431,874	
	一般管理費率分					5,262,258			5,170,644			5,613,680		443,036	
	契約保証費					11,322			11,523			11,523			
一般管理費計						5,273,580			5,182,030			5,625,156		443,126	
工事価格						33,581,000			40,606,000			44,481,000		3,875,000	
工事価格計						33,581,000			40,183,000			44,017,000		3,834,000	落札率込
消費税相当額						2,686,480			4,018,300			4,401,700		383,400	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						36,267,000			44,201,300			48,418,700		4,217,400	
用地費及び補償費						5,140,000			619,516			619,516			
工事雑費						766,000			689,000			753,000		64,000	
工事費計						42,173,000			45,509,816			49,791,216		4,281,400	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														2,813,005	

平成30年災　第3898号　二級河川瀬野川水系熊野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系熊野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や根固工、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からＩ箇所まで複数に分かれている。

【決定額139,781,000円】

令和3年1月29日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞について、

「根固ブロックの現場打ちから二次製品への変更について、本工事で使用する型枠必要量に対し、取引可能な社の貸出可能量（供給量）が不足（平成30 年7 月豪雨により膨大な災害復旧の工事が発注されていることが要因）することにより、工事に必要な型枠数量が工期内に確保できなくなったため、現場製作から二次製品に変更したい。」

との内容について、工事打合せ簿を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　146,174,000円】

（上記理由による増減額　　＋1,067,000円）

また、＜理由②A箇所の廃止＞については、

「査定時は関係地権者の了解のもと、復旧工法を申請し決定された。実施において再度関係地権者に説明を行ったところ、土地の使用条件として、査定後に設置されたソーラーパネルの修繕を今後越水被害が生じた都度行うことを求められたため、査定決定の工法による施工が困難な状況となった。よってＡ箇所を廃止したい。廃止するA箇所については県単独費による復旧（土羽盛土）を行いたい。」

との内容について、土地所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　146,174,000円】

（上記理由による増減額　　△3,120,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、＜①根固ブロックの二次製品利用＞については、受注者から工事打合せ簿により、1．施工日数の短縮、2．作業員及び生コン運搬車両の確保困難、3．製作場所は他工事で使用されていることを理由として、現場打ちコンクリートから二次製品利用に変更

することについて協議があり、令和元年７月 11 日付けで変更を指示した。
　また、＜②A 箇所の廃止＞については、査定設計上の工法を廃工し、変更契約を締結している。

　＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞については、型枠不足の方がより説得力が高いと判断したものと考え、事実でない協議録を添付し、設計変更協議をしていたものである。
　また、＜②A 箇所の廃止＞について、災害復旧で擁壁のかさ上げをした場合、土地の排水に支障が生じるため、国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）
　＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞については、型枠が確保できないとの協議録は事実でないものの、実際に受注者から提出された工事打合せ簿では、作業員等の確保が困難なこと等による理由で二次製品利用に変更しているものであり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　（円）

　＜②A 箇所の廃止＞については、協議録は事実でないものの、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）
・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。
・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第4295号　一級河川太田川水系府中大川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系府中大川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月15日から1月18日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した流路護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額131,538,000円】

令和3年2月1日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、施工にあたり護岸工の掘削影響が背後の市道まで及ぶことから、市道の全面通行止めによる工事を前提にするため、道路規制に影響される世帯のために、近郊の土地所有者承諾のもと無償で借地して仮駐車場を確保する計画とし、査定決定した。（現道は袋小路上の道路であり奥の団地へ接続する唯一の連絡道路である。）実施にあたり、再度土地所有者に確認を行った結果、無償借地の予定先地に住家を建築する予定となったことから土地の利用を拒否された。これに伴い、仮駐車場の確保が困難となり、工事に影響される世帯の住居進入用の仮設道路が新たに必要となった。このため、工法比較を行った結果により、河川を横断する仮設橋を追加したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　138,813,000円】

（上記理由による増減額　＋11,250,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録及び使用承諾書の内容は事実でないと判定した。

実際には、令和元年8月10日に行われた、災害復旧工事の実施に伴う工法説明の場において地元からの強い要望もあり、令和元年10月17日付けの工事内容変更通知書により、仮設橋の設置に変更することを指示し工事を実施した。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和３年３月26日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、仮駐車場の地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないと判定したものの、当初査定決定された仮駐車場の確保から仮設橋の追加に変更しなければ工事ができなかったことは事実であり、公共土木施設災害復旧事

業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第3895号　二級河川瀬野川水系瀬野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系瀬野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や根固工で復旧するものである。

【決定額79,088,000円】

令和3年2月5日付けの国との設計変更協議において、

「I箇所の根固ブロックN=15個の施工にあたり、査定申請時には、根固めブロックは現場製作とし、地権者と協議の上、製作ヤードを確保していたが、入札不調等が続き、既に調整していた借地時期に変更が生じたことから、製作ヤードの借地が困難になったため、二次製品利用に変更したい。」

との内容について、借地地権者との協議録などを添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　86,245,000円】

（上記理由による増減額　＋463,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録及び工事打合せ簿の内容は事実でないと判定した。

実際には、当初契約後、根固めブロックを現場製作から二次製品の使用に変更契約し、令和3年3月24日付で完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議録等を添付していたものである。

（影響額の算定）

現場製作から二次製品に変更契約していることは事実であるものの、二次製品に変更した理由が分かる資料が残されていなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（80,366,040円）と、実際に施工された工事費（B）（80,844,480円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）80,844,480（円）－（A）80,366,040（円）＝　478,440（円）

（内国費　319,119（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	3895号	路線名	一級河川瀬野川水系瀬野川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「二次製品利用」　製作ヤードの借地が困難なため、根固めブロックを製作から二次製品利用へ変更したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（80,366,040円）と、実際に施工された工事費（B）（80,844,480円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定設計			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		29,652,770	1		38,112,020	1		38,399,570		287,550	
	河川土工			式	1		216,450	1		11,130,636	1		11,130,636			
		掘削工		式	1		68,337	1		220,196	1		220,196			
		掘削		m3	270	253	68,337	320	688	220,196	320	688	220,196			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3	270	253.1	68,337									
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				320	368.7	117,984	320	368.7	117,984			
		復興歩掛_掘削	硬岩オープンカット	m3				40	2,261	90,440	40	2,261	90,440			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	破砕岩	m3				40	294.3	11,772	40	294.3	11,772			
		盛土工		式				1		49,000	1		49,000			
		路体(築堤)盛土		m3				10	4,900	49,000	10	4,900	49,000			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				10	4,900	49,000	10	4,900	49,000			
		法面整形工		式	1		148,113	1		258,120	1		258,120			
		法面整形(切土部)		m2	190	697	130,568	360	697	251,028	360	697	251,028			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2	190	687.2	130,568	360	697.3	251,028	360	697.3	251,028			
		法面整形(盛土部)		m2	50	351	17,545	20	354	7,092	20	354	7,092			
		法面整形	盛土部法面締固め無し現場制約無し	m2	50	350.9	17,545	20	354.6	7,092	20	354.6	7,092			
		残土処理工		式				1		10,603,320	1		10,603,320			
		土砂等運搬		m3				1,960	2,409	4,723,320	1,960	2,409	4,723,320			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				1,900	2,379	4,520,100	1,900	2,379	4,520,100			
		土砂等運搬	標準硬岩	m3				60	3,387	203,220	60	3,387	203,220			
		残土等処分		m3				1,960	3,000	5,880,000	1,960	3,000	5,880,000			
		残土処分		m3				1,960	3,000	5,880,000	1,960	3,000	5,880,000			
	法覆護岸工			式	1		18,528,186	1		16,972,428	1		16,972,428			
		作業土工		式	1		195,676	1		4,356,701	1		4,356,701			
		床掘り		m3	220	271	59,686	40	1,412	56,502	40	1,412	56,502			
		床掘り	土砂標準	m3	220	271.3	56,686	20	269.8	5,396	20	269.8	5,396			
		復興歩掛_掘削	硬岩オープンカット	m3				20	2,261	45,220	20	2,261	45,220			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	破砕岩	m3				20	294.3	5,886	20	294.3	5,886			
		埋戻し		m3	90	1,511	135,990	17	14,952	254,199	17	14,952	254,199			
		埋戻し	土砂	m3	90	1,511	135,990									
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				6	236.5	1,419	6	236.5	1,419			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				11	22,980	252,780	11	22,980	252,780			
		基面整正		m2				30	360	10,800	30	360	10,800			
		基面整正		m2				30	360	10,800	30	360	10,800			
		資材等運搬		式				1	4,035,200	4,035,200	1	4,035,200	4,035,200			
		不整地運搬車運転(賃料)	クローラ型ダンプ全旋回式6～7t積	日				64	63,050	4,035,200	64	63,050	4,035,200			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		15,581,100	1		11,405,908	1		11,405,908			
		コンクリートブロック基礎		m	12	57,350	688,200									
		場所打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3	12	57,350	688,200									
		大型ブロック積		m2	523	22,832	11,941,354	458	16,160	7,401,280	458	16,160	7,401,280			
		コンクリートブロック積	間詰（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	81	24,877	2,015,037									
		コンクリートブロック積	前面（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	153	27,869	3,498,957									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				458	16,160	7,401,280	458	16,160	7,401,280			
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し（控75cm）	m2	289	22,240	6,427,360									
		胴込・裏込材(砕石)		m3	1	951,977	951,977	288	4,559	1,313,272	288	4,559	1,313,272			
		胴込(栗石)	大型ブロック	m3	130	6,235	810,550									
		裏込材(砕石)	大型ブロック	m3	43	3,289	141,427									
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				121	6,281	760,001	121	6,281	760,001			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				167	3,313	553,271	167	3,313	553,271			
		吸出し防止材(全面)設置		m2	290	765	221,792	400	770	308,200	400	770	308,200			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2	290	764.8	221,792	400	770.5	308,200	400	770.5	308,200			
		天端コンクリート		m3	12	45,200	542,400	14	46,790	655,060	14	46,790	655,060			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3	12	45,200	542,400	14	46,790	655,060	14	46,790	655,060			
		小口止コンクリート		m3	27	38,629	1,042,982	18	82,458	1,484,260	18	82,458	1,484,260			
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満（総合単価）	m3	4	43,350	186,600									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	15	36,570	548,550									
		もたれ擁壁	H=5.0～8.0m（総合単価）	m3	8	38,479	307,832									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				18	28,390	511,020	18	28,390	511,020			
		型枠	一般型枠	m2				120	6,340	760,800	120	6,340	760,800			
		型枠	化粧型枠	m2				20	8,622	172,440	20	8,622	172,440			
		化粧型枠材料費		m2				20	2,000	40,000	20	2,000	40,000			
		間切工		m3	5	38,479	192,395	3	81,278	243,836	3	81,278	243,836			
		もたれ擁壁	H=5.0～8.0m（総合単価）	m3	5	38,479	192,395									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				3	28,390	85,170	3	28,390	85,170			
		型枠	一般型枠	m2				20	6,340	126,800	20	6,340	126,800			
		型枠	化粧型枠	m2				3	8,622	25,866	3	8,622	25,866			
		化粧型枠材料費		m2				3	2,000	6,000	3	2,000	6,000			
		石積(張)工(構造物単位)		式				1		402,029	1		402,029			
		石積		m2				31	12,968	402,029	31	12,968	402,029			
		石積(張)	積工	m2				31	9,579	296,949	31	9,579	296,949			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	積工	m3				4	26,270	105,080	4	26,270	105,080			
		側溝工		式	1		29,999	1		22,640	1		22,640			
		排水復旧工		m	1	29,999	29,999									
		排水復旧工	φ200	m	1	12,994	12,994									
		排水復旧工	φ300	m	1	17,005	17,005									
		ヒューム管(B形管)		m				1	22,640	22,640	1	22,640	22,640			
		ヒューム管(B形管)	据付管径300mm固定基礎360°巻き	m				1	22,640	22,640	1	22,640	22,640			
		コンクリートブロック積		式	1		2,721,411	1		785,150	1		785,150			
		コンクリートブロック積		m2	119	22,869	2,721,411	41	19,150	785,150	41	19,150	785,150			
		コンクリートブロック積	間詰（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	119	22,869	2,721,411									
		コンクリートブロック積工		m2				41	19,150	785,150	41	19,150	785,150			
	根固め工			式	1		573,162	1		606,310	1		893,860		287,550	
		根固めブロック工		式	1		501,765	1		537,030	1		824,580		287,550	
		根固めブロック製作・据付		式	1	501,765	501,765									
		根固めブロック製作・据付	層積2.0t（総合単価）	個	15	33,451	501,765									
		根固めブロック製作		式				1	462,450	462,450	1	750,000	750,000		287,550	
		根固ブロック製作	２ｔ型	個							15	50,000	750,000	15	750,000	
		根固ブロック製作	2.5t以下	個				15	30,830	462,450				▲ 15	▲ 462,450	
		根固めブロック据付		式				1	74,580	74,580	1	74,580	74,580			
		消波根固めブロック横取り	2.5t以下	個				15	1,277	19,155	15	1,277	19,155			
		消波根固めブロック据付け	2.5t以下据付場所陸上層積	個				15	3,695	55,425	15	3,695	55,425			
		間詰工		式	1		71,397	1		69,280	1		69,280			
		間詰コンクリート		m3	2	24,110	48,220	2	22,980	45,960	2	22,980	45,960			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	2	24,110	48,220	2	22,980	45,960	2	22,980	45,960			
		吸出し防止材		m2	34	681	23,177	34	685	23,320	34	685	23,320			
		吸出し防止材設置	全面	m2	34	681.7	23,178	34	685.9	23,320	34	685.9	23,320			
	構造物撤去工			式	1		1,367,145	1		1,215,795	1		1,215,795			
		構造物取壊し工		式	1		1,367,145	1		1,215,795	1		1,215,795			
		石積取壊し		m2				23	3,980	91,540	23	3,980	91,540			
		石積取壊し(人力)	空積控え45cm未満	m2				23	3,980	91,540	23	3,980	91,540			
		コンクリート取壊し運搬処理		m3	119	4,878	1,367,145	95	11,834	1,124,255	95	11,834	1,124,255			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	119	6,611	786,709	95	6,750	641,250	95	6,750	641,250			
		設運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	119	2,044	243,236	95	1,579	150,005	95	1,579	150,005			
		Co殻処分費	無筋	t	281	1,200	337,200	222	1,500	333,000	222	1,500	333,000			
	仮設工			式	1		8,967,827	1		8,186,851	1		8,186,851			
		工事用道路工		式	1		5,504,944	1		3,000,390	1		3,000,390			
		工事用道路盛土		式	1	5,150,476	5,150,476	1	2,459,303	2,459,303	1	2,459,303	2,459,303			
		工事用道路	W=4.0m（総合単価）	m	374	8,313.0	3,109,062									
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3				1,200	230.9	277,080	1,200	230.9	277,080			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				330	658	217,140	330	658	217,140			
		購入土盛土（工事用道路）	購入土（総合単価）	m3	340	2,517	855,780									
		購入土	ほぐし	m3				400	2,000	800,000	400	2,000	800,000			
		敷砂利	再生砕石を使用する	m3	20	5,322	106,440	11	5,413	59,543	11	5,413	59,543			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				2,200	368.7	811,140	2,200	368.7	811,140			
		大型土のう	（総合単価）	袋	64	4,529	289,856									
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				512	575	294,400	512	575	294,400			
		掛樋工	高密度ポリエチレン管φ450～600mm（総合単価）	袋	126	1,813	228,438									
		作業残土処理	（総合単価）	袋	710	790	560,900									

		敷鉄板		m	109	3,252	354,468	33	1,925	63,543	33	1,925	63,543		
		工事用道路	W=3.0m(敷鉄板,t=22mm) (総合単価)	m	109	3,252	354,468								
		敷鉄板設置		m2				33	161	5,313	33	161	5,313		
		敷鉄板撤去		m2				33	152	5,016	33	152	5,016		
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚				7	7,602	53,214	7	7,602	53,214		
		舗装版破砕		m2				252	147	37,044	252	147	37,044		
		舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2				230	147	33,810	230	147	33,810		
		舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2				22	147	3,234	22	147	3,234		
		殻運搬		m3				10	2,040	20,400	10	2,040	20,400		
		殻運搬	舗装版破砕機械積込(騒音対策不要,舗装版	m3				10	2,040	20,400	10	2,040	20,400		
		殻処分		t				35	2,000	70,000	35	2,000	70,000		
		殻処分費	As殻	t				35	2,000	70,000	35	2,000	70,000		
		舗装復旧		式				1	30,192	30,192	1	30,192	30,192		
		不陸整正	補足材料無し	m2				22	100.4	2,208	22	100.4	2,208		
		表層(歩道部)	平均幅員1.4m以上	m2				22	1,272	27,984	22	1,272	27,984		
		側溝蓋		枚				16	2,849	45,584	16	2,849	45,584		
		蓋版		枚				16	2,849	45,584	16	2,849	45,584		
		縁石工		m				14	5,581	78,140	14	5,581	78,140		
		歩車道境界ブロック	D種(180/215×350×600)片斜両面R	m				9	4,680	42,120	9	4,680	42,120		
		歩車道境界ブロック	D種(180/215×350×600)片斜両面R	m				5	7,204	36,020	5	7,204	36,020		
		ガードパイプ		m				19	9,504	180,593	19	9,504	180,593		
		防護柵設置工(Gp)土中建込	塗装品_Gp-Cp-2E[規]20m未満	m				19	5,207	98,933	19	5,207	98,933		
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				3	27,220	81,660	3	27,220	81,660		
		張芝		m2				30	519	15,591	30	519	15,591		
		人工張芝	張芝幅100cmワラ付	m2				30	519.7	15,591	30	519.7	15,591		
		水替工		式	1		3,462,883	1		1,922,561	1		1,922,561		
		ポンプ排水		式	1	3,462,883	3,462,883	1	1,922,561	1,922,561	1	1,922,561	1,922,561		
		大型土のう	(総合単価)	袋	291	4,529	1,317,936								
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				207	575	119,025	207	575	119,025		
		大型土のう設置	作業半径6m以下	袋				320	1,210	387,200	320	1,210	387,200		
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				320	575	184,000	320	575	184,000		
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	335	2,000	670,000								
		締切排水工	(総合単価)	箇所	8	184,368	1,474,944								
		ポンプ設置・撤去		箇所				8	68,880	551,040	8	68,880	551,040		
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				24	8,689	208,536	24	8,689	208,536		
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				40	1,569	62,760	40	1,569	62,760		
		廃プラ処分費		m3				41	10,000	410,000	41	10,000	410,000		
		交通管理工		式				1		3,263,900	1		3,263,900		
		交通誘導警備員		人				254	12,850	3,263,900	254	12,850	3,263,900		
		交通誘導警備員A		人				127	13,900	1,765,300	127	13,900	1,765,300		
		交通誘導警備員B		人				127	11,800	1,498,600	127	11,800	1,498,600		
直接工事費							29,652,770			38,112,020			38,399,570	287,550	
処分費・投棄料等							337,200			6,693,000			6,693,000		
	運搬費						421,260			29,460			29,460		
	運搬費			式	1		421,260	1		29,460	1		29,460		
	運搬費			式	1		421,260	1		29,460	1		29,460		
	仮設材運搬費			t	59	7,140	421,260	6	4,910	29,460	6	4,910	29,460		
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬		運搬距離5.2km	式	1	421,260	421,260								
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬		運搬距離5km					1	29,460	29,460	1	29,460	29,460		
	共通仮設費率分						2,445,000			3,236,000			3,258,000	22,000	
共通仮設費計							2,866,260			3,265,460			3,287,460	22,000	
純工事費							32,519,030			41,377,480			41,687,030	309,550	
現場管理費							8,768,000			11,918,000			12,001,000	83,000	
工事原価							41,287,030			53,295,480			53,688,030	392,550	
	一般管理費率分						6,700,075			6,725,439			6,776,355	50,916	
	契約保証費						15,895			19,188			19,347	159	
一般管理費計							6,715,970			6,744,520			6,794,970	50,450	
工事価格							48,003,000			60,040,000			60,483,000	443,000	
工事価格計							48,003,000			60,027,000			60,470,000		落札率込
消費税相当額							3,840,240			4,802,160			4,837,600		
本工事費計							51,843,240			64,829,160			65,307,600	478,440	
応急本工事費															
	築堤・護岸			**式**	**1**		**14,121,270**	**1**		**10,447,108**	**1**		**10,447,108**		
	河川土工			式	1		14,121,270	1		10,447,108	1		10,447,108		
	掘削工			式	1		2,811,930	1		3,048,060	1		3,048,060		
	掘削			m3	3,300	253	835,230	3,300	331	1,091,160	3,300	331	1,091,160		
	掘削		土砂オープンカット押土無し	m3	3,300	253.1	835,230	3,300	250.6	826,980	3,300	250.6	826,980		
	積込 (ルーズ)		土砂	m3				1,400	188.7	264,180	1,400	188.7	264,180		
	転石破砕			m3	660	2,995	1,976,700	660	2,965	1,956,900	660	2,965	1,956,900		
	転石破砕		火薬使用無し	m3	660	2,995	1,976,700	660	2,965	1,956,900	660	2,965.0	1,956,900		
	残土処理工			式	1		11,031,840			7,121,548			7,121,548		
	土砂等運搬			m3	3,260	2,384	7,771,840	3,260	685	2,231,548	3,260	685	2,231,548		
	土砂等運搬		標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	3,260	2,384	7,771,840	3,260	477.8	1,557,628	3,260	478	1,557,628		
	不整地運搬車		5,000m3未満	m3				1,440	468	673,920	1,440	468	673,920		
	残土等処分			m3	3,260	1,000	3,260,000	3,260	1,500	4,890,000	3,260	1,500	4,890,000		
	投棄料			m3	3,260	1,000	3,260,000	3,260	1,500	4,890,000	3,260	1,500	4,890,000		
	交通管理工			式	1		277,500	1		277,500	1		277,500		
	交通誘導警備員			人	25	11,100	277,500	25	11,100	277,500	25	11,100	277,500		
	交通誘導警備員B			人	25	11,100	277,500	25	11,100	277,500	25	11,100	277,500		
直接工事費							14,121,270			10,447,108			10,447,108		
処分費・投棄料等							3,260,000			4,890,000			4,890,000		
	共通仮設費率分						1,164,000			787,000			787,000		
共通仮設費計							1,164,000			787,000			787,000		
純工事費							15,285,270			11,234,108			11,234,108		
現場管理費							4,118,000			2,724,000			2,724,000		
工事原価							19,403,270			13,958,108			13,958,108		
	一般管理費率分						3,146,264			1,849,584			1,849,584		
	契約保証費						7,466			10,308			10,308		
一般管理費計							3,153,730			1,859,892			1,859,892		
工事価格							22,557,000			15,818,000			15,818,000		
工事価格計							22,557,000			14,386,000			14,386,000		落札率込
消費税相当額							1,804,560			1,150,880			1,150,880		
本工事費計							24,361,560			15,536,880			15,536,880		
工事価格計							70,560,000			74,413,000			74,856,000	443,000	
消費税相当額							5,644,800			5,953,040			5,988,480	35,440	
合併施工に伴う減額															
本工事費計							76,204,000			80,366,040			80,844,480	478,440	
工事雑費							1,143,000			1,243,000			1,250,000	7,000	
応急工事費							1,741,000			2,585,520			2,585,520		
工事費計							79,088,000			84,194,560			84,680,000	485,440	
国庫負担率				%										66.7	
国庫負担金返還額														319,119	

平成30年災　第3936号　その他河川天地川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川天地川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に設計図書の効率化を行う簡素化の査定として実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からM箇所まで複数に分かれている。

【決定額19,659,000円】

令和3年2月10日付けの国との設計変更協議において、E、F箇所の廃止について、「当該箇所は、護岸から官民境界までの幅が限られるため、民地にまで掘削影響線が及ぶ設計となっており、査定時には地権者（両箇所ともに同じ所有者）に工事の施工承諾を得ていた。工事を実施するにあたり、再度説明を行ったところ、地権者から施工承諾の取り消しを告げられた。これにより査定決定の工法での施工が困難な状況となった。よってE,F箇所を廃止したい。なお復旧については、県単独費により護岸全面にコンクリート張工を施工したい。」

との内容について、土地所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　20,013,000円】

（上記理由による増減額　△2,228,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録及び施工承諾書の内容は事実でないと判定した。

なお、この廃工については変更契約を締結し、令和３年６月25日に完成している。

現場を確認したところ、査定どおりの施工は困難であったため、国への廃工の報告にあたり、地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第3937号　その他河川天地川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川天地川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からD箇所まで複数に分かれている。

【決定額6,035,000円】

令和3年2月10日付けの国への設計変更協議において、

＜理由①C箇所の廃止＞については、「査定時に、C箇所隣接の地権者に対して説明を行った際には、施工承諾を得ていた。工事実施にあたり、再度工事内容を地権者に説明したところ、駐車場使用のため施工承諾を拒否された。また、代替駐車場も提案したが、地権者から拒否された。よって、採択された工法では施工が困難であることから、当該箇所（C箇所）を廃止したい。なお、県単独費により、護岸前面にコンクリート張工を施工したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　4,037,000円】

（上記理由による増減額　△1,395,000円）

また、＜理由②D箇所の断面等の変更（うちD箇所の終点の変更（復旧延長L=11.0m→K=9.5m））＞については、「査定時は、護岸裏の被災した納屋を、所有者が取り壊す意向を持っており、それを前提とした復旧工法で施工承諾を得ていた。工事実施にあたり所有者に再度説明したところ、納屋を撤去しないことに変わったため、所有者から納屋付近(SECT9.5～SECT11.0)の掘削の承諾が得られなかった。所有者が掘削を承諾したSECT9.5を終点に変更して復旧延長を減じたい。なお、災害復旧延長から減じた範囲(SECT9.5～SECT11.0)については、石積工を県単独費にて施工したい。」

との内容について、建物所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　4,037,000円】

（上記理由による増減額　△1,667,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録及び施工承諾書の内容は事実でないと判定した。

実際には、＜①C 箇所の廃止＞について、変更契約を締結し廃止している。
また、＜②D 箇所の断面等の変更＞について、変更契約を締結し断面の変更及び延長の減の変更をしている。

＜①C 箇所の廃止＞及び＜②D 箇所の断面の変更＞について、現場を確認したところ、査定どおりの施工は困難であったため、地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

＜①C 箇所の廃止＞について

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

＜②D 箇所の断面の変更＞について

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止（延長減）しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。
・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5062号　二級河川瀬野川水系熊野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系熊野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものであり、現場はA箇所からF箇所まで複数に分かれている。

【決定額75,242,000円】

令和3年2月16日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①A箇所の廃止＞については、「査定時に築堤部が被災していたが、変更時、被災箇所を再度確認したところ、隣接地権者によって復旧されていたことから、当該箇所（A箇所）を廃止としたい。なお、施工後の天端高、法長及び延長にかかる出来形は設計値を満足していることを確認している。」

との内容について、土地所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　88,167,000円】

（上記理由による増減額　△2,448,000円）

また、＜理由②C箇所の延長減＞については、「査定時は、起点側から10mの区間が二段護岸として採択を受けた。現地に着手したところ、地元が堤防の天端を緑化する計画があり、天端拡幅の要望があった。そのため二段護岸としたSECT133.5～SECT143.5

(L=10.0m)については県単独費で上流と同様の断面(SECT247.8)とするため、復旧延長を減じたい。それに伴い、ブロック張工の皆減、ブロック積工の延長減 及び すりつけ工等の削除を行いたい。」

との内容について、地元との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　88,167,000円】

（上記理由による増減額　△3,238,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者へ聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている聞取記録の内容は事実でないと判定した。

実際には、＜①A箇所の廃止＞については、変更契約を締結し廃工している。

また、＜②C箇所の延長減＞については、該当部分を廃工した上で、変更契約を締結している。

①については、A 箇所が既に完成していることを受注者から確認したため、国への廃工の報告にあたり、地権者が復旧したこととしたものである。また②については、C 箇所の復旧について、一段構造で既に施工され、完成していることを現地で確認したものの、災害復旧工事の完成を優先したため国との設計変更協議は後回しとなり、延長を減らす設計変更協議を認めてもらうため、地元と協議したこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、①については、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

②についても、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止（延長減）しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成 30 年災　第 5091 号　二級河川瀬野川水系畑賀川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成 30 年 7 月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系畑賀川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成 31 年 1 月 28 日から２月１日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や根固工で復旧するものである。

【決定額 511,628,000 円】

令和 3 年２月 26 日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は根固めブロックを現場製作とし、地権者と協議の上、製作ヤードを確保していたが、入札不調等が続き、既に調整していた借地時期に変更が生じたことから、製作ヤードの借地が困難になったため、二次製品利用に変更したい。また、根固ブロックの重量について、査定時は代表箇所における断面での流速に基づき算定していたが、詳細測量の結果による各箇所の流速に基づき算定した根固ブロック重量に変更したい。ブロック個数の減は、重量変更に伴いブロック１個当たりの据付面積を基に算出した結果による。」

との内容について、借地地権者の協議録などを添付した上で申請し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　727,208,000 円】

（上記理由による増減額　＋14,966,000 円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録及び工事打合せ簿の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者から提出された工事打合せ簿には、当初予定していたブロック製作ヤードが地元協議の結果、大型車両の搬入等の理由により使用することが不可能となり、代わりの製作ヤードを確保することが困難になったため二次製品への変更について協議があり、令和元年 10 月 7 日付けで設計（契約）変更の対象として指示し、令和５年６月 30 日付けで完成している。

受注者から協議のあった、大型車両の搬入を理由とした地元協議の不調では説得力が低いと判断したものと考え、地権者から借地を断られたこととする事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

製作ヤードの借地が不可能との工事打合せ簿は事実でないものの、実際に提出された工事打合せ簿では、大型車両の搬入を理由に製作ヤードの使用を断られており、公共土木施

設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5056号　二級河川瀬野川水系瀬野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系瀬野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月28日から２月１日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸を石積工で復旧するものである。

【決定額9,149,000円】

令和３年10月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、見通しが良く、交通誘導警備員は不要であると考えていたが、工事着手にあたり地元関係者に工事説明を行ったところ、交通誘導警備員の配置要望があったため追加したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　12,077,000円】

（上記理由による増減額　＋812,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取票の内容は事実でないと判定した。

実際には、現地着手の段階で受注者から工事打合せ簿により、工事に伴う交通規制に必要な交通誘導警備員の配置について協議があり、その内容について令和３年４月13日付けで設計（契約）変更の対象として指示し、令和３年５月28日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、工事開始後に要望があったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

交通誘導警備員を配置して工事を実施したのは事実であるものの、配置が必要となった原因は査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（9,931,900円）と、実際に施工された工事費（B）（10,969,200円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）10,969,200（円）－（A）9,931,900（円）＝　1,037,300（円）

（内国費　691,879（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	5056号	路線名	二級河川瀬野川水系瀬野川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「交通誘導警備員の追加」地元要望を受け交通誘導警備員を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（9,931,900円）と、実際に施工された工事費（B）（10,969,200円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			実影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		4,087,406	1		4,471,729	1		4,967,829		496,100	
	河川土工			式	1		503,400	1		512,580	1		512,580			
		掘削工		式				1		52,000	1		52,000			
		掘削		m3				50	1,040	52,000	50	1,040	52,000			
		復興歩掛_掘削	土砂上記以外(小規模)	m3				50	1,040	52,000	50	1,040	52,000			
		盛土工		式	1		503,400	1		313,980	1		313,980			
		路体(築堤)盛土		m3	200	2,517	503,400	40	1,740	69,600	40	1,740	69,600			
		購入土盛土	購入土(総合単価)	m3	200	2,517	503,400									
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3				40	240	9,600	40	240	9,600			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				30	2,000	60,000	30	2,000	60,000			
		土砂等運搬		m3				60	4,073	244,380	60	4,073	244,380			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				60	1,073	64,380	60	1,073	64,380			
		残土処分費		m3				60	3,000	180,000	60	3,000	180,000			
		法面整形工		式				1		146,600	1		146,600			
		法面整形(切土部)		m2				200	733	146,600	200	733	146,600			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				200	733	146,600	200	733	146,600			
	法覆護岸工			式	1		2,519,528	1		2,972,725	1		2,972,725			
		作業土工		式				1		130,431	1		130,431			
		床掘り		m3				120	271	32,592	120	271	32,592			
		床掘り	土砂標準	m3				120	271.6	32,592	120	271.6	32,592			
		埋戻し		m3				90	916	82,467	90	916	82,467			
		埋戻し	土砂	m3												
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				90	916.3	82,467	90	916.3	82,467			
		基面整正		m2				40	384	15,372	40	384	15,372			
		基面整正		m2				40	384.3	15,372	40	384.3	15,372			
		石積(張)工		式	1		2,212,975	1		2,487,577	1		2,487,577			
		石積(張)基礎		m				45	12,572	565,740	45	12,572	565,740			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				9	62,860	565,740	9	62,860	565,740			
		石積		m2	127	17,425	2,212,975	113	10,130	1,144,690	113	10,130	1,144,690			
		石積	練積(基礎・裏込材料・裏コン無)1:0.3～1:0.9(総合単価)	m2	127	17,425	2,212,975									
		石積(張)	積工	m2				113	10,130	1,144,690	113	10,130	1,144,690			
		胴込・裏込コンクリート		m3				15	26,740	401,100	15	26,740	401,100			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	積工	m3				15	26,740	401,100	15	26,740	401,100			
		裏込材		m3				63	5,969	376,047	63	5,969	376,047			
		裏込材(クラッシャラン)	積工	m3				63	5,969	376,047	63	5,969	376,047			
		石積(張)工		式	1		143,176	1		107,780	1		107,780			
		石積		m2	8	17,897	143,176	8	10,130	81,040	8	10,130	81,040			
		石積	練積(基礎・裏込材料・裏コン無)1:0.3～1:0.9(総合単価)	m2	8	17,897	143,176									
		石積(張)	積工	m2				8	10,130	81,040	8	10,130	81,040			
		胴込・裏込コンクリート		m3				1	26,740	26,740	1	26,740	26,740			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	積工	m3				1	26,740	26,740	1	26,740	26,740			
	護岸付属物工			式	1		93,300	1		163,361	1		163,361			
		小口止		式	1	93,300	93,300	1	163,361	163,361	1	163,361	163,361			
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満(総合単価)	m3	2	46,650	93,300									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				2	29,080	58,160	2	29,080	58,160			
		型枠	一般型枠	m2				14	6,792	95,088	14	6,792	95,088			
		化粧型枠	化粧型枠	m2				0.9	9,237	8,313	0.9	9,237	8,313			
		化粧型枠材料費		m2				0.9	2,000	1,800	0.9	2,000	1,800			
		階段工		式	1		70,077	1		83,576	1		83,576			
		階段工		m3	2	35,039	70,077	2	41,788	83,576	2	41,788	83,576			
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3	2	25,710	51,420	2	29,080	58,160	2	29,080	58,160			
		型枠	一般型枠	m2	3	6,219	18,657	3	6,792	20,376	3	6,792	20,376			
		裏込砕石	RC-40	m3				0.9	5,600	5,040	0.9	5,600	5,040			
	構造物撤去工			式	1		681,498	1		543,192	1		543,192			
		構造物取壊し工		式	1		377,853	1		311,256	1		311,256			
		コンクリート構造物取壊し		m3	57	6,629	377,853	44	7,074	311,256	44	7,074	311,256			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)	機械施工	m3	57	6,629	377,853	44	7,074	311,256	44	7,074	311,256			
		運搬処理工		式	1		303,645	1		231,936	1		231,936			
		殻運搬		m3	57	2,485	141,645	44	1,794	78,936	44	1,794	78,936			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	57	2,485	141,645	44	1,794	78,936	44	1,794	78,936			
		殻処分		t	135	1,200	162,000	102	1,500	153,000	102	1,500	153,000			
		Co殻処分費		t	135	1,200	162,000	102	1,500	153,000	102	1,500	153,000			
	仮設工			式	1		382,980	1		443,232	1		939,332		496,100	
		土留・仮締切工		式	1		198,612	1		234,752	1		234,752			
		土のう		袋	28	7,093	198,612	28	8,384	234,752	28	8,384	234,752			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	28	2,000	56,000									
		大型土のう	(総合単価)	袋	28	4,529	126,812									
		作業残土処理	(総合単価)	m3	20	790	15,800									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				28	7,779	217,812	28	7,779	217,812			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				28	605	16,940	28	605	16,940			
		水替工		式	1		184,368	1		208,480	1		208,480			
		締切排水工		箇所	1		184,368									
		締切排水工	(総合単価)	箇所	1	184,368	184,368									
		ポンプ排水		日				9	23,164	208,480	9	23,164	208,480			
		ポンプ設置・撤去		箇所				1	72,940	72,940	1	72,940	72,940			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				9	15,060	135,540	9	15,060	135,540			
		交通管理工		式							1		496,100	1	496,100	
		交通誘導警備員		人							41	12,100	496,100	41	496,100	
		交通誘導警備員B		人							41	12,100	496,100	41	496,100	
直接工事費							4,087,406			4,471,729			4,967,829		496,100	
処分費・投業料等							162,000			333,000			333,000			
共通仮設費率分							608,000			732,000			805,000		73,000	
共通仮設費計							608,000			732,000			805,000		73,000	
純工事費							4,695,406			5,203,729			5,772,829		569,100	
現場管理費							2,152,000			2,755,000			3,020,000		265,000	
工事原価							6,847,406			7,958,729			8,792,829		834,100	
	一般管理費率分						1,496,871			1,088,099			1,198,914		110,815	
	契約保証費						2,723			0			0			
一般管理費計							1,499,594			1,087,271			1,198,171		110,900	
工事価格							8,347,000			9,046,000			9,991,000		945,000	
工事価格計							8,347,000			9,029,000			9,972,000		943,000	落札率込
消費税相当額							667,760			902,900			997,200		94,300	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							9,014,000			9,931,900			10,969,200		1,037,300	
工事雑費							135,000			148,000			164,000		16,000	
応急工事費																
工事費計							9,149,000			10,079,900			11,133,200		1,053,300	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															691,879	

平成30年災　第4258号　二級河川瀬野川水系瀬野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系瀬野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月15日から１月18日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック張工で復旧するものである。

【決定額41,616,000円】

令和３年10月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、見通しが良く、交通誘導警備員は不要であると考えていたが、工事着手にあたり地元関係者へ工事説明を行ったところ、交通誘導警備員の配置要望があったため追加したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　55,488,000円】

（上記理由による増減額　＋2,016,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取票の内容は事実でないと判定した。

実際には、現地着手の段階で受注者から工事打合せ簿により、工事に伴う交通規制に必要な交通誘導警備員の配置について協議があり、その内容について令和３年１月25日付けで承諾した上で令和３年５月14日付けで変更契約を締結し、令和３年５月28日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、工事開始後に地元関係者から要望があったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

交通誘導員を配置して工事を実施したのは事実であるものの、配置が必要となった原因は査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（62,610,900円）と、実際に施工された工事費（B）（68,972,200円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）68,972,200（円）－（A）62,610,900（円）＝　6,361,300（円）

（内国費　4,242,987（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	4258号	路線名	二級河川瀬野川水系瀬野川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「交通誘導警備員の追加」　地元要望を受け交通誘導警備員を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（62,610,900円）と、実際に施工された工事費（B）（68,972,200円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		20,524,209	1		33,562,691	1		37,083,791		3,521,100	
	河川土工			式				1		9,922,878	1		9,922,878			
		掘削工		式				1		2,086,472	1		2,086,472			
		掘削		m3				720	2,897	2,086,472	720	2,897	2,086,472			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				720	370.1	266,472	720	370.1	266,472			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				910	2,000	1,820,000	910	2,000	1,820,000			
		法面整形工		式				1		697,006	1		697,006			
		法面整形(切土部)		m2				870	733	637,710	870	733	637,710			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				870	733	637,710	870	733	637,710			
		法面整形(盛土部)		m2				160	370	59,296	160	370	59,296			
		法面整形	盛土部法面締固め無し現場制約無し	m2				160	370.6	59,296	160	370.6	59,296			
		残土処理工		式				1		7,139,400	1		7,139,400			
		土砂等運搬		m3				1,630	1,380	2,249,400	1,630	1,380	2,249,400			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				1,630	1,380	2,249,400	1,630	1,380	2,249,400			
		残土等処分		m3				1,630	3,000	4,890,000	1,630	3,000	4,890,000			
		土砂処分費		m3				1,630	3,000	4,890,000	1,630	3,000	4,890,000			
	護岸基礎工			式				1		208,749	1		208,749			
		作業土工		式				1		208,749	1		208,749			
		床掘り		m3				420	271	114,072	420	271	114,072			
		床掘り	土砂標準	m3				420	271.6	114,072	420	271.6	114,072			
		積込(ルーズ)		m3				220	238	52,404	220	238	52,404			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				220	238.2	52,404	220	238.2	52,404			
		基面整正		m2				110	384	42,273	110	384	42,273			
		基面整正		m2				110	384.3	42,273	110	384.3	42,273			
	法覆護岸工			式	1		15,321,516	1		18,620,100	1		18,620,100			
		コンクリートブロック工(間知ブロック張)		式	1		13,246,211	1		15,639,664	1		15,639,664			
		コンクリートブロック基礎		m				102	9,244	942,900	102	9,244	942,900			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				15	62,860	942,900	15	62,860	942,900			
		間知ブロック張		m2	671	19,741	13,246,211	669	17,260	11,546,940	669	17,260	11,546,940			
		コンクリートブロック張	河川(造成・裏込材有・裏コン無)(1:1.0～1:1.5)(総合単価)	m2	671	19,741	13,246,211									
		間知ブロック張	150kg/個未満(各種)	m2				669	17,260	11,546,940	669	17,260	11,546,940			
		胴込・裏込材(砕石・割ぐり石)		m3				401	4,723	1,893,949	401	4,723	1,893,949			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				224	3,413	764,512	224	3,413	764,512			
		胴込・裏込材(割ぐり石)	大型ブロック	m3				177	6,381	1,129,437	177	6,381	1,129,437			
		天端コンクリート		m3				15	48,830	732,450	15	48,830	732,450			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				15	48,830	732,450	15	48,830	732,450			
		吸出し防止材(全面)設置		m2				669	782	523,425	669	782	523,425			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				669	782.4	523,425	669	782.4	523,425			
		石積(張)工		式	1		160,956	1		115,198	1		115,198			
		石積		m2	12	13,413	160,956	12	7,354	88,248	12	7,354	88,248			
		石積	練張(岩着)(総合単価)	m2	12	13,413	160,956									
		石積(張)	張工	m2				12	7,354	88,248	12	7,354	88,248			
		胴込・裏込コンクリート		m3				1	26,950	26,950	1	26,950	26,950			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	張工	m3				1	26,950	26,950	1	26,950	26,950			
		護岸付属物工		式			489,405	1		1,158,124	1		1,158,124			
		小口止		式	1	146,280	146,280	1	1,158,124	1,158,124	1	1,158,124	1,158,124			
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m(総合単価)	m3	4	36,570	146,280									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				13	29,080	378,040	13	29,080	378,040			
		型枠	一般型枠	m2				95	6,792	645,240	95	6,792	645,240			
		化粧型枠	化粧型枠	m2				12	9,237	110,844	12	9,237	110,844			
		化粧型枠材料費		m2				12	2,000	24,000	12	2,000	24,000			
		間切工		式	1	329,130	329,130									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m(総合単価)	m3	9	36,570	329,130									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3												
		型枠	一般型枠	m2												
		化粧型枠	化粧型枠	m2												
		化粧型枠材料費		m2												
		端止工		式	1	13,995	13,995									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m(総合単価)	m3	0.3	46,650	13,995									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3												
		型枠	一般型枠	m2												
		化粧型枠	化粧型枠	m2												
		化粧型枠材料費		m2												
		植生工		式	1		490,600	1		544,656	1		544,656			
		張芝		m2	200	2,463	490,600	336	1,621	544,656	336	1,621	544,656			
		張芝	野芝(総合単価)	m2	200	2,463	490,600									
		張芝工	[規]300m2以上500m2未満	m2				336	1,621	544,656	336	1,621	544,656			
		多自然護岸工		式	1		934,344	1		1,162,458	1		1,162,458			
		ブロックマット		m2	114	8,196	934,344	171	6,798	1,162,458	171	6,798	1,162,458			
		ブロックマット工護岸	(総合単価)	m2	114	8,196	934,344									
		ブロックマット工(最大法長5.5m以下)	適用マット長さ_4.5mを超え5.5m以下	m2				171	6,798	1,162,458	171	6,798	1,162,458			
	構造物撤去工			式	1		80,697	1		5,934	1		5,934			
		構造物取壊し工		式	1		72,721	1		3,537	1		3,537			
		コンクリート構造物取壊し		m3	11	6,611	72,721	0.5	7,074	3,537	0.5	7,074	3,537			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)	機械施工	m3	11	6,611	72,721	0.5	7,074	3,537	0.5	7,074	3,537			
		運搬処理工		式	1		7,976	1		2,397	1		2,397			
		殻運搬		m3	11	725.1	7,976	0.5	1,794	897	0.5	1,794	897			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	11	725.1	7,976	0.5	1,794	897	0.5	1,794	897			
		殻処分		t				1	1,500	1,500	1	1,500	1,500			
		Co殻処分費		t				1	1,500	1,500	1	1,500	1,500			
	仮設工			式	1		5,121,996	1		4,805,030	1		8,326,130		3,521,100	
		工事用道路工		式	1		4,937,628	1		4,071,810	1		4,071,810			
		工事用道路盛土		m3	250	4,601	2,006,489	240	240	57,600	240	240	57,600			
		工事用道路	W=4.0m(総合単価)	m3	103	8,313	856,239									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3	250	4,601	1,150,250									
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3				240	240	57,600	240	240	57,600			
		敷砂利		m3	17	5,322	90,474	31	5,546	171,926	31	5,546	171,926			
		敷砂利	再生砕石を使用する	m3	17	5,322	90,474	31	5,546	171,926	31	5,546	171,926			
		工事用道路撤去		m3				270	370	99,927	270	370	99,927			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				270	370.1	99,927	270	370.1	99,927			
		工事用道路（スロープ部）		m3				1	1,407,254	1,407,254	1	1,407,254	1,407,254			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				250	5,226	1,306,500	250	5,226	1,306,500			
		敷砂利	再生砕石を使用する	m3				7	5,546	38,822	7	5,546	38,822			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				260	238.2	61,932	260	238.2	61,932			
		暗渠排水管		m	84	11,370	955,080	64	12,420	794,880	64	12,420	794,880			
		暗渠排水管	据付・撤去直管200～400mm	m	84	11,370	955,080									
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管450～600mm	m				64	12,420	794,880	64	12,420	794,880			
		敷鉄板		m2	22	1,035	22,764	22	1,862	40,985	22	1,862	40,985			
		工事用道路	W=3.0m(敷鉄板,t=22mm)(総合単価)	m	7	3,252	22,764									
		敷鉄板設置		m2				22	170	3,740	22	170	3,740			
		敷鉄板撤去		m2				22	160	3,520	22	160	3,520			
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚				5	6,745	33,725	5	6,745	33,725			
		仮設用共通工		式	1	1,495,972	1,495,972									
		購入土砂(ほぐし)		m3	410	2,000	820,000									
		積込(ルーズ)		m3	330	190.6	62,898									
		土砂等運搬		m3	330	557.8	184,074									
		処分費		m3	330	1,300	429,000									
		土のう		袋	65	4,529	366,849	232	6,462	1,499,238	232	6,462	1,499,238			
		大型土のう	(総合単価)土留・仮締切工	袋	65	4,529	294,385									
		大型土のう	(総合単価)	袋	16	4,529	72,464									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				232	5,779	1,340,728	232	5,779	1,340,728			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				262	605	158,510	262	605	158,510			

	水替工		式	1		184,368	1		733,220	1		733,220			
	締切排水工		箇所	1	184,368	184,368									
	締切排水工	（総合単価）	箇所	1	184,368	184,368									
	ポンプ排水		日				39	18,800	733,220	39	18,800	733,220			
	ポンプ設置・撤去		箇所				2	72,940	145,880	2	72,940	145,880			
	ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				39	15,060	587,340	39	15,060	587,340			
	交通管理工		式							1		3,521,100	1	3,521,100	
	交通誘導警備員		人							291	12,100	3,521,100	291	3,521,100	
	交通誘導警備員B		人							291	12,100	3,521,100	291	3,521,100	
直接工事費						20,524,209			33,562,691			37,083,791		3,521,100	
処分費・投業料等						429,000			4,891,500			4,891,500			
運搬費						29,600			40,560			40,560			
運搬費			式			29,600	1		40,560	1		40,560			
運搬費			式			29,600	1		40,560	1		40,560			
仮設材運搬費			t			29,600	4	10,140	40,560	4	10,140	40,560			
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬		運搬距離12.3km	式	1	29,600	29,600	1	40,560	40,560	1	40,560	40,560			
共通仮設費率分						2,446,000			3,748,000			4,113,000		365,000	
共通仮設費計						2,475,600			3,788,560			4,153,560		365,000	
純工事費						22,999,809			37,351,251			41,237,351		3,886,100	
現場管理費						8,273,000			13,192,000			14,415,000		1,223,000	
工事原価						31,272,809			50,543,251			55,652,351		5,109,100	
一般管理費率分						5,737,682			6,482,718			7,166,818		684,100	
契約保証費						12,509									
一般管理費計						5,750,191			6,481,749			7,166,649		684,900	
工事価格						37,023,000			57,025,000			62,819,000		5,794,000	
工事価格計						37,023,000			56,919,000			62,702,000		5,783,000	落札率込
消費税相当額						2,961,840			5,691,900			6,270,200		578,300	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						39,984,000			62,610,900			68,972,200		6,361,300	
工事雑費						599,000			954,000			1,049,000		95,000	
応急工事費						1,033,000			1,033,000			1,033,000			
工事費計						41,616,000			64,597,900			71,054,200		6,456,300	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														4,242,987	

平成30年災　第3953号　一級河川太田川水系湯坂川及支川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系湯坂川及支川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額22,478,000円】

令和3年10月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時に想定していた工事車両の通行ルートについて、実施にあたり、地元関係者と協議した結果、通行を拒否された。これに伴い通行ルートを変更することとなり、根固めブロックを吊るためのラフテレーンクレーンの通行が不可能となったため、根固工層積から底張工への工法変更を行いたい。」

との内容の協議録を添付した上で協議し同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　19,443,000円】

（上記理由による増減額　△7,225,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、クレーン作業による根固工を底張工へ変更することについて令和２年４月８日付けで工事内容変更通知書を通知した。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和４年３月25日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

大型車が通行できない道路であり、クレーン車が通行できないため根固工を底張工に変更したのは事実であるものの、工事内容の変更が必要となった原因は、査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（根固工は減額）(A)（14,949,000円）と、実際に施工された工事費(B)（19,878,100円）との差額を影響額とした。

(B) 19,878,100（円）－（A）14,949,000（円）＝　4,929,100（円）

（内国費　3,287,709（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	3953号	路線名	一級河川太田川水系湯坂川及支川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果による施工機械の変更に伴う工法の変更（根固工層積3t→底張工）」　想定していたルートの通行が不可となったことによる施工機械の変更に伴い根固工層積から底張工への工法変更を行いたい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（根固工は減額）（A）（14,949,000円）と、実際に施工された工事費（B）（19,878,100円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B) － (A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		10,834,841	1		7,702,691	1		10,564,736		2,772,145	
	河川土工			式	1		276,400	1		1,332,290	1		2,007,340		675,050	
		掘削工		式				1		60,240	1		243,360		183,120	
		掘削		m3				240	251	60,240	240	1,014	243,360		183,120	
		掘削	土砂上記以外(小規模)	m3							240	1,014	243,360	240	243,360	
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				240	251	60,240				▲ 240	▲ 60,240	
		盛土工		式	1		276,400	1		191,360	1		252,585		61,225	
		路体(築堤)盛土		m3	40	6,910	276,400	40	4,784	191,360	40	6,314	252,585		61,225	
		購入土盛土	購入土 （総合単価）	m3	40	6,910	276,400									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				40	4,784	191,360	40	4,784	191,360			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							50	1,035	51,750	50	51,750	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							50	189.5	9,475	50	9,475	
		法面整形工		式				1		104,550	1		180,150		75,600	
		法面整形(切土部)		m2				150	697	104,550	150	1,201	180,150		75,600	
		法面整形	切土部現場制約有り	m2							150	1,201	180,150	150	180,150	
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				150	697	104,550				▲ 150	▲ 104,550	
		残土処理工		式				1		976,140	1		1,331,245		355,105	
		土砂等運搬		m3				290	1,366	396,140	290	2,590	751,245		355,105	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				290	1,366	396,140	290	1,366	396,140			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							290	1,035	300,150	290	300,150	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							290	189.5	54,955	290	54,955	
		残土等処分		m3				290		580,000	290	2,000	580,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3				290	2,000	580,000	290	2,000	580,000			
	護岸基礎工			式				1		177,726	1		194,981		17,255	
		作業土工		式				1		177,726	1		194,981		17,255	
		床掘り		m3				100	1,764	176,400	100	1,764	176,400			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3				100	1,764	176,400	100	1,764	176,400			
		埋戻し		m3				7	189	1,326	7	2,654	18,581		17,255	
		積込(ルーズ)	土砂	m3				7	189.5	1,326	7	189.5	1,326			
		積込(ルーズ)	土砂	m3							7	1,430	10,010	7	10,010	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							7	1,035	7,245	7	7,245	
	法覆護岸工			式	1		5,711,265	1		4,812,275	1		5,066,561		254,286	
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		5,149,539	1		4,025,710	1		4,250,018		224,308	
		コンクリートブロック基礎		m				70	5,039	352,740	70	5,371	375,998		23,258	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				6	58,790	352,740	6	61,850	371,100		18,360	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							4	1,035	4,140	4	4,140	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							4	189.5	758	4	758	
		コンクリートブロック積		m2	207	24,877	5,149,539	169	18,810	3,178,890	169	19,420	3,281,980		103,090	
		コンクリートブロック積	間知(基礎・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.3（総合単価）	m2	207	24,877	5,149,539									
		コンクリートブロック積工		m2				169	18,810	3,178,890	169	19,420	3,281,980		103,090	
		裏込材(砕石)		m3				80	6,176	494,080	80	7,400	592,040		97,960	
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				80	6,176	494,080	80	6,176	494,080			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							80	1,035	82,800	80	82,800	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							80	189.5	15,160	80	15,160	
		護岸付属物工		式	1		239,580	1		421,618	1		435,130		13,512	
		小口止		箇所	8	29,948	239,580	8	52,702	421,618	8	54,391	435,130		13,512	
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m （総合単価）	m3	4	36,570	146,280									
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満 （総合単価）	m3	2	46,650	93,300									
		1号小口止工		箇所				1	57,008	57,008	1	58,843	58,843		1,835	
		2号小口止工		箇所				1	54,012	54,012	1	55,741	55,741		1,729	
		3号小口止工		箇所				1	79,256	79,256	1	81,810	81,810		2,554	
		4号小口止工		箇所				1	53,949	53,949	1	55,678	55,678		1,729	
		5号小口止工		箇所				1	41,049	41,049	1	42,352	42,352		1,303	
		6号小口止工		箇所				1	58,028	58,028	1	59,890	59,890		1,862	
		7号小口止工		箇所				2	39,158	78,316	2	40,408	80,816		2,500	
		石積(張)工（すりつけ工）		式	1		322,146	1		227,680	1		236,410		8,730	
		石積		m2	18	17,897	322,146	14	10,760	150,640	14	10,760	150,640			
		石積	練積(裏巻・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.3（総合単価）	m2	18	17,897	322,146									
		石積(張)	積工	m2				14	10,760	150,640	14	10,760	150,640			
		胴込コンクリート		m3				3	25,680	77,040	3	28,590	85,770		8,730	
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				3	25,680	77,040	3	28,590	85,770		8,730	
		Coブロック工(Coブロック積)（すりつけ工）		式				1		137,267	1		145,003		7,736	
		コンクリートブロック基礎		m				1	5,879	5,879	1	6,282	6,282		403	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				0.1	58,790	5,879	0.1	61,850	6,185		306	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							0.08	1,035	82	0.08	82	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							0.08	189.5	15	0.08	15	
		コンクリートブロック積		m2				6	18,810	112,860	6	19,420	116,520		3,660	
		コンクリートブロック積工		m2				6	18,810	112,860	6	19,420	116,520		3,660	
		裏込材(砕石)		m3				3	6,176	18,528	3	7,400	22,201		3,673	
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				3	6,176	18,528	3	6,176	18,528			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							3	1,035	3,105	3	3,105	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							3	189.5	568	3	568	
	根固め工			式	1		3,708,859	1		105,400	1		1,843,660		1,738,260	
		底張工		式							1		1,738,260	1	1,738,260	
		底張コンクリート		式							1	1,738,260	1,738,260	1	1,738,260	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3							50	23,490	1,174,500	50	1,174,500	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3							24	23,490	563,760	24	563,760	
		根固めブロック工		式	1		3,091,269									
		根固めブロック製作		式	1	3,091,269	3,091,269									
		標準平型ブロック製作・据付	層積3.0t （総合単価）	個	69	44,801	3,091,269									
		吸出し防止材		式	1		136,340									
		吸出し防止材		m2	200	681	136,340									
		吸出し防止材設置	全面	m2	200	681.7	136,340									
		間詰工		式	1		397,650									
		間詰コンクリート		式	1	397,650	397,650									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	15	26,510	397,650									
		かご工		式	1		83,600	1		105,400	1		105,400			
		ふとんかご		m	8	10,450	83,600	10	10,540	105,400	10	10,540	105,400			
		ふとんかご	設置	m	8	10,450	83,600	10	10,540	105,400	10	10,540	105,400			
	構造物撤去工			式			68,730	1		171,824	1		185,648		13,824	
		構造物取壊し工		式	1		39,666	1		134,730	1		134,730			
		コンクリート構造物取壊し		m3	6	6,611	39,666	5.4	24,950	134,730	5.4	24,950	134,730			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	6	6,611	39,666	0.4	24,950	9,980	0.4	24,950	9,980			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3				2	24,950	49,900	2	24,950	49,900			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3				3	24,950	74,850	3	24,950	74,850			
		運搬処理工		式	1		29,064	1		37,094	1		50,918		13,824	
		殻運搬		m3	6	2,044	12,264	6	2,499	14,994	6	4,803	28,818		13,824	
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	6	2,044	12,264	6	2,499	14,994	6	2,499	14,994			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし人力積込	m3							6	2,304	13,824	6	13,824	
		殻処分		m3	6	2,800	16,800	6	3,683	22,100	6	3,683	22,100			
		コンクリート殻処分費	無筋	t	14	1,200	16,800	13	1,700	22,100	13	1,700	22,100			
	仮設工			式	1		1,069,587	1		1,193,076	1		1,266,546		73,470	
		土留・仮締切工		式	1		126,812	1		159,018	1		159,018			
		土のう		袋	28	4,529	126,812	34	4,677	159,018	34	4,677	159,018			
		大型土のう	（総合単価）	袋	28	4,529	126,812									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				34	4,102	139,468	34	4,102	139,468			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				34	575	19,550	34	575	19,550			
		水替工		式	1		821,395	1		879,078	1		879,078			
		ポンプ排水		日	16	46,092	737,472	16	27,960	447,360	16	27,960	447,360			
		締切排水工	（総合単価）	箇所	4	184,368	737,472									
		ポンプ設置・撤去		箇所				4	68,840	275,360	4	68,840	275,360			
		ポンプ運転	排水量40以上120未満(m3/h)	日				16	10,750	172,000	16	10,750	172,000			
		水替とい		m	133	631	83,923	133	3,246	431,718	133	3,246	431,718			
		掛樋工	高密度ポリエチレン管φ200～400mm （総合単価）	m	133	631	83,923									
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び硬状管450～600mm	m				133	3,246	431,718	133	3,246	431,718			
		残土処理工		式	1		121,380	1		154,980	1		228,450		73,470	
		土材料		m3	30	1,800	54,000	30	1,800	54,000	30	3,024	90,735		36,735	
		購入土砂 （ほぐし）	設計CBR20以上	m3	30	1,800	54,000	30	1,800	54,000	30	1,800	54,000			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							30	1,035	31,050	30	31,050	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							30	189.5	5,685	30	5,685	
		土砂等運搬		m3	20	1,369	27,380	30	1,366	40,980	30	2,590	77,715		36,735	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	20	1,369	27,380	30	1,366	40,980	30	1,366	40,980			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							30	1,035	31,050	30	31,050	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							30	189.5	5,685	30	5,685	
		残土等処分		m3	20	2,000	40,000	30	2,000	60,000	30	2,000	60,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3	20	2,000	40,000	30	2,000	60,000	30	2,000	60,000			

直接工事費						10,834,841			7,792,591			10,564,736		2,772,145	
処分費・投棄料等						56,800			662,100			662,100			
	共通仮設費率分					1,429,000			1,065,000			1,367,000		302,000	
共通仮設費計						1,429,000			1,065,000			1,367,000		302,000	
純工事費						12,263,841			8,857,591			11,931,736		3,074,145	
現場管理費						4,850,000			3,611,000			4,639,000		1,028,000	
工事原価						17,113,841			12,468,591			16,570,736		4,102,145	
	一般管理費率分					3,385,315			1,530,318			2,044,417		514,099	
	契約保証費					6,844			7,847			7,847			
一般管理費計						3,392,159			1,537,409			2,052,264		514,855	
工事価格						20,506,000			14,006,000			18,623,000		4,617,000	
工事価格計						20,506,000			13,590,000			18,071,000		4,481,000	落札率込
消費税相当額						1,640,480			1,359,000			1,807,100		448,100	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						22,146,000			14,949,000			19,878,100		4,929,100	
工事雑費						332,000			224,000			298,000		74,000	
工事費計						22,478,000			15,173,000			20,176,100		5,003,100	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														3,287,709	

平成30年災　第1481号　一級河川太田川水系湯坂川及支川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系湯坂川及支川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月3日から12月7日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額26,834,000円】

令和3年10月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時に想定していた工事車両の通行ルートについて、実施にあたり、地元関係者と協議した結果、通行を拒否された。これに伴い通行ルートを変更することとなり、根固めブロックを吊るためのラフテレーンクレーンの通行が不可能となったため、根固工層積から底張工への工法変更を行いたい。」

との内容の協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　28,418,000円】

（上記理由による増減額　△2,618,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、クレーン作業による根固工を底張工へ変更することについて令和２年４月８日付けで工事内容変更通知書を通知した。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和４年３月25日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

大型車が通行できない道路であり、クレーン車が通行できないため根固工を底張工に変更したのは事実であるものの、工事内容の変更が必要となった原因は、査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（根固工は減額）(A)（25,115,200円）と、実際に施工された工事費(B)（31,120,100円）との差額を影響額とした。

(B) 31,120,100（円）－（A）25,115,200（円）＝　6,004,900（円）

（内国費　　4,005,268（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	1481号	路線名	一級河川太田川水系湯坂川及支川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果による施工機械の変更に伴う工法の変更（根固工層積2t→底張工）」　想定していたルートの通行が不可となったことによる施工機械の変更に伴い根固工層積から底張工への工法変更を行いたい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（根固工は減額）（A）（25,115,200円）と、実際に施工された工事費（B）（31,120,100円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		13,200,518	1		13,835,682	1		17,343,642		3,507,960	
	河川土工			式	1		483,700	1		1,554,990	1		2,264,212		709,222	
		掘削工		式				1		62,750	1		253,500		190,750	
		掘削		m3				250	251	62,750	250	1,014	253,500		190,750	
		掘削	土砂上記以外(小規模)	m3							250	1,014	253,500	250	253,500	
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				250	251	62,750				▲ 250	▲ 62,750	
		盛土工		式	1		483,700	1		334,880	1		410,214		75,334	
		路体(築堤)盛土		m3	70	6,910	483,700	70	4,784	334,880	70	5,860	410,214		75,334	
		購入土盛土	購入土（総合単価）	m3	70	6,910	483,700									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				70	4,784	334,880	70	4,784	334,880			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							70	886.7	62,069	70	62,069	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							70	189.5	13,265	70	13,265	
		法面整形工		式				1		181,220	1		312,260		131,040	
		法面整形(切土部)		m2				260	697	181,220	260	1,201	312,260		131,040	
		法面整形	切土部現場制約有り	m2							260	1,201	312,260	260	312,260	
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				260	697	181,220				▲ 260	▲ 181,220	
		残土処理工		式				1		976,140	1		1,288,238		312,098	
		土砂等運搬		m3				290	1,366	396,140	290	2,442	708,238		312,098	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				290	1,366	396,140	290	1,366	396,140			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							290	886.7	257,143	290	257,143	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							290	189.5	54,955	290	54,955	
		残土等処分		m3				290	2,000	580,000	290	2,000	580,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3				290	2,000	580,000	290	2,000	580,000			
	護岸基礎工			式				1		328,890	1		467,892		139,002	
		作業土工		式				1		328,890	1		467,892		139,002	
		床掘り		m3				180	1,764	317,520	180	1,764	317,520			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3				180	1,764	317,520	180	1,764	317,520			
		埋戻し		m3				60	190	11,370	60	2,506	150,372		139,002	
		積込(ルーズ)	土砂	m3				60	189.5	11,370				▲ 60	▲ 11,370	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	1,430	85,800	60	85,800	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	886.7	53,202	60	53,202	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
	法覆護岸工			式	1		8,358,187	1		8,244,590	1		8,584,876		340,286	
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		5,846,095	1		5,292,028	1		5,531,086		239,058	
		コンクリートブロック基礎		m				58	10,136	587,900	58	10,738	622,804		34,904	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				10	58,790	587,900	10	61,850	618,500		30,600	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							4	886.7	3,546	4	3,546	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							4	189.5	758	4	758	
		大型ブロック積		m2	235	24,877	5,846,095	218	17,771	3,874,186	218	18,067	3,938,758		64,572	
		コンクリートブロック積	間詰(基礎-裏込材有-裏コン無)1:0.2~1:0.3（総合単価）	m2	235	24,877	5,846,095									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				218	16,160	3,522,880	218	16,160	3,522,880			
		胴込材	大型ブロック	m3				58	6,057	351,306	58	6,057	351,306			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	886.7	53,202	60	53,202	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
		胴込・裏込材(砕石)		m3				115	3,369	387,435	115	4,398	505,817		118,382	
		裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				115	3,369	387,435	115	3,369	387,435			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							110	886.7	97,537	110	97,537	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							110	189.5	20,845	110	20,845	
		吸出し防止材(全面)設置		m2				94	771	72,427	94	770	72,427			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				94	770.5	72,427	94	770.5	72,427			
		天端コンクリート		m				58	6,381	370,080	58	6,746	391,280		21,200	
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				8	46,260	370,080	8	48,910	391,280		21,200	
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		323,401	1		280,413	1		295,322		14,909	
		コンクリートブロック基礎		m				4	4,409	17,637	4	4,692	18,769		1,132	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				0.3	58,790	17,637	0.3	61,850	18,555		918	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							0.2	886.7	177	0.2	177	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							0.2	189.5	37	0.2	37	
		コンクリートブロック積		m2	13	24,877	323,401	12	18,810	225,720	12	19,420	233,040		7,320	
		コンクリートブロック積	間詰(基礎-裏込材有-裏コン無)1:0.2~1:0.3（総合単価）	m2	13	24,877	323,401									
		コンクリートブロック積工		m2				12	18,810	225,720	12	19,420	233,040		7,320	
		裏込材(砕石)		m3				6	6,176	37,056	6	7,252	43,513		6,457	
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				6	6,176	37,056	6	6,176	37,056			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							6	886.7	5,320	6	5,320	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							6	189.5	1,137	6	1,137	
		護岸付属物工		式	1		608,563	1		1,366,574	1		1,412,406		45,832	
		小口止		箇所	11	55,324	608,563	11	124,234	1,366,574	11	128,400	1,412,406		45,832	
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満（総合単価）	m3	1	46,650	46,650									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	8	36,570	292,560									
		もたれ擁壁	H=5.0～8.0m（総合単価）	m3	7	38,479	269,353									
		１号小口止工		箇所				1	137,587	137,587	1	142,162	142,162		4,575	
		２号小口止工		箇所				1	118,100	118,100	1	122,010	122,010		3,910	
		３号小口止工		箇所				1	121,054	121,054	1	125,071	125,071		4,017	
		４号小口止工		箇所				1	114,253	114,253	1	118,030	118,030		3,777	
		５号小口止工		箇所				1	145,916	145,916	1	150,784	150,784		4,868	
		６号小口止工		箇所				1	190,414	190,414	1	196,931	196,931		6,517	
		７号小口止工		箇所				1	232,916	232,916	1	241,109	241,109		8,193	
		８号小口止工		箇所				1	69,460	69,460	1	71,694	71,694		2,234	
		９号小口止工		箇所				1	122,902	122,902	1	126,892	126,892		3,990	
		１０号小口止工		箇所				1	41,324	41,324	1	42,681	42,681		1,357	
		１１号小口止工		箇所				1	72,648	72,648	1	75,042	75,042		2,394	
		石積(張)工（ずりつけ工）		式	1		1,306,481	1		926,360	1		949,640		23,280	
		石積		m2	73	17,897	1,306,481	67	10,760	720,920	67	10,760	720,920			
		石積	練間(岩盤-裏込材有-裏コン無)1:0.2~1:0.3（総合単価）	m2	73	17,897	1,306,481									
		石積(張)	積工	m2				67	10,760	720,920	67	10,760	720,920			
		胴込・裏込コンクリート		m3				8	25,680	205,440	8	28,590	228,720		23,280	
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				8	25,680	205,440	8	28,590	228,720		23,280	
		Coブロック工(Coブロック積)（ずりつけ工）		式	1		273,647	1		379,215	1		396,422		17,207	
		コンクリートブロック基礎		m				3	11,758	35,274	3	12,477	37,432		2,158	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				0.6	58,790	35,274	0.6	61,850	37,110		1,836	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							0.3	886.7	266		266	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							0.3	189.5	56		56	
		大型ブロック積		m2	11	24,877	273,647	16	17,674	282,788	16	17,943	287,092		4,304	
		コンクリートブロック積	間詰(基礎-裏込材有-裏コン無)1:0.2~1:0.3（総合単価）	m2	11	24,877	273,647									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				16	16,160	258,560	16	16,160	258,560			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				4	6,057	24,228	4	6,057	24,228			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							4	886.7	3,546	4	3,546	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							4	189.5	758	4	758	
		胴込・裏込材(砕石)		m3				9	3,369	30,321	9	4,445	40,006		9,685	
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				9	3,369	30,321	9	3,369	30,321			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							9	886.7	7,980	9	7,980	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							9	189.5	1,705	9	1,705	
		吸出し防止材(全面)設置		m2				16	771	12,328	16	770	12,328			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				16	770.5	12,328	16	770.5	12,328			
		天端コンクリート		m				3	6,168	18,504	3	6,521	19,564		1,060	
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				0.4	46,260	18,504	0.4	48,910	19,564		1,060	
	根固め工			式	1		1,496,847	1		63,240	1		1,043,176		979,936	
		根固めブロック工		式	1		1,371,491									
		根固めブロック製作		個	41	33,451	1,371,491									
		標準平型ブロック製作・据付	層積2.0t（総合単価）	個	41	33,451	1,371,491									
		吸出し防止材		式	1		62,716									
		吸出し防止材		m2	92	681	62,716									
		吸出し防止材設置	全面	m2	92	681.7	62,716									
		底張工		式							1		963,090	1	963,090	
		底張コンクリート		式							1	963,090	963,090	1	963,090	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3							28	23,490	657,720	28	657,720	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3							13	23,490	305,370	13	305,370	
		間詰工		式							1		16,846	1	16,846	
		間詰石		m3							5	3,369	16,846	5	16,846	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							5	893.3	4,466	5	4,466	
		再生クラッシャラン	40～0mm	m3							5	1,400	7,000	5	7,000	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							5	886.7	4,433	5	4,433	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							5	189.5	947	5	947	
		かご工		式	1		62,640	1		63,240	1		63,240			
		ふとんかご		m	6	10,440	62,640	6	10,540	63,240	6	10,540	63,240			
		ふとんかご	設置	m	6	10,440	62,640	6	10,540	63,240	6	10,540	63,240			

仮設工			式	1		2,861,784	1		3,643,982	1		4,983,486		1,339,504	
工事用道路工			式	1		1,097,316	1		200,282	1		646,540		446,258	
工事用道路（盛土）			m	132	8,313	1,097,316	132	1,517	200,282	132	4,898	646,540		446,258	
工事用道路		W=4.0m（総合単価）	m	132	8,313	1,097,316									
路体(築堤)盛土		施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3							300	638	191,400	300	191,400	
路体(築堤)盛土		施工幅員4.0m以上敷均し+締固め	m3				300	158.7	47,610				▲ 300	▲ 47,610	
整地		敷均し(ルーズ)	m3				40	283.3	11,332	40	283.3	11,332			
再生クラッシャラン		40～0mm	m3				40	1,400	56,000	40	1,400	56,000			
土砂等運搬		小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							40	886.7	35,468	40	35,468	
積込(ルーズ)		土砂	m3							40	189.5	7,580	40	7,580	
掘削		土砂上記以外(小規模)	m3							340	1,014	344,760	340	344,760	
掘削		土砂オープンカット押土無し	m3				340	251	85,340				▲ 340	▲ 85,340	
土留・仮締切工			式	1		366,849	1		448,992	1		448,992			
土のう			袋	81	4,529	366,849	96	4,677	448,992	96	4,677	448,992			
大型土のう		（総合単価）	袋	81	4,529	366,849									
大型土のう製作・設置(BH設置)			袋				96	4,102	393,792	96	4,102	393,792			
大型土のう撤去		作業半径6m以下	袋				96	575	55,200	96	575	55,200			
水替工			式	1		1,017,929	1		698,988	1		698,988			
ポンプ排水			日	17	54,226	921,840	17	30,997	526,950	17	30,997	526,950			
締切排水工		（総合単価）	箇所	5	184,368	921,840									
ポンプ設置・撤去			箇所				5	68,840	344,200	5	68,840	344,200			
ポンプ運転		排水量40以上120未満(m3/h)	日				17	10,750	182,750	17	10,750	182,750			
水替とい			m	53	1,813	96,089	53	3,246	172,038	53	3,246	172,038			
掛樋工		高密度ポリエチレン管φ450～600mm（総合単価）	m	53	1,813	96,089									
暗渠排水管		据付・撤去波状管及び網状管450～600mm	m				53	3,246	172,038	53	3,246	172,038			
残土処理工			式	1		379,690	1		2,295,720	1		3,188,966		893,246	
土材料			m3	80	1,800	144,000	490	1,800	882,000	490	2,700	1,323,242		441,242	
購入土砂（ほぐし）		設計CBR20以上	m3	80	1,800	144,000	490	1,800	882,000	490	1,800	882,000			
土砂等運搬		小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							410	886.7	363,547	410	363,547	
積込(ルーズ)		土砂	m3							410	189.5	77,695	410	77,695	
土砂等運搬			m3	70	1,367	95,690	420	1,366	573,720	420	2,442	1,025,724		452,004	
土砂等運搬		標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	70	1,367	95,690	420	1,366	573,720	420	1,366	573,720			
土砂等運搬		小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							420	886.7	372,414	420	372,414	
積込(ルーズ)		土砂	m3							420	189.5	79,590	420	79,590	
残土等処分			m3	70	2,000	140,000	420	2,000	840,000	420	2,000	840,000			
土砂処分費		砂・砂質土・礫質土	m3	70	2,000	140,000	420	2,000	840,000	420	2,000	840,000			
直接工事費						13,200,518			13,835,692			17,343,642		3,507,950	
処分費・投棄料等						140,000			1,420,000			1,420,000			
共通仮設費率分						1,661,000			1,626,000			1,965,000		339,000	
共通仮設費計						1,661,000			1,626,000			1,965,000		339,000	
純工事費						14,861,518			15,461,692			19,308,642		3,846,950	
現場管理費						5,642,000			5,521,000			6,678,000		1,157,000	
工事原価						20,503,518			20,982,692			25,986,642		5,003,950	
一般管理費率分						3,968,281			2,539,173			3,160,955		621,782	
契約保証費						8,201			9,001			9,001			
一般管理費計						3,976,482			2,547,308			3,169,358		622,050	
工事価格						24,480,000			23,530,000			29,156,000		5,626,000	
工事価格計						24,480,000			22,832,000			28,291,000		5,459,000	落札率込
消費税相当額						1,958,400			2,283,200			2,829,100		545,900	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						26,438,000			25,115,200			31,120,100		6,004,900	
工事雑費						396,000			376,000			466,000		90,000	
工事費計						26,834,000			25,491,200			31,586,100		6,094,900	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														4,005,268	

平成30年災　第1480号　一級河川太田川水系湯坂川及支川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系湯坂川及支川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月3日から12月7日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額16,039,000円】

令和3年10月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時に想定していた工事車両の通行ルートについて、実施にあたり、地元関係者と協議した結果、通行を拒否された。これに伴い通行ルートを変更することとなり、根固めブロックを吊るためのラフテレーンクレーンの通行が不可能となったため、根固工層積から底張工への工法変更を行いたい。」

との内容の協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　15,819,000円】

（上記理由による増減額　△1,846,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、クレーン作業による根固工を底張工へ変更することについて令和２年４月８日付けで工事内容変更通知書を通知した。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和４年３月25日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

大型車が通行できない道路であり、クレーン車が通行できないため根固工を底張工に変更したのは事実であるものの、工事内容の変更が必要となった原因は、査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（根固工は減額）(A)（12,762,200円）と、実際に施工された工事費(B)（16,179,900円）との差額を影響額とした。

(B) 16,179,900（円）－（A）12,762,200（円）＝　3,417,700（円）

（内国費　2,279,605（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

災害年次	H30	工事番号	1480号	路線名	一級河川太田川水系湯坂川及支川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「地元調整の結果による施工機械の変更に伴う工法の変更（根固工層積2t→底張工）」　想定していたルートの通行が不可となったことによる施工機械の変更に伴い根固工層積から底張工への工法変更を行いたい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（根固工は減額）（A）（12,762,200円）と、実際に施工された工事費（B）（16,179,900円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B)－(A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
木工事費																
	築堤・護岸			式	1		7,424,333	1		6,470,000	1		8,368,005		1,898,005	
	河川土工			式	1		138,200	1		617,260	1		910,290		293,030	
		掘削工		式				1		20,080	1		81,120		61,040	
		掘削		m3				80	251	20,080	80	1,014	81,120		61,040	
		掘削	土砂上記以外(小規模)	m3							80	1,014	81,120	80	81,120	
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				80	251	20,080				▲ 80	▲ 20,080	
		盛土工		式	1		138,200	1		95,680	1		127,966		32,286	
		路体(築堤)盛土		m3	20	6,910	138,200	20	4,784	95,680	20	6,398	127,966		32,286	
		購入土盛土	購入土（総合単価）	m3	20	6,910	138,200									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				20	4,784	95,680	20	4,784	95,680			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							30	886.7	26,601	30	26,601	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							30	189.5	5,685	30	5,685	
		法面整形工		式				1		97,580	1		168,140		70,560	
		法面整形(切土部)		m2				140	697	97,580	140	1,201	168,140		70,560	
		法面整形	切土部現場制約有り	m2							140	1,201	168,140	140	168,140	
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				140	697	97,580				▲ 140	▲ 97,580	
		残土処理工		式				1		403,920	1		533,064		129,144	
		土砂等運搬		m3				120	1,366	163,920	120	2,442	293,064		129,144	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				120	1,366	163,920	120	1,366	163,920			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							120	886.7	106,404	120	106,404	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							120	189.5	22,740	120	22,740	
		残土等処分		m3				120	2,000	240,000	120	2,000	240,000			
		土砂処分費	砂・砂質土・礫質土	m3				120	2,000	240,000	120	2,000	240,000			
	護岸基礎工			式				1		223,050	1		362,052		139,002	
		作業土工		式				1		223,050	1		362,052		139,002	
		床掘り		m3				120	1,764	211,680	120	1,764	211,680			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3				120	1,764	211,680	120	1,764	211,680			
		埋戻し		m3				60	190	11,370	60	2,506	150,372		139,002	
		積込(ルーズ)	土砂	m3				60	189.5	11,370	60	1,430	85,800		74,430	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	886.7	53,202	60	53,202	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
	法覆護岸工			式	1		4,826,074	1		4,537,919	1		4,737,258		199,339	
		Coブロック工(Coブロック積)		式				1		1,137,522	1		1,195,988		58,466	
		コンクリートブロック基礎		m				26	4,522	117,580	26	4,840	125,852		8,272	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				2	58,790	117,580	2	61,850	123,700		6,120	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							2	886.7	1,773	2	1,773	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							2	189.5	379	2	379	
		コンクリートブロック積		m2				47	18,810	884,070	47	19,420	912,740		28,670	
		コンクリートブロック積工		m2				47	18,810	884,070	47	19,420	912,740		28,670	
		裏込材(砕石)		m3				22	6,176	135,872	22	7,154	157,396		21,524	
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				22	6,176	135,872	22	6,176	135,872			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							20	886.7	17,734	20	17,734	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							20	189.5	3,790	20	3,790	
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		4,005,197	1		2,366,456	1		2,471,834		105,378	
		コンクリートブロック基礎		m				23	7,668	176,370	23	8,160	187,702		11,332	
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				3	58,790	176,370	3	61,850	185,550		9,180	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							2	886.7	1,773	2	1,773	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							2	189.5	379	2	379	
		大型ブロック積		m2	161	24,877	4,005,197	101	17,779	1,795,699	101	18,098	1,827,985		32,286	
		コンクリートブロック積	明石(基礎・裏込材有/裏コン無)1:0.3~1:0.9（総合単価）	m2	161	24,877	4,005,197									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				101	16,160	1,632,160	101	16,160	1,632,160			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				27	6,057	163,539	27	6,057	163,539			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							30	886.7	26,601	30	26,601	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							30	189.5	5,685	30	5,685	
		胴込・裏込材(砕石)		m3				53	3,369	178,557	53	4,384	232,367		53,810	
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				53	3,369	178,557	53	3,369	178,557			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							50	886.7	44,335	50	44,335	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							50	189.5	9,475	50	9,475	
		吸出し防止材(全面)設置		m2				100	771	77,050	100	770	77,050			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				100	770.5	77,050	100	770.5	77,050			
		天端コンクリート		m				23	6,034	138,780	23	6,379	146,730		7,950	
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				3	46,260	138,780	3	48,910	146,730		7,950	
	護岸付属物工			式	1		266,070	1		546,301	1		564,336		18,035	
		小口止		箇所	6	44,345	266,070	6	91,050	546,301	6	94,056	564,336		18,035	
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満（総合単価）	m3	1	46,650	46,650									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	6	36,570	219,420									
		１号小口止工		箇所				1	42,984	42,984	1	44,367	44,367		1,383	
		２号小口止工		箇所				1	37,331	37,331	1	38,528	38,528		1,197	
		３号小口止工		箇所				1	122,648	122,648	1	126,718	126,718		4,070	
		４号小口止工		箇所				1	116,316	116,316	1	120,173	120,173		3,857	
		５号小口止工		箇所				1	124,200	124,200	1	128,323	128,323		4,123	
		６号小口止工		箇所				1	102,822	102,822	1	106,227	106,227		3,405	
		石積(張)工		式	1		554,807	1		487,640	1		505,100		17,460	
		石積		m2	31	17,897	554,807	31	10,760	333,560	31	10,760	333,560			
		石積	練積(前面・裏込材有/裏コン無)1:0.3~1:0.9（総合単価）	m2	31	17,897	554,807									
		石積(張)	積工	m2				31	10,760	333,560	31	10,760	333,560			
		胴込コンクリート		m3				6	25,680	154,080	6	28,590	171,540		17,460	
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				6	25,680	154,080	6	28,590	171,540		17,460	
	根固め工			式	1		1,302,975				1		1,133,430	1	1,133,430	
		根固めエブロック工		式	1		1,224,639									
		根固めブロック製作		個	35	33,451	1,170,785									
		標準平型ブロック製作・据付	層積2.0t（総合単価）	個	35	33,451	1,170,785									
		吸出し防止材		m2	79	681	53,854									
		吸出し防止材設置	全面	m2	79	681.7	53,854									
		底張工		式							1		798,660	1	798,660	
		底張コンクリート		式							1	798,660	798,660	1	798,660	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3							23	23,490	540,270	23	540,270	
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3							11	23,490	258,390	11	258,390	
		間詰工		式	1		78,336				1		334,770	1	334,770	
		間詰石		m3	20	3,917	78,336				60	5,579	334,770	60	334,770	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	893.3	53,598	60	53,598	
		整地	敷均し(ルーズ)	m3	20	116.8	2,336									
		割ぐり石	150～50mm	m3	20	3,800	76,000				57	3,800	216,600	57	216,600	
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	886.7	53,202	60	53,202	
		積込(ルーズ)	土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
	構造物撤去工			式	1		7,790	1		4,533	1		8,593		4,060	
		構造物取壊し工		式	1		6,782	1		3,284	1		6,949		3,665	
		コンクリート構造物取壊し		m3	0.2	33,910	6,782	0.2	16,420	3,284	0.2	34,745	6,949		3,665	
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	0.2	6,611	1,322	0.2	6,629	1,325	0.2	24,950	4,990		3,665	
		舗装版切断	コンクリート舗装版	m	2	2,730	5,460	2	979.8	1,959	2	979.8	1,959			
		運搬処理工		式	1		1,008	1		1,249	1		1,644		395	
		殻運搬		m3	0.2	2,040	408	0.2	2,495	499	0.2	4,470	894		395	
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	0.2	2,040	408	0.2	2,499	499	0.2	2,499	499			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし人力積込	m3							0.2	1,975	395	0.2	395	
		殻処分		m3	0.2	3,000	600	0.2	3,750	750	0.2	3,750	750			
		コンクリート殻処分費	無筋	t	0.5	1,200	600	0.5	1,500	750	0.5	1,500	750			
	仮設工			式	1		1,149,294	1		1,087,238	1		1,216,382		129,144	
		土留・仮締切工		式	1		267,211	1		327,390	1		327,390			
		土のう		袋	59	4,529	267,211	70	4,677	327,390	70	4,677	327,390			
		大型土のう	（総合単価）	袋	59	4,529	267,211									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				70	4,102	287,140	70	4,102	287,140			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				70	575	40,250	70	575	40,250			
		水替工		式	1		612,933	1		431,888	1		431,888			
		ポンプ排水		日	11	50,282	553,104	11	29,525	324,770	11	29,524	324,770			
		締切排水工	（総合単価）	箇所	3	184,368	553,104									
		ポンプ設置・撤去		箇所				3	68,840	206,520	3	68,840	206,520			
		ポンプ運転	排水量40以上120未満(m3/h)	日				11	10,750	118,250	11	10,750	118,250			
		水替とい		m	33	1,813	59,829	33	3,246	107,118	33	3,246	107,118			
		掛樋工	高密度ポリエチレン管φ450～600mm（総合単価）	m	33	1,813	59,829									
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管450～600mm	m				33	3,246	107,118	33	3,246	107,118			

	残土処理工			式	1		269,150	1		327,960	1		457,104		129,144	
	土購入			m3	60	1,800	108,000	70	1,800	126,000	70	2,722	190,572		64,572	
	購入土砂（ほぐし）		設計CBR20以上	m3	60	1,800	108,000	70	1,800	126,000	70	1,800	126,000			
	土砂等運搬		小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	886.7	53,202	60	53,202	
	積込(ルーズ)		土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
	土砂等運搬			式	50	1,923	96,150	60	1,366	81,960	60	2,442	146,532		64,572	
	土砂等運搬		標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	50	1,923	96,150	60	1,366	81,960	60	1,366	81,960			
	土砂等運搬		小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							60	886.7	53,202	60	53,202	
	積込(ルーズ)		土砂	m3							60	189.5	11,370	60	11,370	
	残土等処分			m3	50	1,300	65,000	60	2,000	120,000	60	2,000	120,000			
	土砂処分費		砂・砂質土・礫質土	m3	50	1,300	65,000	60	2,000	120,000	60	2,000	120,000			
直接工事費							7,424,333			6,470,000			8,368,005		1,898,005	
処分費・投棄料等							65,600			360,750			360,750			
	共通仮設費率分						1,071,000			946,000			1,162,000		216,000	
共通仮設費計							1,071,000			946,000			1,162,000		216,000	
純工事費							8,495,333			7,416,000			9,530,005		2,114,005	
現場管理費							3,633,000			3,207,000			3,941,000		734,000	
工事原価							12,128,333			10,623,000			13,471,005		2,848,005	
	一般管理費率分						2,498,817			1,329,002			1,683,523		354,521	
	契約保証費						4,850			5,152			5,152			
一般管理費計							2,503,667			1,334,000			1,687,995		353,995	
工事価格							14,632,000			11,957,000			15,159,000		3,202,000	
工事価格計							14,632,000			11,602,000			14,709,000		3,107,000	落札率込
消費税相当額							1,170,560			1,160,200			1,470,900		310,700	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							15,802,000			12,762,200			16,179,900		3,417,700	
工事雑費							237,000			191,000			242,000		51,000	
工事費計							16,039,000			12,953,200			16,421,900		3,468,700	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															2,279,605	

平成30年災　第4594号　二級河川瀬野川水系熊野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系熊野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月21日から１月25日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額13,542,000円】

令和３年11月26日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①地元調整の結果による工事用道路の変更＞について、「査定時に工事用道路として借地の承諾を得ていた。ルート上に杉があり変更時に再確認したところ、伐採・枝打ちは困るのでルートを見直すよう要望があった。したがって、杉を伐採・枝打ちしないルートに工事用道路を変更したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　36,986,000円】

（上記理由による増減額　＋11,209,000円）

また、＜理由②地元調整の結果による交通誘導警備員の追加＞について、「査定時は交通量が少ないため、交通誘導警備員を配置しない計画としていた。変更時に地元関係者から工事用道路の出入口は県道で大型車の通行があり、通学路となっていることから交通誘導警備員を配置して欲しいと要望を受けた。また、警察署からも指導を受けたため、交通誘導警備員を追加したい。」

との内容の協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　36,986,000円】

（上記理由による増減額　＋2,528,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議記録の内容は事実でないと判定した。

実際には、確認依頼書により工事用道路の位置変更及び交通誘導警備員の配置について確認依頼があり、受注者から工事打合せ簿により、①地権者からの指示により工事用道路を変更したいこと、②地元より要望があったため、交通誘導警備員を配置したいこと、との内容について協議があり、令和２年９月17日付けで設計変更の対象として指示し、令和３年７月16日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地権者から協議録報告者に要望があったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

＜①工事用道路の変更＞について、協議録は事実でないものの、査定後に地権者から工事用道路の位置変更の指示を受けたことについて受注者から協議があり、設計（契約）変更を認めており、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

- （円）

＜②交通誘導警備員の追加＞については、協議録は事実でないものの、受注者が地元から交通誘導警備員の配置要望を受け、その内容について工事打合せ簿で協議があり、設計（契約）変更を認めており、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

- （円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第2681号　その他河川木下川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川木下川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月3日から12月7日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からK箇所まで複数に分かれている。

【決定額96,442,000円】

令和3年12月2日付けの国との設計変更協議において、
F箇所からK箇所の部分廃止理由について、「F～K箇所について、護岸工及び底張工を査定決定されていたが、工事実施時に近接する地権者から工事の騒音や振動に対して申し出があり、交渉に時間を要していることから、維持修繕的な措置により対応するため、一部廃止したい。なお、維持修繕的な措置を行うF～K箇所の護岸については、河床洗堀により護岸基礎部が洗われたことにより護岸背後の土砂が流出しており、護岸が死に体と判断していたが、袋詰玉石工による河床保護及び護岸背後の盛土を行うこととする。また、部分廃止する箇所については、引き続き地権者と協議を行い、復旧を行う予定である。」
との内容について、土地所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　50,517,000円】
（上記理由による増減額　△50,307,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている聞き取り簿の内容は事実でないと判定した。

実際には、この廃工については、変更契約を締結し、令和５年９月27日付けで完成している。

現場を確認したところ、査定どおりの施工は困難であったため、国への廃工の報告にあたり、地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第4626号　その他河川天地川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川天地川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月21日から1月25日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からＩ箇所まで複数に分かれている。

【決定額192,398,000円】

令和3年12月23日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①C箇所終点の変更＞については、「査定時は地権者に対し、工事の支障となるので、護岸背後の立木を撤去する同意を得ていた。工事を実施するにあたり、再度、地権者に工事内容の説明を行ったところ、立木の撤去を地元要望により拒否された。このことから復旧延長を減じたい(L=48.5m→L=46.0m)。なお復旧延長から減じた範囲について、査定時は護岸を死に体と判断し、ブロック積による護岸の積み替えを申請していたが、上記の理由で施工が困難になったため、県単独費により、空隙をコンクリートで充填の上、根継ぎ工にて護岸基礎を保護する工法に変更する。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　247,111,000円】

（上記理由による増減額　△744,000円）

また、＜理由②C、E、F箇所の根固め工の変更＞については、「査定時は根固めブロックを現場製作とし、関係地権者と協議の上製作ヤードを確保していたが、工事実施時に用地地権者と協議した結果、製作ヤードの借地が困難になったため、二次製品に変更したい。また、根固めブロックの重量について、再計算した結果、根固めブロックの必要重量が変更となるため、変更したい(査定3t→変更0.5t）。」

との内容について、借地地権者の協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　247,111,000円】

（上記理由による増減額　＋9,163,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、①【C箇所終点の変更】については、令和3年6月11日付けで変更契約し延長を減じている。

また、②【C、E、F 箇所の根固め工の変更】については、当初契約後、根固めブロックを現場製作から二次製品の使用に変更契約し令和３年６月 25 日付けで完成している。

①【C 箇所終点の変更】については、協議録報告者への聞取りによると、桜の木を残してほしいという要望があったが、誰からかが不明であったため関係自治体との協議として作成したものである。

また、②【C、E、F 箇所の根固め工の変更】については、国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事実でない協議録を添付したものである。

（影響額の算定）

【①C 箇所終点の変更】

協議録は事実でないものの、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止（延長減）しており、影響額は無とした。

－　　（円）

【②C、E、F 箇所の根固め工の変更】

現場製作から二次製品に変更契約していることは事実であるものの、二次製品に変更した理由が分かる資料が残されていなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（244,260,200 円）と、実際に施工された工事費（B）（251,131,900 円）との差額を影響額とした。

（B）251,131,900（円）－（A）244,260,200（円）＝　6,871,700（円）

（内国費　4,583,423（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	4626号	路線名	その他河川天地川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「C,E,F箇所根固め工の変更」　製作ヤードの借地が困難なため，根固めブロックを製作から二次製品利用へ変更したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（244,260,200円）と、実際に施工された工事費（B）（251,131,900円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	道路			式	1		102,567,250	1		167,946,344	1		162,399,218		4,452,874	
	砂防土工			式	1		2,350,455	1		829,372	1		829,372			
	掘削工			式	1		63,275	1		341,278	1		341,278			
	掘削			m3	250	253	63,275	850	391	335,325	850	394	335,325			
	掘削		土砂オープンカット押土無し	m3	250	253.1	63,275	850	394.5	335,325	850	394.5	335,325			
	掘削			m3				6	992	5,953	6	992	5,953			
	掘削		土砂上記以外(小規模)	m3				6	992.3	5,953	6	992.3	5,953			
	盛土工			式	1		2,287,180	1		488,094	1		488,094			
	盛土			m3	420	5,446	2,287,180	490	620	304,094	490	620	304,094			
	購入土盛土		購入土（総合単価）	m3	140	2,517	352,380									
	購入土盛土		購入土（総合単価）	m3	280	6,910	1,934,800									
	路体(築堤)盛土		施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3				490	620.6	304,094	490	620.6	304,094			
	盛土(流用土)			m3				40	4,600	184,000	40	4,600	184,000			
	路体(築堤)盛土		施工幅員2.5m未満	m3				40	4,600	184,000	40	4,600	184,000			
	流路護岸工			式	1		49,321,012	1		50,191,108	1		50,191,108			
	作業土工			式				1		2,853,375	1		2,853,375			
	床掘り			m3				8	1,719	13,752	8	1,719	13,752			
	床掘り		土砂上記以外(小規模)	m3				8	1,719	13,752	8	1,719	13,752			
	床掘り			m3				4,300	362	1,557,950	4,300	362	1,557,950			
	床掘り		土砂標準	m3				4,300	325.3	1,398,790	4,300	325.3	1,398,790			
	基面整正			m2				460	346	159,160	460	346	159,160			
	埋戻し			m3				771	190	146,908	771	190	146,908			
	積込(ルーズ)		土砂	m3				770	187	143,990	770	187	143,990			
	埋戻し		土砂	m3				1	2,918	2,918	1	2,918	2,918			
	法面整形(切土部)			m2				1,670	679	1,134,765	1,670	679	1,134,765			
	法面整形		切土部現場制約無し	m2				1,670	679.5	1,134,765	1,670	679.5	1,134,765			
	基礎工			式				1		2,863,571	1		2,863,571			
	１号場所打基礎			m				320	4,183	1,338,660	320	4,183	1,338,660			
	現場打基礎コンクリート		18-8-40BB	m3				27	49,580	1,338,660	27	49,580	1,338,660			
	均しコンクリート			m3				20	26,450	529,000	20	26,450	529,000			
	コンクリート		無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				20	26,450	529,000	20	26,450	529,000			
	均しコンクリート型枠			m2				65	3,500	227,500	65	3,500	227,500			
	型枠		一般型枠	m2				65	3,500	227,500	65	3,500	227,500			
	２号場所打基礎			m				103	4,813	495,800	103	4,813	495,800			
	現場打基礎コンクリート		18-8-40BB	m3				10	49,580	495,800	10	49,580	495,800			
	均しコンクリート			m3				7	26,450	185,150	7	26,450	185,150			
	コンクリート		無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				7	26,450	185,150	7	26,450	185,150			
	均しコンクリート型枠			m2				21	3,500	73,500	21	3,500	73,500			
	型枠		一般型枠	m2				21	3,500	73,500	21	3,500	73,500			
	２号場所打基礎			m				2	4,958	9,916	2	4,958	9,916			
	現場打基礎コンクリート		18-8-40BB	m3				0.2	49,580	9,916	0.2	49,580	9,916			
	コンクリート			m3				0.1	2,645	2,645	0.1	26,450	2,645			
	コンクリート		無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				0.1	26,450	2,645	0.1	26,450	2,645			
	型枠			m2				0.4	3,500	1,400	0.4	3,500	1,400			
	型枠		一般型枠	m2				0.4	3,500	1,400	0.4	3,500	1,400			
	ブロック積擁壁工			式	1		47,658,124	1		39,193,428	1		39,193,428			
	１号コンクリートブロック積			m2	466	24,877	11,592,682	1,287	21,876	28,155,400	1,287	21,876	28,155,400			
	コンクリートブロック積（１号）		河川(基礎･裏込材有･裏コン無)1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	466	24,877	11,592,682									
	コンクリートブロック積工			m2				1,287	18,680	24,041,160	1,287	18,680	24,041,160			
	胴込・裏込材(砕石)		間知・平・連節・緑化ブロック	m3				688	5,980	4,114,240	688	5,980	4,114,240			
	２号コンクリートブロック積			m2	1,440	24,877	35,822,880	491	21,980	10,792,460	491	21,980	10,792,460			
	コンクリートブロック積（２号）		河川(基礎･裏込材有･裏コン無)1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	1,440	24,877	35,822,880									
	コンクリートブロック積工			m2				491	18,680	9,171,880	491	18,680	9,171,880			
	胴込・裏込材(砕石)		間知・平・連節・緑化ブロック	m3				271	5,980	1,620,580	271	5,980	1,620,580			
	３号コンクリートブロック積			m2	6	24,877	149,262	8	21,670	173,360	8	21,670	173,360			
	コンクリートブロック積（３号）		河川(基礎･裏込材有･裏コン無)1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	6	24,877	149,262									
	コンクリートブロック積工			m2				8	18,680	149,440	8	18,680	149,440			
	胴込・裏込材(砕石)		間知・平・連節・緑化ブロック	m3				4	5,980	23,920	4	5,980	23,920			
	1号天端コンクリート			m3	1	46,650	46,650	0.6	45,130	27,078	0.6	45,130	27,078			
	コンクリート擁壁（１号天端）		H=3.0m未満（総合単価）	m3	1	46,650	46,650									
	天端コンクリート		18-8-40BB	m3				0.6	45,130	27,078	0.6	45,130	27,078			
	2号天端コンクリート			m3	1	46,650	46,650	1	45,130	45,130	1	45,130	45,130			
	コンクリート擁壁（２号天端）		H=3.0m未満（総合単価）	m3	1	46,650	46,650									
	天端コンクリート		18-8-40BB	m3				1	45,130	45,130	1	45,130	45,130			
	護岸付属物工			式			1,662,888	1		5,280,734	1		5,280,734			
	石積（すりつけ工）			m2	63	17,897	1,127,511	96	10,420	1,000,320	96	10,420	1,000,320			
	石積（すりつけ工）		練積(岩着･裏込材有･裏コン無)1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	63	17,897	1,127,511									
	石積(張)		積工	m2				96	10,420	1,000,320	96	10,420	1,000,320			
	小口止コンクリート			m3	11	36,570	402,270	33	78,728	2,598,024	33	78,728	2,598,024			
	コンクリート擁壁（小口止）		H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	11	36,570	402,270									
	コンクリート		小型構造物18-8-40BB	m3				33	26,990	890,670	33	26,990	890,670			
	型枠		一般型枠	m2				214	6,219	1,330,866	214	6,219	1,330,866			
	型枠		化粧型枠	m2				36	8,458	304,488	36	8,458	304,488			
	化粧型枠材料費			m2				36	2,000	72,000	36	2,000	72,000			
	足場			m				310	2,227	690,370	310	2,227	690,370			
	足場設置及び撤去			m				310	2,227	690,370	310	2,227	690,370			
	足場			掛m2	45	2,958	133,107	340	2,917	992,020	340	2,917	992,020			
	手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場		単管足場	掛m2	38	3,027	115,026	240	3,048	731,520	240	3,048	731,520			
	手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場		単管傾斜足場	掛m2	7	2,583	18,081	100	2,605	260,500	100	2,605	260,500			
	床固め工			式	1		30,959,959	1		27,565,867	1		27,565,867			
	床固め本体工			式	1		15,421,399	1		13,558,875	1		13,558,875			
	コンクリート			m3	403	36,570	14,737,710	373	34,980	13,047,540	373	34,980	13,047,540			
	コンクリート擁壁（床固工）		H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	403	36,570	14,737,710									
	重力式擁壁		擁壁平均高さ2m以上5m以下	m3				373	34,980	13,047,540	373	34,980	13,047,540			
	型枠			m2				45	11,363	511,335	45	11,363	511,335			
	型枠		化粧型枠	m2				45	9,363	421,335	45	9,363	421,335			
	化粧型枠材料費			m2				45	2,000	90,000	45	2,000	90,000			
	足場			m	307	2,227	683,689									
	足場設置及び撤去			m	307	2,227	683,689									
	垂直壁工			式	1		10,166,460	1		9,113,742	1		9,113,742			
	コンクリート			m3	278	36,570	10,166,460	243	34,980	8,500,140	243	34,980	8,500,140			
	コンクリート擁壁（垂直壁）		H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	278	36,570	10,166,460									
	重力式擁壁		擁壁平均高さ2m以上5m以下	m3				243	34,980	8,500,140	243	34,980	8,500,140			
	型枠			m2				54	11,363	613,602	54	11,363	613,602			
	型枠		化粧型枠	m2				54	9,363	505,602	54	9,363	505,602			
	化粧型枠材料費			m2				54	2,000	108,000	54	2,000	108,000			
	水叩工			式	1		5,372,100	1		4,893,250	1		4,893,250			
	コンクリート			m3	235	22,860	5,372,100	185	26,450	4,893,250	185	26,450	4,893,250			
	コンクリート		無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	235	22,860	5,372,100	185	26,450	4,893,250	185	26,450	4,893,250			
	根固め・水制工			式	1		11,289,852	1		17,931,038	1		22,383,912		4,452,874	
	根固めブロック工			式	1		11,289,852	1		10,074,730	1		14,527,604		4,452,874	
	根固めブロック掘付			個	252	44,801	11,289,852	746	13,505	10,074,730	746	19,474	14,527,604		4,452,874	
	標準平型ブロック製作・据付		層積3.0t（総合単価）	個	252	44,801	11,289,852									
	消波根固めブロック掘付け		2.5t以下据付場所陸上層積	個				746	3,474	2,591,604	746	3,474	2,591,604			
	消波根固めブロック製作		2.5t以下	個				746	8,778	6,548,388				▲ 746	▲ 6,548,388	
	消波根固めブロック横取り		2.5t以下	個				746	1,253	934,738				▲ 746	▲ 934,738	
	根固めブロック		0.5ｔ	個							746	16,000	11,936,000	746	11,936,000	
	置石工			式				1		7,856,308	1		7,856,308			
	置石工			式				1	466,332	466,332	1	466,332	466,332			
	置石工			式				1	466,332	466,332	1	466,332	466,332			
	置石工			式				1	7,389,976	7,389,976	1	7,389,976	7,389,976			
	置き石据付		Φ700内外	個				1,738	4,252	7,389,976	1,738	4,252	7,389,976			
	流路付属物設置工			式	1		377,280	1		377,280	1		377,280			
	防止柵工			式	1		377,280	1		377,280	1		377,280			
	転落(横断)防止柵			m	60	6,288	377,280	60	6,288	377,280	60	6,288	377,280			
	横断・転落防止柵コンクリート建込		ビーム式・パネル式[規]100m未満	m	60	6,288	377,280	60	6,288	377,280	60	6,288	377,280			
	構造物撤去工			式	1		5,449,557	1		18,127,609	1		18,127,609			
	構造物取壊し工			式	1		5,449,557	1		18,127,609	1		18,127,609			
	コンクリート構造物取壊し			m3	47	115,948	5,449,557	179	101,271	18,127,609	179	101,271	18,127,609			
	構造物とりこわし工(無筋構造物)			m3	47	8,594	403,918	179	8,617	1,542,443	179	8,617	1,542,443			
	石積取壊し(人力)		空積控え45cm未満	m2	1,223	3,820	4,671,869	530	3,820	2,024,600	530	3,820	2,024,600			
	殻運搬		Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	47	725.1	34,079	178	3,050	542,900	178	3,050	542,900			
	殻運搬		Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし人力積込	m3				0.9	9,603	8,642	0.9	9,603	8,642			
	作業残土処理		空石積（総合単価）	m3	430	790	339,700									
	土砂等運搬		標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				950	2,346	2,228,700	950	2,346	2,228,700			
	土砂等運搬		小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				4	4,331	17,324	4	4,331	17,324			
	コンクリート塊受入費			t				420	1,500	630,000	420	1,500	630,000			
	石処分費			t				2,474	4,500	11,133,000	2,474	4,500	11,133,000			

	仮設工			式	1		2,819,141	1		42,924,070	1		42,924,070			
		工事用道路工		式	1		689,979	1		710,670	1		710,670			
		工事用道路盛土		式	1	689,979	689,979	1	176,160	176,160	1	176,160	176,160			
		工事用道路	W=4.0m（総合単価）	m	83	8,313	689,979									
		路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上敷均し+締固め	m3				600	293.6	176,160	600	293.6	176,160			
		敷砂利		m2				1,400	162	226,800	1,400	162	226,800			
		敷砂利		m2				1,400	162	226,800	1,400	162	226,800			
		工事用道路盛土撤去		m3				780	394	307,710	780	394	307,710			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				780	394.5	307,710	780	394.5	307,710			
		土留・仮締切工		式	1		1,159,997	1		22,805,737	1		22,805,737			
		土のう設置		袋	187	1,189	222,343	380	1,388	527,640	380	1,388	527,640			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				40	2,000	80,000	40	2,000	80,000			
		大型土のう設置	作業半径6m以下	袋	187	1,189	222,343	380	1,178	447,640	380	1,178	447,640			
		土のう撤去		袋	187	3,271	611,629	1,777	12,536	22,278,097	1,777	12,536	22,278,097			
		作業残土処理	大型土のう使用（総合単価）	m3	640	790	505,600									
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	187	567	106,029	1,777	561	996,897	1,777	561	996,897			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				5,230	2,346	12,269,580	5,230	2,346	12,269,580			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				20	4,331	86,620	20	4,331	86,620			
		土砂処分費		m3				5,250	1,700	8,925,000	5,250	1,700	8,925,000			
		土のう		袋	575	567	326,025									
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	575	567	326,025									
		水替工		式	1		969,165	1		10,205,763	1		10,205,763			
		ポンプ排水		式	1	921,840	921,840	1	6,772,240	6,772,240	1	6,772,240	6,772,240			
		締切排水工	（総合単価）	箇所	5	184,368	921,840									
		ポンプ設置・撤去		箇所				13	66,780	868,140	13	66,780	868,140			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				391	15,100	5,904,100	391	15,100	5,904,100			
		水替とい		m	75	631	47,325	1,535	2,236	3,433,523	1,535	2,236	3,433,523			
		排樋工	高密度ポリエチレン管φ200～400mm（総合単価）	m	75	631	47,325									
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管200～400mm	m				603	706.4	425,959	603	706.4	425,959			
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管450～600mm	m				932	3,227	3,007,564	932	3,227	3,007,564			
		交通管理工		式				1		9,201,900	1		9,201,900			
		交通誘導警備員		人				829	11,100	9,201,900	829	11,100	9,201,900			
		交通誘導警備員B		人				829	11,100	9,201,900	829	11,100	9,201,900			
直接工事費							102,567,256			157,946,344			162,399,218		4,452,874	
処分費・投棄料等										20,688,000			20,688,000			
	共通仮設費率分						7,928,000			9,936,000			10,178,000		242,000	
共通仮設費計							7,928,000			9,936,000			10,178,000		242,000	
純工事費							110,495,256			167,882,344			172,577,218		4,694,874	
現場管理費							27,357,000			34,450,000			35,321,000		871,000	
工事原価							137,852,256			202,332,344			207,898,218		5,565,874	
	一般管理費率分						20,415,604			22,982,654			23,675,248		692,594	
	契約保証費						55,140			55,638			55,638			
一般管理費計							20,470,744			23,037,656			23,730,782		693,126	
工事価格							158,323,000			225,370,000			231,629,000		6,259,000	
工事価格計										224,949,000			231,196,000		6,247,000	落札率込
消費税相当額							12,665,840			19,311,200			19,935,900		624,700	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							170,988,000			244,260,200			251,131,900		6,871,700	
工事雑費							2,564,000			3,940,000			4,043,000		103,000	
応急工事費							18,846,000			18,476,640			18,476,640			
工事費計							192,398,000			266,676,840			273,651,540		6,974,700	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															4,583,423	

平成30年災　第5059号　二級河川瀬野川水系瀬野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系瀬野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月28日から２月１日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工等で復旧するものである。

【決定額122,104,000円】

令和４年２月３日付けの国との設計変更協議において、

「工事着手時に地元関係者へ工事説明を行ったところ、歩行者・自転車の通行が多いことや、通学路になっていることから、交通誘導警備員の配置要望があったため追加したい。」との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　134,364,000円】

（上記理由による増減額　＋3,544,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議日は事実でないと判定した。

実際には、令和３年８月30日及び令和３年９月９日付けの工事打合せ簿により、工事に伴う交通規制に必要な交通誘導警備員の配置について協議があり、同日付でその内容について設計（契約）変更の対象とし承諾し、令和４年６月29日付けで完成している。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したことから、実際の協議日と整合が取れていないと考えられる。

（影響額の算定）

協議日は事実でないが、令和３年８月27日付け協議において同席したとされる受注者に確認したところ、「内容は事実である」と述べており、協議した内容については事実であることから、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底

を図る。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第4293号　二級河川瀬野川水系立石川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系立石川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月15日から１月18日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額97,043,000円】

令和４年２月15日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は見通しも良く、交通誘導警備員の配置は不要であると考えていたが、工事実施にあたり地元関係者へ工事説明を行ったところ、工事用車両運行ルートおよび施工箇所付近は団地の出入口であり、地元住民の交通量が多いことから、交通誘導警備員の配置要望があったため追加したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　106,410,000円】

（上記理由による増減額　＋3,483,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議記録は事実でないと判定した。

実際には、現地着手の段階で受注者から工事打合せ簿により、工事に伴う交通規制に必要な交通誘導警備員の配置について協議があり、令和４年６月６日及び９月27日付けで設計（契約）変更の対象として指示し、令和５年１月26日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元からの要望があったとする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

交通誘導警備員を配置して工事を実施したのは事実であるが、配置が必要となった原因は査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（81,759,700円）と、実際に施工された工事費（B）（87,118,900円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）87,118,900（円）－（A）81,759,700（円）＝　5,359,200（円）

（内国費　3,574,586（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	4293号	路線名	二級河川瀬野川水系立石川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「交通誘導警備員追加に係る変更」　地元要望により交通誘導警備員を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（81,759,700円）と、実際に施工された工事費（B）（87,118,900円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B) ― (A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	流路			式	1		47,771,112	1		49,637,962	1		46,603,850		3,065,898	
	砂防土工			式				1		2,804,581	1		2,804,581			
		掘削工		式				1		117,769	1		117,769			
		掘削		m3				310	379	117,769	310	379	117,769			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				310	379.9	117,769	310	379.9	117,769			
		盛土工		式				1		513,300	1		513,300			
		盛土(流用土)		m3				100	5,133	513,300	100	5,133	513,300			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				100	5,133	513,300	100	5,133	513,300			
		法面整形工		式				1		531,432	1		531,432			
		法面整形(切土部)		m2				720	738	531,432	720	738	531,432			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				720	738.1	531,432	720	738.1	531,432			
		残土処理工		式				1		1,642,080	1		1,642,080			
		土砂等運搬		m3				480	1,421	682,080	480	1,421	682,080			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				480	1,421	682,080	480	1,421	682,080			
		残土等処分		m3				480	2,000	960,000	480	2,000	960,000			
		土砂処分費		m3				480	2,000	960,000	480	2,000	960,000			
	流路護岸工			式	1		31,145,665	1		21,637,615	1		21,637,615			
		作業土工		式				1		701,144	1		701,144			
		床掘り		m3				280	2,504	701,144	280	2,504	701,144			
		床掘り	土砂標準	m3				280	223.3	62,524	280	223.3	62,524			
		基面整正		m2				160	377	60,320	160	377	60,320			
		転石破砕	火薬使用無し	m3				85	3,020	256,700	85	3,020	256,700			
		土砂等運搬	標準硬岩	m3				80	2,020	161,600	80	2,020	161,600			
		硬岩処分費		m3				80	2,000	160,000	80	2,000	160,000			
		ブロック積擁壁工		式	1		28,710,187	1		18,094,732	1		18,094,732			
		コンクリートブロック積		m2	1,239	23,172	28,710,187	774	23,378	18,094,732	774	23,378	18,094,732			
		コンクリートブロック積	河川(断面:裏込材有:裏コン無(1:0.3~1:0.9 (総合単価)	m2	1,052	22,869	24,058,188									
		コンクリートブロック積	河川(基礎:裏込材有:裏コン無(1:0.3~1:0.9 (総合単価)	m2	187	24,877	4,651,999									
		コンクリートブロック積工(練積)	粗面ブロック	m2				774	20,070	15,534,180	774	20,070	15,534,180			
		胴込・裏込材(砕石)	間知・平・連節・緑化ブロック	m3				404	6,338	2,560,552	404	6,338	2,560,552			
		基礎工		式				1		691,460	1		691,460			
		場所打基礎		m3				11	62,860	691,460	11	62,860	691,460			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				11	62,860	691,460	11	62,860	691,460			
		小口止工		式	1		688,500	1		1,200,633	1		1,200,633			
		小口止工		式	1		688,500	1	1,200,633	1,200,633	1	1,200,633	1,200,633			
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満（総合単価）	m3	3	46,650	139,950									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	15	36,570	548,550									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				14	29,030	406,420	14	29,030	406,420			
		型枠	一般型枠	m2				92	6,799	625,508	92	6,799	625,508			
		型枠	化粧型枠	m2				15	9,247	138,705	15	9,247	138,705			
		化粧型枠材料費		m2				15	2,000	30,000	15	2,000	30,000			
		間切工		式	1		281,109	1		304,286	1		304,286			
		間切工		式	1		281,109	1	304,286	304,286	1	304,286	304,286			
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満（総合単価）	m3	6	46,650	279,900									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				5	28,440	142,200	5	28,440	142,200			
		型枠	一般型枠	m2				21	7,523	157,983	21	7,523	157,983			
		鉄筋工	SD295_D16	t	0.002	128,500	257	0.007	148,200	1,037	0.007	148,200	1,037			
		コンクリート削孔(電動ハンマドリル)	削孔深さ30mm以上200mm未満	孔	2	476.3	952	6	511.1	3,066	6	511.1	3,066			
		植生工		式	1		31,710	1		59,280	1		59,280			
		野芝		式	1		31,710	1	59,280	59,280	1	59,280	59,280			
		張芝	人工芝（総合単価）	m2	30	1,057	31,710									
		張芝工	[規]300m2未満	m2				30	1,976	59,280	30	1,976	59,280			
		石積擁壁工(すりつけ工)		式	1		1,434,159	1		586,080	1		586,080			
		コンクリートブロック積		m2	40	22,869	914,760	11	20,070	220,770	11	20,070	220,770			
		コンクリートブロック積	河川(断面:裏込材有:裏コン無(1:0.3~1:0.9 (総合単価)	m2	40	22,869	914,760									
		コンクリートブロック積工(練積)	粗面ブロック	m2				11	20,070	220,770	11	20,070	220,770			
		石積		m2	27	19,237	519,399	23	11,250	258,750	23	11,250	258,750			
		石積	砂防(断面:裏込材有:裏コン無(1:0.3~1:0.9 (総合単価)	m2	27	19,237	519,399									
		石積(張)	積工	m2				23	11,250	258,750	23	11,250	258,750			
		胴込・裏込コンクリート		m3				4	26,640	106,560	4	26,640	106,560			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	積工	m3				4	26,640	106,560	4	26,640	106,560			
	根固め・水制工			式	1		12,846,319	1		13,034,428	1		13,034,428			
		根固めブロック工		式	1		5,909,769	1		8,986,751	1		8,986,751			
		根固めブロック製作		式	1		5,657,540	1	6,644,000	6,644,000	1		6,644,000			
		標準平型ブロック製作・据付	層積0.5t（総合単価）	個	460	12,299	5,657,540									
		根固めブロック	0.5t　突型	個				365	16,000	5,840,000	365	16,000	5,840,000			
		根固めブロック	3.0t　突型	個				12	67,000	804,000	12	67,000	804,000			
		根固めブロック据付		式				1	2,162,655	2,162,655	1	2,162,655	2,162,655			
		消波根固めブロック横取り	2.5t以下	個				365	1,342	489,830	365	1,342	489,830			
		消波根固めブロック横取り	2.5tを超え5.5t以下	個				12	1,416	16,992	12	1,416	16,992			
		消波根固めブロック据付け	2.5t以下据付場所陸上層積	個				365	4,385	1,600,525	365	4,385	1,600,525			
		消波根固めブロック据付け	2.5tを超え5.5t以下据付場所陸上層積	個				12	4,609	55,308	12	4,609	55,308			
		吸出し防止材		m2	370	682	252,229	240	750	180,096	240	750	180,096			
		吸出し防止材設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2	370	681.7	252,229	240	750.4	180,096	240	750.4	180,096			
		間詰工		式	1		6,789,400	1		3,918,200	1		3,918,200			
		間詰コンクリート		m3	32	21,700	694,400	55	23,330	1,283,150	55	23,330	1,283,150			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	32	21,700	694,400	55	23,330	1,283,150	55	23,330	1,283,150			
		間詰石		m3	59	4,000	236,000	163	4,000	652,000	163	4,000	652,000			
		割ぐり石	150～50mm	m3	59	4,000	236,000	163	4,000	652,000	163	4,000	652,000			
		埋戻コンクリート		m3	270	21,700	5,859,000	85	23,330	1,983,050	85	23,330	1,983,050			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	270	21,700	5,859,000	85	23,330	1,983,050	85	23,330	1,983,050			
		復旧工		式	1		147,150	1		129,477	1		129,477			
		コンクリート壁		m3	0.4	147,150	58,860	0.3	114,766	34,430	0.3	114,766	34,430			
		現場打コンクリート		m3	0.4	147,150	58,860	0.3	114,769	34,430	0.3	114,769	34,430			
		堤外水路		m3	0.6	147,150	88,290	0.7	135,781	95,047	0.7	135,781	95,047			
		現場打コンクリート		m3	0.6	147,150	88,290	0.7	135,782	95,047	0.7	135,782	95,047			
	構造物撤去工			式	1		1,226,082	1		2,438,727	1		2,438,727			
		構造物撤去工		式	1		1,226,082	1		2,438,727	1		2,438,727			
		構造物撤去工		m3	116	10,570	1,226,082	213	11,449	2,438,727	213	11,449	2,438,727			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)	機械施工	m3	116	6,611	766,876	213	7,081	1,508,253	213	7,081	1,508,253			
		殻運搬	Co(無筋)構造物とりこわし	m3	116	428.5	49,706	213	847.3	180,474	213	847.3	180,474			
		Co殻処分費		t	273	1,500	409,500	500	1,500	750,000	500	1,500	750,000			
	仮設工			式	1		2,553,046	1		3,622,601	1		6,688,499		3,065,898	
		工事用道路工		式	1		748,170	1		766,900	1		766,900			
		工事用道路盛土		m3	140	5,344	748,170	140	5,477	766,900	140	5,477	766,900			
		工事用道路	W=4.0m（総合単価）	m	90	8,313	748,170									
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3				140	242.3	33,922	140	242.3	33,922			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				210	2,000	420,000	210	2,000	420,000			
		敷砂利	再生砕石を使用する	m3				44	5,559	244,596	44	5,559	244,596			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				180	379.9	68,382	180	379.9	68,382			
		土留・仮締切工		式	1		252,102	1		179,564	1		179,564			
		土のう		式	1	252,102	252,102	1	179,564	179,564	1	179,564	179,564			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	40	2,000	80,000									
		大型土のう	（総合単価）	袋	38	4,529	172,102									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				28	5,803	162,484	28	5,803	162,484			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				28	610	17,080	28	610	17,080			
		水替工		式	1		1,232,259	1		824,354	1		824,354			
		ポンプ排水		日	57	21,619	1,232,259	57	14,462	824,354	57	14,462	824,354			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	20	2,000	40,000									
		大型土のう	（総合単価）	袋	19	4,529	86,051									
		締切排水工	（総合単価）	箇所	6	184,368	1,106,208									
		ポンプ設置・撤去		箇所				4	72,680	290,720	4	72,680	290,720			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				57	9,362	533,634	57	9,362	533,634			
		掛樋工		式	1		281,015	1		1,133,373	1		1,133,373			
		暗渠排水管		m	155	1,813	281,015	213	5,321	1,133,373	213	5,321	1,133,373			
		掛樋工	高密度ポリエチレン管φ450～600mm（総合単価）	m	155	1,813	281,015									
		暗渠排水管	据付・撤去波状管及び網状管450～600mm	m				213	5,321	1,133,373	213	5,321	1,133,373			

	残土処理工			式	1		39,500	1		718,410	1		718,410			
	土砂等運搬			m3	50	790	39,500	210	1,421	298,410	210	1,421	298,410			
	作業残土処理		（総合単価）	m3	50	790	39,500									
	土砂等運搬		標準土砂（岩塊・玉石混り土含む）	m3				210	1,421	298,410	210	1,421	298,410			
	残土等処分			m3				210	2,000	420,000	210	2,000	420,000			
	土砂処分費			m3				210	2,000	420,000	210	2,000	420,000			
	交通管理工			式							1		3,065,898	1	3,065,898	
	交通誘導警備員			人							242	12,669	3,065,898	242	3,065,898	
	交通誘導警備員B			人							242	12,669	3,065,898	242	3,065,898	
直接工事費							47,771,112			43,537,952			46,603,850		3,065,898	
処分費・投棄料等							409,500			2,290,000			2,290,000			
	共通仮設費率分						4,428,000			4,453,000			4,716,000		263,000	
共通仮設費計							4,428,000			4,453,000			4,716,000		263,000	
純工事費							52,199,112			47,990,952			51,319,850		3,328,898	
現場管理費							15,163,000			16,065,000			17,000,000		935,000	
工事原価							67,362,112			64,055,952			68,319,850		4,263,898	
	一般管理費率分						11,127,944			10,368,506			10,984,439		615,933	
	契約保証費						26,944			30,787			30,787			
一般管理費計							11,154,888			10,399,048			11,015,150		616,102	
工事価格							78,517,000			74,455,000			79,335,000		4,880,000	
工事価格計							78,517,000			74,327,000			79,199,000		4,872,000	落札率込
消費税相当額							6,281,360			7,432,700			7,919,900		487,200	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							84,798,000			81,759,700			87,118,900		5,359,200	
工事雑費							1,271,000			1,226,000			1,306,000		80,000	
応急工事費							10,974,000			10,614,240			10,614,240			
工事費計							97,043,000			93,599,940			99,039,140		5,439,200	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															3,574,586	

平成30年災　第3954号　二級河川二河川水系二河川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川二河川水系二河川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月7日から1月11日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額5,601,000円】

令和3年1月5日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、『美しい山河を守る災害復旧基本方針』に則り、環境保全型ブロック積工で申請したところ、実施にあたり当該箇所は呉市指定文化財（呉市名勝二河峡）であることが判明したため、関係機関と協議を行った結果、A箇所については申請工法での施工は認められず、より景観に配慮した工法を求められた。協議を重ねた結果、石積工での施工を条件として、広島県文化財保護条例で定める現状変更が認められることとなった。これにより、復旧工法を環境保全型ブロックから石積工（現地採取石材）に変更したい。」

との内容について、呉市との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　6,687,000円】

（上記理由による増減額　＋531,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議の日付及び同行者は事実でないと判定した。

なお、当該箇所は変更契約を締結し、令和２年11月27日付けで完成している。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したことから、協議の日付や同行者に不整合が生じたものである。

（影響額の算定）

協議録の日付及び同行者が事実でないものの、協議した内容については事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第1205号　二級河川野呂川水系野呂川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川野呂川水系野呂川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年10月22日から10月26日の間に実施された。決定した工事概要は、埋塞土の撤去及び被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額66,215,000円】

令和3年1月21日付けの国との設計変更協議において、

「査定時に運搬費と受入費の合計額が最も安価な残土処分地を見込んでいたところ、実施にあたり再度確認した結果、当該処分地は受入完了と判明し、受入価格についても変更していたため、当該箇所近傍の３社により再度経済比較をした結果による最安価な受入先地に変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　78,786,000円】

（上記理由による増減額　＋10,592,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内で共有されていた残土処分先の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約し、令和３年３月16日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更がなかったため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

平成30年災　第1203号　野呂川ダム　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、野呂川ダムの河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年10月22日から10月26日の間に実施された。決定した工事概要は、土砂及び流木の撤去である。

【決定額413,064,000円】

令和3年1月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、国（中国地方整備局）・県・関係市町の協議によって決定した一次集積場へ土砂等の運搬を見込み、最終処分場が未定であったことから処分先地までの運搬距離は2kmの計上としていた。実施にあたり、当該箇所の土砂等の受入を可能とする近傍の処分先地を比較検討した結果の最安価の処分場への運搬・処分に変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　436,162,000円】

（上記理由による増減額　＋82,238,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議書の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な残土処分先の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により平成31年1月10日付けで変更契約し、令和元年11月6日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更がなかったため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

平成30年災　第2721号　一般県道 大崎下島循環線 道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一般県道 大崎下島循環線 道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月3日から12月7日の間に実施された。工事概要は、被災した道路法面の現場吹付法枠工及び落石防護網工で復旧するものである。工事は、道路の全面通行止めによるクレーン施工により申請し決定されたものである。

【決定額38,210,000円】

令和3年1月26日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所は現場吹付工を主な復旧工法としており、査定時はその施工方法について25ｔラフタークレーンによるものとしていた。これは、査定前に地元関係者と調整し、道路を全面通行止めを行い、施工することの承諾を得て、判断したものである。実施にあたり、改めて地元関係者と調整した結果、柑橘類の栽培農家の方々から、集荷場への出荷のため、全面通行止めを反対された。このことから、全面通行止めを行わず施工可能な足場施工に施工方法を変更したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　34,319,000円】

（上記理由による増減額　＋6,511,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議日、協議場所及び同行者は事実でないと判定した。

実際には、工法変更について令和２年10月12日付けで変更契約を締結し、令和３年３月23日付けで完成している。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したため、協議録に不整合が生じたものと判断した。

（影響額の算定）

協議録の協議日、協議場所及び同行者は事実でないものの、協議した内容は事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第1489号　一般県道 大崎下島循環線 道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一般県道 大崎下島循環線 道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月5日から11月9日の間に実施された。工事概要は、被災した道路法面の現場吹付法枠工及び落石防護網工で復旧するものである。工事は、道路の全面通行止めによるクレーン施工により申請し決定されたものである。

【決定額26,847,000円】

令和3年1月26日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所は現場吹付工を主な復旧工法としており、査定時はその施工方法について25ｔラフタークレーンによるものとしていた。これは、査定前に地元関係者と調整し、道路を全面通行止めを行い、施工することの承諾を得て、判断したものである。実施にあたり、改めて地元関係者と調整した結果、柑橘類の栽培農家の方々から、集荷令和2年7月20日付けの場への出荷のため、全面通行止めを反対された。このことから、全面通行止めを行わず施工可能な足場施工に施工方法を変更したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　36,654,000円】

（上記理由による増減額　＋8,901,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議日、協議場所及び同行者は事実でないと判定した。

実際には、工法変更について令和２年10月12日付けで変更契約を締結し、令和３年３月23日付けで完成している。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したため、協議録に不整合が生じたものと判断した。

（影響額の算定）

協議録の協議日、協議場所及び同行者は事実でないものの、協議した内容は事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成 30 年災　第 810 号　一般県道 大崎下島循環線 道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成 30 年 7 月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一般県道 大崎下島循環線 道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成 30 年 11 月 5 日から 11 月 9 日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した道路法面の現場吹付法枠工及び落石防護網工で復旧するものである。工事は、道路の全面通行止めによるクレーン施工により申請し決定されたものである。

【決定額 15,832,000 円】

令和 3 年 1 月 26 日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所は現場吹付工を主な復旧工法としており、査定時はその施工方法について 25 t ラフタークレーンによるものとしていた。これは、査定前に地元関係者と調整し、道路を全面通行止めを行い、施工することの承諾を得て、判断したものである。実施にあたり、改めて地元関係者と調整した結果、柑橘類の栽培農家の方々から、集荷場への出荷のため、全面通行止めを反対された。このことから、全面通行止めを行わず施工可能な足場施工に施工方法を変更したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　23,050,000 円】

（上記理由による増減額　＋5,985,000 円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議日、協議場所及び同行者は事実でないと判定した。

実際には、工法変更について令和２年 10 月 12 日付けで変更契約を締結し、令和３年３月 23 日付けで完成している。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したため、協議録に不整合が生じたものと判断した。

（影響額の算定）

協議録の協議日、協議場所及び同行者は事実でないものの、協議した内容は事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第180号　その他河川長谷川（倉橋）　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川長谷川（倉橋）の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月10日から12月14日の間に実施された。決定した工事概要は、根固ブロック工や被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものであり、現場はA箇所からＩ箇所まで複数に分かれている。

【決定額31,096,000円】

令和3年1月27日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所の査定時の復旧断面は、護岸工及び護岸工＋根固工としていた。実施にあたり、改めて地元関係者へ工事説明を行った際に、既設護岸工の取壊し時に家が振動等により傾いたりずれたりする心配があると意見があり、施工方法について同意が得られなかった。何度も伺い施工の説明などを行い、工事の必要性は理解してもらったが、家と護岸が近いこともあり懸念をぬぐうことはできなかった。併せて、当該地元関係者は、AからD箇所の施工をする為の工事用道路工の無償借地の相手方でもあり、借地についても拒否の意思を示された。このことから、この区間（A、B、C及びD箇所）については既存護岸の取壊しを行わず、護岸裏モルタル注入、コンクリート底張等の補修・補強などの修繕工法に変更したい。（施工は県単独費による）なお、地元関係者からの同意が得られた場合は、県単独により査定決定内容で復旧を行う。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　11,678,000円】

（上記理由による増減額　△27,630,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

現場を確認したところ、査定どおりの施工は困難であったため、国への廃工の報告にあたり、地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第3374号　その他河川　名川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川名川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月17日から12月21日の間に設計図書の効率化を行った簡素化査定として実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額11,633,000円】

令和3年2月1日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は工事用道路工（盛土タイプ）の設計にあたり、関係地権者から無償借地の承諾を得ていたところ、実施にあたり、再度確認した結果、土地の利用を拒否された。これに伴い、再度現場状況を鑑み検討した結果、安価な河川内を利用した工事用道路に変更したい。なお、小河川内を工事用道路として利用することから、安全を考慮し、渇水期での施工に限定することとする。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　10,074,000円】

（上記理由による増減額　△2,405,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、工事用道路工の変更とそれに伴う護岸構造を変更（コンクリートブロック積工→擁壁工）した上で当初契約を締結し、令和３年12月16日付けで完成している。

国との設計変更協議には現地の状況変化の説明が必要なため、地権者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないものの、工事用道路及び護岸構造の変更が必要であることについては、実施設計後に明らかになったものである。以上より、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5123号　二級河川黒瀬川水系黒瀬川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川黒瀬川水系黒瀬川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、根固工や被災した護岸を巨石石張工等で復旧するものである。

【決定額460,513,000円】

令和3年2月17日付けの国との設計変更協議において、
製作ヤードの変更に伴う工種の追加について、「査定時は、黒瀬川の護岸天端沿いの呉市二級水源地内を借地し、ブロックの製作、吊り出し及び直接据付けを行うこととしていた。実施にあたり、二級水源地を管理する市と再度協議を行った結果、ブロック製作ヤードとして、護岸天端沿いを工事期間中に常時利用すると水源地の管理に支障をきたすとの申し出があり、二級水源地内の別の箇所をブロック製作ヤードとすることとなった。このことにより、直接据え付けることが不可能となってしまったため、積込・運搬・荷卸・横取りの工種を追加したい。また、県標準歩掛において12t根固ブロックの積込・運搬・荷卸・横取りは現地条件の適用外のため使用できないことから見積を徴収しそれを採用したい。なお、3t根固ブロックの積込・運搬・荷卸・横取りは標準歩掛があるため、それを採用したい。」
との内容について、市との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　784,354,000円】
（上記理由による増減額　＋158,811,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議日は事実ではないと判定した。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したため、協議録の日付に不整合が生じたものと考えられる。

（影響額の算定）

協議録に記載の協議日は事実でないものの、協議内容は事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第803号　その他河川江の川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川江の川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年10月15日から10月19日の間に実施された。決定した工事概要は、根固工や被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものであり、現場はA箇所からM箇所まで複数に分かれている。

【決定額50,166,000円】

令和3年2月22日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所の査定時の復旧断面は、護岸工及び根固工としていた。実施にあたり、地元（市経由）から、A、C、E、G 及びL 箇所について、各箇所の起終点上下流に洗堀等の変状があったことから、これらを含めた現場対応を求められた。このことから、この区間（５箇所）に係る根固工を取り止め、当該箇所の復旧工事完了後に県単独費において、各箇所の上下流の洗堀対策を行う。」

との内容について、市との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　40,757,000円】

（上記理由による増減額　△10,336,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、この廃工については変更契約を締結し、令和３年３月25日付けで完成している。

現場を確認したところ、査定どおりの施工は困難であったため、国への廃工の報告にあたり、地元（市経由）から対応を求められたとする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第796号　二級河川二河川水系二河川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川二河川水系二河川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月25日から12月27日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額23,592,000円】

令和3年3月5日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、背面道路に埋設してあるガス管に影響しない範囲で施工を計画していた。実施にあたりガス管の埋設位置について試掘調査を行った結果、当初想定した位置と異なる位置にガス管が埋設されており、掘削範囲に影響することが判明した。ガス管に影響しない工法として鋼矢板土留工を追加したい。」

との内容について、ガス会社との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　36,503,000円】

（上記理由による増減額　＋12,662,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議録を作成した職員は協議をしていないと判定した。

実際には、工事内容変更通知書によって鋼矢板土留工の追加を指示し、変更契約を締結し、令和２年８月26日付けで完成している。

（影響額の算定）

協議録を作成した職員は協議をしていないが、協議内容は事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出

するよう通知する。

平成30年災　第5582号　二級河川黒瀬川水系黒瀬川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川黒瀬川水系黒瀬川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、巨石石張工や落差工、根固工である。

【決定額356,502,000円】

令和3年3月5日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞について、「査定時は、黒瀬川沿いの土地を借地し、根固ブロックの製作及び直接据付を行うこととしていた。実施にあたり、借地予定地の所有者と再度協議を行ったところ、当初借地を予定していた期間と相違があること、また当該土地についてすでに使用していることから断られた。ついては根固ブロックについて、現地製作から工場製作へ変更したい。また、工場から現地に根固めブロックを搬入するにあたり、狭隘な住宅地内の市道を通行する際、市道を通行止めする必要があることから規制区間の前後に交通誘導員を追加したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　475,476,000円】

（上記理由による増減額　＋88,674,000円）

また、＜理由②残土処分先の変更等に係る処分費の変更＞について、「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいた。実施にあたり再度確認したところ、当初予定していた処分先は、受入れ可能量まで達し受入れ不可となっていた。またその他の受入れ可能な処分先についても、受入れ価格が変更となっていたことから、近傍の8 社により再度経済比較をした結果による最安価な受入先に変更したい。また、土質についても査定時は礫質土を想定していたが、現地試掘等の結果、岩塊・玉石交じり土であることから処分費について変更したい。」

との内容について、残土処分先の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　475,476,000円】

（上記理由による増減額　＋1,314,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の両方とも内容は事実でないと判定した。

実際には、＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞について、別途、

受注者から工事打合せ簿により、「労働者の確保が困難であり工事工程に影響する恐れがあるため、現場製作から二次製品に変更したい。」との協議があり令和２年８月 26 日付けで承諾した上で、令和２年 11 月 13 日付けで変更契約を締結し、令和３年９月 27 日付けで完成している。

また、＜②残土処分先の変更等に係る処分費の変更＞については、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により令和２年 11 月 13 日付けで変更契約を締結し、令和３年９月 27 日付けで完成している。

＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞については、県職員が、地域の代表者とは適宜様々な協議をしており、その中で実際に現地は田畑として使用されていたこと等から、当該工事においても借地は難しいと判断し、土地使用者と協議したこととする事実でない協議録を添付していたものである。

また、＜②残土処分先の変更等に係る処分費の変更＞については、国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事務所内で共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

① 【根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更】については、協議録は事実でないものの、別途受注者から労働者の確保困難の理由で二次製品利用に変更しているものであり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

―　（円）

② 【残土処分先の変更等に係る処分費の変更】については、聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更がなかったため、影響額は無とした。

―　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を

得ることを各事務所へ改めて通知する。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。
・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

平成30年災　第5153号　主要地方道矢野安浦線　道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、主要地方道矢野安浦線の道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、崩落した道路法面の現場吹付枠工、落石防止網工及び落石防護柵工等である。

【決定額63,174,000円】

令和3年3月5日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいた。実施にあたり再度確認したところ、当初予定していた処分先は、受入可能量まで達し受入不可となっていた。またその他の処分先についても、受入価格が変更となっていたことから、近傍の8社に見積依頼を行った。その結果、５社については受入不可と回答があった為、残りの3社にて経済比較を行い、最安価な受入先に変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　122,312,000円】

（上記理由による増減額　＋12,020,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な残土処分先の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約を締結し、令和２年６月16日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、正しく措置された場合の工事費（A）（124,953,100円）と実際に施工された工事費（B）（125,942,000円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）125,942,000（円）－（A）124,953,100（円）＝988,900（円）

（内国費　659,596（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	5153号	路線名	主要地方道矢野安浦線

内容

■設計変更協議時の変更理由
【残土処分先の変更】 査定時搬入を計画していた処分場より残土の受入不可と回答があったことによる処分先の変更
■影響額の考え方
設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、正しく措置された場合の工事費（A）（124,953,100円）と実際に施工された工事費（B）（125,942,000円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	道路改良			式	1		30,883,830	1		63,299,734	1		63,908,874		609,140	
	道路土工			式	1		2,607,262	1		35,904,031	1		36,513,171		609,140	
	掘削工			式	1		359,840	1		91,260	1		91,260			
		掘削		m3	80	4,498	359,840	90	1,014	91,260	90	1,014	91,260			
		掘削	現場制約あり	m3	80	4,498	359,840									
		掘削	土砂　小規模	m3				90	1,014	91,260	90	1,014	91,260			
	路体盛土工			式	1		46,010									
		路体(築堤)盛土		m3	10	4,601	46,010									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3	10	4,601.0	46,010									
	特殊掘削工			式				1		23,789,622	1		23,789,622			
		アンカー設置・撤去工		箇所				6	129,187	775,122	6	129,187	775,122			
		アンカー設置・撤去工		箇所				6	129,187	775,122	6	129,187	775,122			
		アンカー確認試験工		箇所				6	37,800	226,800	6	37,800	226,800			
		アンカー確認試験工		箇所				6	37,800	226,800	6	37,800	226,800			
		崩土掘削		m3				1,300	6,585	8,560,500	1,300	6,585	8,560,500			
		崩土掘削工	土砂（レキ質土）	m3				1,300	6,585	8,560,500	1,300	6,585	8,560,500			
		段跳工		m3				10,400	1,368	14,227,200	10,400	1,368	14,227,200			
		段跳工	土砂（レキ質土）	m3				10,400	1,368	14,227,200	10,400	1,368	14,227,200			
	法面整形工			式	1		241,090	1		1,303,056	1		1,303,056			
		法面整形(切土部)		m2	190	1,157	219,830	240	697	167,376	240	697	167,376			
		法面整形	切土部現場制約有り	m2	190	1,157.0	219,830									
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				240	697.4	167,376	240	697.4	167,376			
		法面整形(特殊掘削部)		m2	20	1,063	21,260	1,040	1,092	1,135,680	1,040	1,092	1,135,680			
		法面整形	盛土部法面締固め有り現場制約有り	m2	20	1,063.0	21,260									
		法面整形	土砂	m2				1,040	1,092	1,135,680	1,040	1,092	1,135,680			
	残土処理工			式	1		1,228,260	1		10,058,475	1		10,667,615		609,140	
		土砂等運搬		m3	200	4,476	895,200	1,270	3,731	4,738,475	1,270	4,210	5,347,615		609,140	
		積込(ルーズ)	土砂	m3				1,300	897.6	1,166,880	1,300	897.6	1,166,880			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	200	4,476.0	895,200	1,270	591.5	751,205	1,270	591.5	751,205			
		積込(ルーズ)	土砂	m3				1,300	190.9	248,170	1,300	190.9	248,170			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							1,330	2,392	3,181,360	1,330	3,181,360	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				1,330	1,934	2,572,220				▲ 1,330	▲ 2,572,220	
		残土等処分		m3	200	1,600	320,000	1,330	4,000	5,320,000	1,330	4,000	5,320,000			
		建設発生土処分費		m3	200	1,600	320,000	1,330	1,600	2,128,000	1,330	1,600	2,128,000			
		建設発生土処分費（差分）		m3				1,330	2,400	3,192,000	1,330	2,400	3,192,000			
		流木処理工		式	1	13,060	13,060									
		流木除去	（総合単価）	t	0.8	16,325	13,060									
	転石除去工			式	1		732,062	1		661,618	1		661,618			
		転石除去工		式	1	732,062	732,062	1	661,618	661,618	1	661,618	661,618			
		転石除去工		式	1	732,062	732,062									
		転石破砕工	非火薬破砕	m3				46	14,383	661,618	46	14,383	661,618			
	法面工			式	1		4,333,403	1		6,092,711	1		6,092,711			
	植生工			式	1		82,500	1		536,250	1		536,250			
		植生基材吹付		m2	20	4,125	82,500	130	4,125	536,250	130	4,125	536,250			
		植生基材吹付工	厚3cm	m2	20	4,125	82,500	130	4,125	536,250	130	4,125	536,250			
	法面吹付工			式				1		70,708	1		70,708			
		モルタル吹付		m2				11	6,428	70,708	11	6,428	70,708			
		モルタル吹付工	厚8cm	m2				11	6,428	70,708	11	6,428	70,708			
	法枠工			式	1		4,250,903	1		5,485,753	1		5,485,753			
		吹付枠		m2	167	25,454	4,250,903	283	19,384	5,485,753	283	19,384	5,485,753			
		ラス張工	[規]500m2未満	m2	167	1,599	267,033	237	1,599	378,963	237	1,599	378,963			
		吹付枠工	梁断面_300×300[規]250m以上500m未満	m	104	15,950	1,658,800	283	15,950	4,513,850	283	15,950	4,513,850			
		吹付枠工	梁断面_200×200[規]250m以上500m未満	m	160	10,380	1,660,800									
		[加算額]水切りモルタル・コンクリート		m3	9	51,500	463,500									
		植生工(機械播種施工)【材工共】	客土吹付工	m2	50	905	45,250									
		中詰工(栗石)		m3	8	19,440	155,520									
		枠内吹付工(吹付枠工)	植生基材吹付工厚3cm	m2				160	3,370	539,200	160	3,370	539,200			
		吸出防止シート	t＝10mm	m2				71	440	31,240	71	440	31,240			
		暗渠パイプ	35×170	m				25	900	22,500	25	900	22,500			
	排水構造物工			式	1		700,835	1		50,372	1		50,372			
	作業土工			式	1		115,963	1		9,562	1		9,562			
		床掘り		m3	13	5,988	77,838	2	1,765	3,530	2	1,765	3,530			
		床掘り	現場制約あり	m3	10	7,266	72,660									
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3	3	1,726	5,178	2	1,765	3,530	2	1,765	3,530			
		埋戻し		m3	7	4,952	34,665	2	3,016	6,032	2	3,016	6,032			
		埋戻し	現場制約あり	m3	6	5,290	31,740									
		埋戻し	上記以外(小規模)	m3	1	2,925	2,925									
		埋戻し	土砂	m3				2	3,016	6,032	2	3,016	6,032			
		基面整正		m2	10	346	3,460									
		基面整正		m2	10	346	3,460									
	側溝工			式	1		456,784	1		40,810	1		40,810			
		コンクリート		m3	4	24,110	96,440									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-25(20)BB	m3	4	24,110	96,440									
		型枠工		m2	8	6,885	55,080									
		型枠	一般型枠	m2	8	6,885	55,080									
		プレキャストU型側溝		m	13	5,181	67,353	7	5,830	40,810	7	5,830	40,810			
		U型側溝		m	13	5,181	67,353	7	5,830	40,810	7	5,830	40,810			
		プレキャストU型側溝		m	15	5,476	82,140									
		U型側溝		m	15	5,476	82,140									
		プレキャストU型側溝		m	16	5,631	90,096									
		U型側溝		m	16	5,631	90,096									
		プレキャストU型側溝		m	7	6,314	44,198									
		U型側溝		m	7	6,314	44,198									
		側溝蓋		枚	12	1,789	21,477									
		鋼製蓋設置	n=12枚	式	1	21,477	21,477									
	管渠工			式	1		40,608									
		管渠工事		m	18	2,256	40,608									
		暗渠排水管	据付波状管及び網状管200～400mm	m	18	2,256	40,608									
	集水桝・マンホール工			式	1		87,480									
		現場打ち集水桝		箇所	3	29,160	87,480									
		現場打ち集水桝・街渠桝(本体)	18-8-40BB	箇所	3	29,160	87,480									
	落石雪害防止工			式	1		12,413,556	1		12,079,961	1		12,079,961			
	落石防止網工			式	1		4,380,850	1		4,345,900	1		4,345,900			
		ロックネット		m2	663	6,607	4,380,850	650	6,686	4,345,900	650	6,686	4,345,900			
		防護柵設置工(落石防止網)金網ロープ設置	亜鉛メッキ3.4種(Z-GS3.4)_線径4.0mm	m2	663	4,750	3,149,250	650	4,750	3,087,500	650	4,750	3,087,500			
		防護柵設置工(落石防止網)アンカー設置	D25mm×長1,000mm	箇所	24	13,400	321,600	26	13,400	348,400	26	13,400	348,400			
		防護柵設置工(落石防止網)支柱設置	支柱高_3.0m	箇所	13	64,600	839,800	13	64,600	839,800	13	64,600	839,800			
		防護柵設置工(落石防止網)支柱設置	支柱高_4.0m	箇所	1	70,200	70,200	1	70,200	70,200	1	70,200	70,200			
	落石防護柵工			式	1		8,032,706	1		7,734,061	1		7,734,061			
		高エネルギー吸収型落石防護柵		m	15	535,513	8,032,706	16	483,378	7,734,061	16	483,378	7,734,061			
		高エネルギー吸収型落石防護柵		式	1	8,032,706	8,032,706	1	7,734,061	7,734,061	1	7,734,061	7,734,061			

	構造物撤去工		式	1		1,070,578	1		1,013,240	1		1,013,240			
	防護柵撤去工		式	1		26,040	1		26,040	1		26,040			
	防護柵撤去(ガードレール)		m	21	1,240	26,040	21	1,240	26,040	21	1,240	26,040			
	防護柵設置工(Gr)防護柵撤去	コンクリート建込	m	21	1,240	26,040	21	1,240	26,040	21	1,240	26,040			
	構造物取壊し工		式	1		746,851	1		690,488	1		690,488			
	コンクリート構造物取壊し		m3	13	41,360	537,680	13	41,360	537,680	13	41,360	537,680			
	構造物とりこわし工(鉄筋構造物)		m3	13	41,360	537,680	13	41,360	537,680	13	41,360	537,680			
	コンクリート構造物取壊し		m3	0.7	13,090	9,163	0.7	13,090	9,163	0.7	13,090	9,163			
	構造物とりこわし工(鉄筋構造物)		m3	0.7	13,090	9,163	0.7	13,090	9,163	0.7	13,090	9,163			
	舗装版切断		m	124	496	61,541	11	504	5,549	11	504	5,549			
	舗装版切断	アスファルト舗装版	m	124	496.3	61,541	11	504.5	5,549	11	504.5	5,549			
	舗装版破砕		m2	59	1,339	79,001	57	1,368	77,976	57	1,368	77,976			
	舗装版破砕積込(小規模土工)		m2	59	1,339	79,001	57	1,368	77,976	57	1,368	77,976			
	コンクリート運搬処理		m3	14	5,820	81,480	14	5,830	81,620	14	5,830	81,620			
	殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	14	1,570	21,980	14	1,580	22,120	14	1,580	22,120			
	コンクリート殻受入費	有筋	t	35	1,700	59,500	35	1,700	59,500	35	1,700	59,500			
	鉄屑運搬処理		t	3.7	-10,384	-38,420	3.7	-8,179	-30,260	3.7	-8,179	-30,260			
	現場発生品・支給品運搬	クレーン装置付2t級2t吊	回	2	13,140	26,280	2	13,520	27,040	2	13,520	27,040			
	鉄屑(ヘビーH1)	厚さ6mm以上,幅高500mm以下	t	-0.4	21,500	-8,600	-0.4	19,500	-7,800	-0.4	19,500	-7,800			
	鉄屑(ヘビーH3)	厚さ1mm以上3mm未満,幅高500mm以下	t	-0.3	19,500	-5,850	-0.3	17,500	-5,250	-0.3	17,500	-5,250			
	鉄屑(ヘビーH4)	厚さ1mm未満,幅高500mm以下	t	-3	16,750	-50,250	-3	14,750	-44,250	-3	14,750	-44,250			
	舗装版運搬処理		m3	2	8,203	16,406	2	4,380	8,760	2	4,380	8,760			
	殻運搬	舗装版破砕機械積込(小規模土工)	m3	2	4,203	8,406	2	4,300	8,600	2	4,300	8,600			
	アスファルト殻受入費		t	5.0	1,600	8,000	0.1	1,600	160	0.1	1,600	160			
	落石雪害防止撤去工		式	1		297,687	1		296,712	1		296,712			
	落石防止網撤去		m2	663	449	297,687	634	468	296,712	634	468	296,712			
	落石防止網撤去工		㎡	663	449	297,687	634	468	296,712	634	468	296,712			
	仮設工		式	1		9,758,196	1		8,159,419	1		8,159,419			
	土留・仮締切工		式	1		66,552	1		67,850	1		67,850			
	土のう		袋	118	564	66,552	118	575	67,850	118	575	67,850			
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	118	564	66,552	118	575	67,850	118	575	67,850			
	防護施設工		式	1		7,995,695	1		8,091,569	1		8,091,569			
	切土及び発破防護柵		m2	458	17,457	7,995,695	460	17,590	8,091,569	460	17,590	8,091,569			
	仮設防護柵設置・撤去	A=460㎡	式	1	7,995,695	7,995,695	1	8,091,569	8,091,569	1	8,091,569	8,091,569			
	モノレール設置・撤去		式	1		1,695,949									
	モノレール設置・撤去		式	1	1,695,949	1,695,949									
	モノレール設置・撤去		式	1	1,695,949	1,695,949									
舗装			**式**	**1**		**408,368**	**1**		**355,332**	**1**		**355,332**			
	舗装工		式	1		152,099	1		101,271	1		101,271			
	アスファルト舗装工		式	1		26,544	1		13,389	1		13,389			
	下層路盤(車道・路肩部)		m2	5	477	2,388									
	下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚150mm1層施工	m2	5	478	2,388									
	上層路盤(車道・路肩部)		m2	5	440	2,201									
	上層路盤(車道・路肩部)	RM-30	m2	5	440	2,201									
	基層(車道・路肩部)		m2	5	2,219	11,095	3	2,256	6,768	3	2,256	6,768			
	基層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	m2	5	2,219	11,095	3	2,256	6,768	3	2,256	6,768			
	表層(車道・路肩部)		m2	5	2,172	10,860	3	2,207	6,621	3	2,207	6,621			
	表層(車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	m2	5	2,172	10,860	3	2,207	6,621	3	2,207	6,621			
	アスファルト舗装工		式	1		125,555	1		87,882	1		87,882			
	下層路盤(歩道部)		m2	54	680	36,725	37	696	25,759	37	696	25,759			
	下層路盤(歩道部)	全仕上り厚100mm1層施工	m2	54	680.1	36,725	37	696.2	25,759	37	696.2	25,759			
	表層(歩道部)		m2	54	1,645	88,830	37	1,679	62,123	37	1,679	62,123			
	表層(歩道部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	m2	54	1,645	88,830	37	1,679	62,123	37	1,679	62,123			
	縁石工		式	1		77,097	1		74,889	1		74,889			
	作業土工		式	1		8,798	1		5,765	1		5,765			
	床掘り		m3	2	1,726	3,452	2	1,765	3,530	2	1,765	3,530			
	床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3	2	1,726	3,452	2	1,765	3,530	2	1,765	3,530			
	埋戻し		m3	2	2,154	4,308	1	2,235	2,235	1	2,235	2,235			
	埋戻し		m3	2	2,154	4,308	1	2,235	2,235	1	2,235	2,235			
	基面整正		m2	3	346	1,038									
	基面整正		m2	3	346	1,038									
	縁石工		式	1		68,299	1		69,124	1		69,124			
	歩車道境界ブロック		m	11	6,209	68,299	11	6,284	69,124	11	6,284	69,124			
	歩車道境界ブロック	C種(180/210×300×600)片斜両面R	m	11	6,209	68,299	11	6,284	69,124	11	6,284	69,124			
	防護柵工		式	1		179,172	1		179,172	1		179,172			
	路側防護柵工		式	1		179,172	1		179,172	1		179,172			
	ガードレール		m	21	8,532	179,172	21	8,532	179,172	21	8,532	179,172			
	防護柵設置工(Gr)コンクリート建込	-塗装品_Gr-C-2B	m	21	8,532	179,172	21	8,532	179,172	21	8,532	179,172			
直接工事費						31,292,198			63,655,066			64,264,206		609,140	
処分費・投棄料等						387,500			5,379,660			5,379,660			
	運搬費					493,750			893,750			893,750			
	運搬費		式	1		493,750	1		893,750	1		893,750			
	運搬費		式	1		493,750	1		893,750	1		893,750			
	仮設材運搬費		t	62.5	7,900	493,750	62.5	7,900	493,750	62.5	7,900	493,750			
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離23km	式	1	493,750	493,750	1	493,750	493,750	1	493,750	493,750			
	建設機械運搬費		式				1	400,000	400,000	1	400,000	400,000			
	重機回送費		回				2	200,000	400,000	2	200,000	400,000			
	準備費								12,556,266			12,556,266			
	準備費		式				1		12,556,266	1		12,556,266			
	流木撤去工		式				1		10,072,026	1		10,072,026			
	流木除去工		式				1	10,072,026	10,072,026	1	10,072,026	10,072,026			
	流木処理工		式				1		2,484,240	1		2,484,240			
	集積積込	バックホウ　山積0.5	t				86	1,340	115,240	86	1,340	115,240			
	ダンプトラック運搬	大型車	t				86	2,500	215,000	86	2,500	215,000			
	災害発生流木処理費		kg				86,160	25	2,154,000	86,160	25	2,154,000			
	共通仮設費率分					4,437,000			8,009,000			8,086,000		77,000	
共通仮設費計						4,930,750			21,459,016			21,536,016		77,000	
純工事費						36,222,948			85,114,082			85,800,222		686,140	
現場管理費						11,902,000			25,592,000			25,788,000		196,000	
工事原価						48,124,948			110,706,082			111,588,222		882,140	
	一般管理費率分					8,345,777			16,518,390			16,635,097		116,707	
	契約保証費					19,275			42,932			43,292		360	
一般管理費計						8,365,052			16,560,918			16,677,778		116,860	
工事価格						56,490,000			127,267,000			128,266,000		999,000	
工事価格計						56,490,000			114,521,000			115,420,000		899,000	落札率込
消費税相当額						4,519,200			10,432,100			10,522,000		89,900	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						61,009,000			124,953,100			125,942,000		988,900	
工事雑費						915,000			1,874,000			1,889,000		15,000	
工事費計						61,924,000			126,827,100			127,831,000		1,003,900	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														659,596	

平成30年災　第5122号　二級河川黒瀬川水系黒瀬川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川黒瀬川水系黒瀬川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、落差工及び根固工である。

【決定額225,321,000円】

令和3年9月28日付けの国との設計変更協議において、

＜理由①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞について、「査定時は、地質調査、それに伴う実施設計、それらを経て、令和2年7月に工事発注を予定していた。当該工事において、根固ブロックの製作ヤードを借地する必要があったため平成31年4月に製作ヤード予定地の地権者と協議を行い、了解を得ていた。しかしながら近接する第5123号の入札不調に伴い当該工事もやむを得ず発注時期について令和元年7月から令和元年11月に調整することとなった。令和2年12月に工事が契約となり、改めて根固ブロック製作ヤード予定地の地権者に借地のお願いに行ったところ、既に田畑として使用している為、借地を断られた。ついては根固ブロックについて、現地製作から工場製作へ変更したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　296,029,000円】

（上記理由による増減額　＋13,860,000円）

また、＜理由②残土処分先の変更＞について、「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいた。実施にあたり再度確認したところ、当初予定していた処分先は、受入れ可能量まで達し受入れ不可となっていた。またその他の受入れ可能な処分先についても、受入れ価格が変更となっていたことから、近傍の８社により再度経済比較をした結果による最安価な受入れ先に変更したい。また、土質についても査定時は礫質土を想定していたが、地質調査の結果、岩塊・玉石交じり土であることから処分費について変更したい。」

との内容について、処分先の協議録（聞取表）を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　296,029,000円】

（上記理由による増減額　＋9,521,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の両方とも内容は事実でないと判定した。

実際には、＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞については、別途受注者から提出された確認依頼書に「根固ブロックの製作ヤードが現地で確保できないため、確認をお願いします。」とあり、「他工区の災害復旧工事等により製作ヤードを使用していることから、近辺で製作ヤードの確保が困難となっている。プレキャスト製品の使用も検討し、別途協議を行うこと。」と確認結果を通知しており、受注者から工事打合せ簿により「根固ブロックの製作ヤードが現地で確保できないため、製作ヤードを必要としないプレキャスト製品の使用について」協議があり、「他工区の災害復旧工事等により製作ヤードの確保ができないため、プレキャスト製品により施工すること。設計変更の対象とする。」と令和２年１月 15 日付けで指示した。なお、設計変更協議の内容のとおり施工し、令和５年８月 30 日付けで完成している。

＜②残土処分先の変更＞については、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、運搬費と受入費の合計が最も安価な受入地として選定した単価で令和２年 11 月 30 日付けで変更契約を締結したが、その後、残土は流用することとし、令和５年８月 10 日付けで変更契約を締結し、令和５年８月 30 日付けで完成している。

＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞については、県職員が、地域の代表者とは適宜様々な協議をしており、その中で実際に現地は田畑として使用されていたこと等から、当該工事においても借地は難しいと判断し、このことをもって土地使用者と協議したこととする事実でない協議録を添付していたものである。

＜②残土処分先の変更＞については、国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、事務所内で共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

＜①根固ブロックの現場製作から二次製品利用への変更＞については、協議録は事実でないものの、実際には受注者から根固ブロック製作ヤードの確保困難の理由で二次製品利用に変更しているものであり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

＜②残土処分先の変更＞については、聞取表は事実でなかったものの、最終的には残土は流用処分しており、残土処分費は発生していないことから、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積り徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

平成30年災　第5115号　二級河川黒瀬川水系黒瀬川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川黒瀬川水系黒瀬川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から２月１日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸を巨石石張工や根固工などで復旧するものである。

【決定額783,947,000円】

令和3年9月28日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、地質調査、それに伴う実施設計、それらを経て、令和２年５月に工事発注を予定していた。当該工事において、根固ブロックの製作ヤードを借地する必要があったため平成31 年4 月に製作ヤード予定地の地権者と協議を行い、了解を得ていた。しかしながら近接する第5123号の入札不調に伴い当該工事もやむを得ず発注時期について令和２年５月から令和２年10月に調整することとなった。令和２年11月に工事が契約となり、改めて根固ブロック製作ヤード予定地の地権者に借地のお願いに行ったところ、すでに田畑として使用している為、借地を断られた。ついては根固めブロックについて、現地製作から工場製作へ変更したい。」

との内容について、地権者の協議録などを添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　1,169,153,000円】

（上記理由による増減額　＋129,362,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者から工事打合せ簿での協議（製作ヤード及び労働者の確保困難）により、現場製作から二次製品に変更を指示し、令和５年６月28日付けで完成している。

県職員が、地域の代表者とは適宜様々な協議をしており、その中で実際に現地は田畑として使用されていたこと等から、当該工事においても借地は難しいと判断し、土地使用者と協議したこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないものの、実際に受注者から提出された工事打合せ簿では、製作ヤード及び労働者の確保困難を理由に二次製品利用に変更しているものであり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるもの

に類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5116号　二級河川黒瀬川水系黒瀬川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川黒瀬川水系黒瀬川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸の石張工やブロック張工、根固め工等である。

【決定額641,645,000円】

令和3年10月22日付けの国への設計変更協議において、

「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいた。実施にあたり再度確認したところ、当初予定していた処分先は、受入可能量まで達し受入不可となっていた。また、その他の処分先についても、受入価格が変更となっていたことから、近傍の8社により再度経済比較をした結果による最安価な受入先に変更したい。また、土質についても査定時は礫質土を想定していたが、地質調査の結果、岩塊・玉石交じり土であることから、処分費について変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　718,627,000円】

（上記理由による増減額　＋10,157,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な業者の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により、令和元年5月9日付で変更契約を締結し、令和4年6月28日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更がなかったため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる業務改善策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

令和２年災　第 136 号　二級河川野呂川水系中畑川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、令和２年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川野呂川水系中畑川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、令和２年９月 14 日から９月 18 日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や根固工などで復旧するものである。

【決定額 15,236,000 円】

令和 3 年 10 月 25 日付けの国との設計変更協議において、

「根固めブロック製作ヤードとして、被災現場付近の空き地を利用する予定であった。査定時においては、市の工事で同ヤードを付近の工事における資材置き場として使用していたが、担当に確認したところ、令和３年 10 月頃に完了する見込みであったことから、当該工事において、令和３年 11 月から借地する予定として地権者と調整を行っていた。11 月からの工事着手にむけて、改めて地権者に借地のお願いに行ったところ、すでに今年度末までの借地契約を市と締結した後であったため、借地することが出来なかった。また、付近で根固めブロックの製作ヤードを他に確保することが出来なかったため、根固めブロックについて、現地製作から工場製作へ変更したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　19,077,000 円】

（上記理由による増減額　＋1,777,000 円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者からの工事打合せ簿により根固めブロックの製作ヤードの確保ができなかったため、二次製品とすることについて施工承諾を求める工事打合せ簿が提出され、令和 3 年 7 月 12 日付けで承諾した。その後、令和 3 年９月 10 日付けの工事打合せ簿により現場製作から二次製品への変更について設計変更の対象とすることについて協議があり令和 3 年 10 月 21 日付けで指示した上で、令和４年２月 22 日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要であるが、受注者から協議のあった施工ヤードの適地がないとの理由では説得力が低いと判断して、職員が地権者と協議し同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付し、設計変更協議をしていたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないものの、実際に受注者から提出された工事打合せ簿では、製作ヤードの確保ができなかったことを理由に二次製品利用に変更しているものであり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、設計変更協議は事務所内で決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5126号　その他河川船石川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川船石川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からD箇所まで複数に分かれている。

【決定額7,376,000円】

令和3年11月25日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は工事用道路工（盛土タイプ）の設計にあたり、当該護岸背後の土地所有者より無償借地の承諾を得ていた為、その土地を利用し施工を行う予定としていた。実施にあたり、工事の説明を行うため連絡した際、現在、別の方に借地をしているため、そちらと交渉してほしいと伝えられたことから、土地の利用者に改めて借地の申出を行ったが、結果同意を得ることが出来なかった。これらのことを踏まえ、査定決定内容の工事は、資材運搬等が不可のため実施することが出来なくなった。ついては当該申請箇所を廃止し、河川内から人力施工にて行う修繕工事に切り替えたい。なお、地権者との協議は今後引き続き行い、同意が得られ次第、査定決定内容の復旧を行うこととする。」

との内容について、土地所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　2,075,000円】

（上記理由による増減額　△7,862,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

現場を確認したところ、査定どおりの工事用道路の施工は困難であったため、国への廃工の報告にあたり、事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第4666号　その他河川石休川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川石休川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月21日から1月25日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からE箇所まで複数に分かれている。

【決定額11,802,000円】

令和3年11月25日付けの国への設計変更協議において、

E箇所の廃止理由について、「査定時は、当該護岸背後の土地所有者より無償借地の承諾を得ていた為、その土地を利用し施工を行う予定としていた。実施にあたり、工事の説明を行うため連絡した際、土地所有者は代替わりしており、そんな話は聞いていないとの事であった。改めて借地の申出を行ったところ、相手から借地条件の提案等があった。このことで協議を重ねたが折り合いがつかず、結果同意を得ることが出来なかった。これらのことを踏まえ、査定決定内容の工事は、資材運搬等が不可のため実施することが出来なくなった。ついては当該申請箇所を廃止し、河川内から人力施工にて行う修繕工事に切り替えたい。なお地権者との協議は今後引き続き行い、同意が得られ次第、査定決定内容の復旧を行うこととする。」

との内容について、土地所有者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　15,163,000円】

（上記理由による増減額　△1,516,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

現場を確認したところ、査定どおりの工事用道路の施工は困難であったため、国への廃工の報告にあたり、地権者の同意が得られなかったこととした事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第798号　二級河川野呂川水系野呂川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川野呂川水系野呂川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年10月15日から10月19日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸のコンクリートブロック積工による復旧や、埋塞土砂の撤去などである。

【決定額153,019,000円】

令和3年12月2日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいたが、実施にあたり再度確認したところ、受入れ可能量まで達し受入不可となっていた。また、その他の処分先について、発生土の受入価格が通常と異なることが判明したため、近隣の建設発生土再資源化施設（民間）に見積依頼を実施した。その結果、最も経済的な受入施設に変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　247,953,000円】

（上記理由による増減額　＋61,891,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約を締結し、令和３年10月28日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、正しく措置された場合の工事費（A）（196,240,700円）と実際に施工された工事費（B）（207,729,800円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）207,729,800（円）－（A）196,240,700（円）＝11,489,100（円）

（内国費 7,663,229（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

災害年次	H30	工事番号	798号	路線名	二級河川野呂川水系野呂川

内容
■設計変更協議時の変更理由
【残土処分先の変更】 当初予定していた残土処分先は受入れ可能量まで達し,受入れ不可となったため処分先を変更したい
■影響額の考え方
設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、最も経済的な残土処分単価での工事費（A）（196,240,700円）と事実でない聞取表をもとに設計変更した工事費（B）（207,729,800円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			実影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		87,048,513	1		126,129,677	1		133,393,977		7,264,300	
	河川土工			式	1		31,392,240	1		51,811,891	1		56,489,471		4,677,580	
		掘削工		式	1		1,887,840	1		941,348	1		941,348			
		掘削		m3	9,200	205	1,887,840	2,800	336	941,348	2,800	336	941,348			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3	9,200	205.2	1,887,840									
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				2,800	253.1	708,680	2,800	253.1	708,680			
		積込(ルーズ)	岩塊・玉石	m3				1,035	224.8	232,668	1,035	224.8	232,668			
		応急処理作業工		式				1		20,532,985	1		20,532,985			
		応急作業		式				1	20,532,985	20,532,985	1	20,532,985	20,532,985			
		土木一般世話役		人				58	19,400	1,125,200	58	19,400	1,125,200			
		普通作業員		人				7	17,300	121,100	7	17,300	121,100			
		運転手(特殊)		人				223	19,500	4,348,500	223	19,500	4,348,500			
		運転手(一般)		人				162	16,400	2,656,800	162	16,400	2,656,800			
		バックホウ運転	標準型・排2	日				1	14,510	14,510	1	14,510	14,510			
		バックホウ運転	標準型・排2	時間				188	2,858	537,304	188	2,858	537,304			
		バックホウ運転	標準型・排2	時間				806	3,956	3,188,536	806	3,956	3,188,536			
		バックホウ運転	標準型・排2	時間				791	6,773	5,357,443	791	6,773	5,357,443			
		散水車運転	トラック架装型	時間				278	2,672	742,816	278	2,672	742,816			
		ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル	時間				302	1,532	462,664	302	1,532	462,664			
		ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル	時間				526	1,775	933,650	526	1,775	933,650			
		ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル	時間				423	2,316	979,668	423	2,316	979,668			
		単粒度砕石4号	30～20mm	m3				12	3,300	39,600	12	3,300	39,600			
		(賃料)鋼板	22×1524×3048,802kg/枚	枚・日				646	39	25,194	646	39	25,194			
		盛土工		式				1		3,577,046	1		3,577,046			
		盛土		m3				790	4,527	3,577,046	790	4,527	3,577,046			
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				380	4,601	1,748,380	380	4,601	1,748,380			
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3				180	624.8	112,464	180	624.8	112,464			
		路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上敷均し+締固め	m3				230	157.4	36,202	230	157.4	36,202			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				1,050	1,600	1,680,000	1,050	1,600	1,680,000			
		法面整形工		式				1		966,022	1		966,022			
		法面整形(切土部)		m2				1,130	687	776,536	1,130	687	776,536			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				1,130	687.2	776,536	1,130	687.2	776,536			
		法面整形(盛土部)		m2				540	350	189,486	540	350	189,486			
		法面整形	盛土部法面締固め無し現場制約無し	m2				540	350.9	189,486	540	350.9	189,486			
		残土処理工		式	1		29,504,400	1		25,794,490	1		30,472,070		4,677,580	
		土砂等運搬		m3	9,200		29,504,400	4,355	5,923	25,794,490	4,355	7,195	30,472,070		4,677,580	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	9,200	1,207	11,104,400						0			
		土砂処分費	岩塊・玉石交じり土	m3	9,200	2,000	18,400,000						0			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				3,320	1,927	6,397,640			0	▲ 3,320	▲ 6,397,640	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							3,320	3,195	10,607,400	3,320	10,607,400	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				1,035	1,910	1,976,850			0	▲ 1,035	▲ 1,976,850	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							1,035	2,362	2,444,670	1,035	2,444,670	
		残土受入費		m3				4,355	4,000	17,420,000	4,355	4,000	17,420,000			
	護岸基礎工			式	1		6,734,700	1		468,412	1		468,412			
	作業土工			式	1		6,734,700	1		468,412	1		468,412			
		床掘り		m3				1,000	263	263,800	1,000	263	263,800			
		床掘り	土砂平均施工幅1m以上2m未満	m3				1,000	263.8	263,800	1,000	263.8	263,800			
		埋戻し		m3				420	190	80,052	420	190	80,052			
		積込(ルーズ)	土砂	m3				420	190.6	80,052	420	190.6	80,052			
		基面整正		m2				360	346	124,560	360	346	124,560			
		基面整正		m2				360	346	124,560	360	346	124,560			
		土砂等運搬		m3	2,100		6,734,700									
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	2,100	1,207	2,534,700									
		土砂処分費	岩塊・玉石交じり土	m3	2,100	2,000	4,200,000									
	法覆護岸工			式	1		46,650,864	1		54,138,627	1		54,138,627			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		25,212,596	1		40,502,451	1		40,502,451			
		コンクリートブロック基礎		m				310	9,620	2,982,200	310	9,620	2,982,200			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				52	57,350	2,982,200	52	57,350	2,982,200			
		コンクリートブロック積		m2				723	21,026	15,202,200	723	21,026	15,202,200			
		コンクリートブロック積工	１号間知	m2				618	21,500	13,287,000	618	21,500	13,287,000			
		コンクリートブロック積工	２号間知	m2				105	18,240	1,915,200	105	18,240	1,915,200			
		大型ブロック積		m2	887	26,609	23,602,183	685	24,749	16,953,367	685	24,749	16,953,367			
		コンクリートブロック積	間詰（基礎・裏込材有・裏コン有）1:0.3~1:0.9（総合単価）	m2	887	26,609	23,602,183									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				459	22,240	10,208,160	459	22,240	10,208,160			
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				226	22,240	5,026,240	226	22,240	5,026,240			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				309	5,563	1,718,967	309	5,563	1,718,967			
		胴込・裏込材(砕石)		m3				403	3,547	1,429,441	403	3,547	1,429,441			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				403	3,547	1,429,441	403	3,547	1,429,441			
		吸出し防止材(全面)設置		m2				680	764	520,064	680	764	520,064			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				680	764.8	520,064	680	764.8	520,064			
		天端コンクリート		m3				28	45,200	1,265,600	28	45,200	1,265,600			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				28	45,200	1,265,600	28	45,200	1,265,600			
		小口止コンクリート		式	1		1,610,413	1	2,149,579	2,149,579	1	2,149,579	2,149,579			
		もたれ擁壁	小口止コンクリート H=5.0~8.0m（総合単価）	箇所	9	37,882	340,938									
		コンクリート擁壁	間切工 H=3.0~5.0m（総合単価）	箇所	11	36,119	398,189									
		もたれ擁壁	間切工 H=5.0~8.0m（総合単価）	箇所	23	37,882	871,286									
		１号小口止工		箇所				1	231,368	231,368	1	231,368	231,368			
		２号小口止工		箇所				1	93,541	93,541	1	93,541	93,541			
		４号小口止工		箇所				1	177,196	177,196	1	177,196	177,196			
		５号小口止工		箇所				1	162,524	162,524	1	162,524	162,524			
		６号小口止工		箇所				1	205,851	205,851	1	205,851	205,851			
		７号小口止工		箇所				1	136,520	136,520	1	136,520	136,520			
		８号小口止工		箇所				1	56,073	56,073	1	56,073	56,073			
		９号小口止工		箇所				1	64,056	64,056	1	64,056	64,056			
		１０号小口止工		箇所				1	28,905	28,905	1	28,905	28,905			
		１１号小口止工		箇所				1	49,398	49,398	1	49,398	49,398			
		１号間切工		箇所				1	222,443	222,443	1	222,443	222,443			
		２号間切工		箇所				1	214,274	214,274	1	214,274	214,274			
		３号間切工		箇所				1	205,838	205,838	1	205,838	205,838			
		５号間切工		箇所				1	147,527	147,527	1	147,527	147,527			
		６号間切工		箇所				1	154,065	154,065	1	154,065	154,065			
		石積(張)工		式	1		18,012,159	1		7,606,470	1		7,606,470			
		石積(張)基礎		m				98	5,852	573,500	98	5,852	573,500			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				10	57,350	573,500	10	57,350	573,500			
		石積		m2	860	20,601	17,717,073	215	32,711	7,032,970	215	32,711	7,032,970			
		石積	練張（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3~1:0.9（総合単価）	m2	649	21,155	13,729,595									
		石積	練張（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3~1:0.9（総合単価）	m2	211	18,898	3,987,478									
		石積(練石)(複合)	玉石直高2.0mを超え2.5m以下	m2				147	17,220	2,531,340	147	17,220	2,531,340			
		石積(練石)(複合)	玉石直高1.5mを超え2.0m以下	m2				56	17,030	953,680	56	17,030	953,680			
		石積(練石)(複合)	玉石直高1.0m以上1.5m以下	m2				12	16,700	200,400	12	16,700	200,400			
		石材採取	雑割石	m3				215	15,570	3,347,550	215	15,570	3,347,550			
		石積		m2	22	13,413	295,086									
		石張	練張（岩着）（総合単価）	m2	22	13,413	295,086									
		護岸付属物工		式				1		2,217,172	1		2,217,172			
		排水構造物工		m				39	38,853	1,515,272	39	38,853	1,515,272			
		ヒューム管(B形管)	据付管径600mm固定基礎360°巻き	m				16	54,160	866,560	16	54,160	866,560			
		堤外水路工		m				23	18,463	424,649	23	18,463	424,649			
		１号吐口工		箇所				1	75,557	75,557	1	75,557	75,557			
		２号吐口工		箇所				1	54,187	54,187	1	54,187	54,187			
		３号吐口工		箇所				1	49,548	49,548	1	49,548	49,548			
		４号吐口工		箇所				1	44,771	44,771	1	44,771	44,771			
		構造物復旧工		m3				26	26,996	701,900	26	26,996	701,900			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				26	21,700	564,200	26	21,700	564,200			
		型枠	一般型枠	m2				20	6,885	137,700	20	6,885	137,700			

	根固めブロック工		式	1		204,144	1		214,619	1		214,619		
	根固めブロック製作		個	6	33,451	200,706	6	29,460	176,760	6	29,460	176,760		
	消波根固めブロック製作・据付	層積2.0t（総合単価）	個	6	33,451	200,706								
	消波根固めブロック製作	2.5t以下	個				6	29,460	176,760	6	29,460	176,760		
	根固めブロック据付		個				6	5,711	34,269	6	5,711	34,269		
	消波根固めブロック横取り	2.5t以下	個				6	1,227	7,362	6	1,227	7,362		
	消波根固めブロック据付け	2.5t以下据付場所陸上層積	個				6	2,894	17,364	6	2,894	17,364		
	吸出し防止材設置	全面	m2				14	681.7	9,543	14	681.7	9,543		
	間詰材		m3	1	3,438	3,438	1	3,590	3,590	1	3,590	3,590		
	積込(ルーズ)	土砂	m3	1	188.7	188								
	割ぐり石	150～50mm	m3	1	3,250	3,250								
	積込(ルーズ)	土砂	m3				1	190.6	190	1	190.6	190		
	割ぐり石	150～50mm	m3				1	3,400	3,400	1	3,400	3,400		
	すりつけ工		式	1		576,213	1		287,970	1		287,970		
	石積		m2	33		576,213	22	13,089	287,970	22	13,089	287,970		
	石積	練張（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3～1:0.9（総合単価）	m2	33	17,461	576,213						0		
	石積(張)	積工	m2				22	9,315	204,930	22	9,315	204,930		
	石材採取	玉石	m3				8	10,380	83,040	8	10,380	83,040		
	張コンクリート		式	1		190,656	1		397,981	1		397,981		
	コンクリート		m2	72	2,648	190,656								
	張コンクリート工	t=10cm	m2	72	2,648	190,656								
	コンクリート		m3				9	44,220	397,981	9	44,220	397,981		
	コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				9	21,700	195,300	9	21,700	195,300		
	2号平張コンクリート		m				13	4,771	62,023	13	4,771	62,023		
	3号平張コンクリート		m				17	8,274	140,658	17	8,274	140,658		
	構造物取壊し工		式	1		104,707	1		332,764	1		332,764		
	練石積取壊し		m3	12	6,598	79,176								
	構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	12	6,598	79,176								
	コンクリート構造物取壊し		m3	3	6,598	19,794								
	構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	3	6,598	19,794								
	舗装版砕波		m2	51	112	5,737								
	舗装版砕波	アスファルト舗装版	m2	51	112.5	5,737								
	構造物取壊し		m3				28	11,884	332,764	28	11,884	332,764		
	構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3				28	6,611	185,108	28	6,611	185,108		
	殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3				28	1,582	44,296	28	1,582	44,296		
	受入費	コンクリート殻	t				64.6	1,600	103,360	64.6	1,600	103,360		
	運搬処理工		式	1		95,169								
	殻運搬		m3	18	1,820	32,769								
	殻運搬	Co（無筋・鉄筋）構造物とりこわし機械積込	m3	12	1,570	18,840								
	殻運搬	Co（無筋・鉄筋）構造物とりこわし機械積込	m3	3	1,570	4,710								
	殻運搬	舗装版砕波機械積込（騒音対策不要、舗装版）	m3	3	3,073	9,219								
	殻運搬処分		m3	18	3,466	62,400								
	コンクリート殻処分費	無筋	t	27	1,600	43,200								
	コンクリート殻処分費	無筋	t	6	1,600	9,600								
	アスファルト殻処分費		t	6	1,600	9,600								
	附属物工		式	1		2,255,220	1		2,579,200	1		2,579,200		
	ガードレール基礎		m	110	20,502	2,255,220	128	20,150	2,579,200	128	20,150	2,579,200		
	ガードレール基礎	プレキャスト	m	110	20,502	2,255,220								
	プレキャスト擁壁設置	基礎砕石有り均しCo有り	m				128	20,150	2,579,200	128	20,150	2,579,200		
擁壁護岸工			式				1		1,353,400	1		1,353,400		
	場所打擁壁工(構造物単位)		式				1		80,920	1		80,920		
	重力式擁壁		m3				2	40,460	80,920	2	40,460	80,920		
	重力式擁壁	擁壁平均高さ1m超2m未満	m3				2	40,460	80,920	2	40,460	80,920		
	プレキャスト擁壁工		式				1		1,272,480	1		1,272,480		
	プレキャスト擁壁		m				22	57,840	1,272,480	22	57,840	1,272,480		
	プレキャスト擁壁設置	基礎砕石有り均しCo有り	m				22	57,840	1,272,480	22	57,840	1,272,480		
仮設工			式	1		2,270,709	1		18,357,347	1		20,944,067		2,586,720
	工事用道路工		式	1		693,294	1		7,812,009	1		8,915,169		1,103,160
	工事用道路盛土		m3	33	8,198	270,534	720	9,088	6,543,408	720	10,496	7,557,808		1,014,400
	工事用道路	W=4.0m（総合単価）	m3	33	8,198	270,534								
	路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上敷均し+締固め	m3				720	157.4	113,328	720	157.4	113,328		
	購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				960	1,600	1,536,000	960	1,600	1,536,000		
	積込(ルーズ)	土砂	m3				800	190.6	152,480	800	190.6	152,480		
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				800	1,927	1,541,600	800	3,195	2,556,000		1,014,400
	残土受入費		m3				800	4,000	3,200,000	800	4,000	3,200,000		
	敷砂利		m2				710	788	559,664	710	913	648,424		88,760
	整地	敷均し(ルーズ)	m3				70	277.6	19,432	70	277.6	19,432		
	再生クラッシャラン	40～0mm	m3				70	1,600	112,000	70	1,600	112,000		
	積込(ルーズ)	土砂	m3				70	190.6	13,342	70	190.6	13,342		
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				70	1,927	134,890	70	3,195	223,650		88,760
	残土受入費		m3				70	4,000	280,000	70	4,000	280,000		
	敷鉄板		m2	130	3,252	422,760	61	1,067	65,137	61	1,067	65,137		
	工事用道路	W=3.0m（敷鉄板、t=22mm）（総合単価）	m2	130	3,252	422,760								
	敷鉄板設置・撤去		m2				61	209	12,749	61	209	12,749		
	敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚				14	3,742	52,388	14	3,742	52,388		
	交通誘導警備員		人				58	11,100	643,800	58	11,100	643,800		
	交通誘導警備員B		人				58	11,100	643,800	58	11,100	643,800		
	土留・仮締切工		式	1		1,338,124	1		9,882,128	1		11,353,008		1,470,880
	土のう		袋	268	1,786	478,648	392	7,670	3,006,808	392	7,670	3,006,808		
	大型土のう設置	作業半径6m以下	袋	268	1,198	321,064								
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	268	588	157,584								
	大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				392	5,657	2,217,544	392	5,657	2,217,544		
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				1,392	567	789,264	1,392	567	789,264		
	土砂等運搬		m3	268	3,207	859,476	1,160	5,927	6,875,320	1,160	7,195	8,346,200		1,470,880
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	268	1,207	323,476								
	土砂処分費	岩塊・玉石	m3	268	2,000	536,000								
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				1,160	1,927	2,235,320	1,160	3,195	3,706,200		1,470,880
	残土受入費		m3				1,160	4,000	4,640,000	1,160	4,000	4,640,000		
	沈砂池工		式	1		54,923	1		152,630	1		165,310		12,680
	土のう		袋	11	1,786	19,646	15	6,224	93,360	15	6,224	93,360		
	大型土のう設置	作業半径6m以下	袋	11	1,198	13,178								
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	11	588	6,468								
	大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				15	5,657	84,855	15	5,657	84,855		
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				15	567	8,505	15	567	8,505		
	土砂等運搬		m3	11	3,207	35,277	10	5,927	59,270	10	7,195	71,950		12,680
	土砂等運搬		m3	11	1,207	13,277								
	残土受入費		m3	11	2,000	22,000								
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				10	1,927	19,270	10	3,195	31,950		12,680
	残土受入費		m3				10	4,000	40,000	10	4,000	40,000		
	水替工		式	1		184,368	1		510,580	1		510,580		
	ポンプ排水		箇所	1	184,368	184,368								
	締切排水工	（総合単価）	箇所	1	184,368	184,368								
	ポンプ排水		日				50	10,211	510,580	50	10,211	510,580		
	ポンプ設置・撤去		箇所				1	67,180	67,180	1	67,180	67,180		
	ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				50	8,868	443,400	50	8,868	443,400		
直接工事費						87,048,513			126,129,677			133,393,977		7,264,300
処分費・投棄料等						23,220,400			25,683,360			25,683,360		
	運搬費								88,480			88,480		
	運搬費		式	1		532,460	1		88,480	1		88,480		
	運搬費		式	1		532,460	1		88,480	1		88,480		
	仮設材運搬費		t	67.4	7,900	532,460	11.2	7,900	88,480	11.2	7,900	88,480		
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離22.6km	式	1	532,460	532,460								
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離22km	式				1	88,480	88,480	1	88,480	88,480		
技術管理費									977,960			977,960		
共通仮設費率分						5,288,000			7,448,000			7,881,000		433,000
共通仮設費計						5,820,460			8,514,440			8,947,440		433,000
純工事費						92,868,973			134,644,117			142,341,417		7,697,300
現場管理費						18,556,000			27,253,000			28,726,000		1,473,000
工事原価						111,424,973			161,897,117			171,067,417		9,170,300
一般管理費率分						14,357,701			18,764,528			19,828,952		1,064,424
契約保証費						36,326			31,804			39,050		7,246
一般管理費計						19,867,583			18,795,883			19,867,583		1,071,700
工事価格						125,819,000			180,693,000			190,935,000		10,242,000
工事価格計						125,819,000			180,613,000			190,851,000		10,238,000 落札率込
消費税相当額						10,065,520			15,627,700			16,878,800		1,251,100
合併施工に伴う減額									0					
本工事費計						135,884,000			196,240,700			207,729,800		11,489,100
工事雑費						2,038,000			2,405,307			2,562,307		157,000
応急工事費						15,097,000			10,153,800			10,153,800		
工事費計						153,019,000			162,813,607			173,445,907		10,632,300
国庫負担率			%											66.7
国庫負担金返還額														7,663,229

平成30年災　第2181号　二級河川黒瀬川水系猿田川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川黒瀬川水系猿田川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月19日から11月22日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所とB箇所に分かれている。

【決定額11,299,000円】

令和2年12月15日付けの国との設計変更協議において、

「二級河川黒瀬川水系猿田川は、兼ねてより河川改修計画（計画流量35m3/s）があったが、地元関係者からの反対により、平成21年度以降休止扱いとなっていたことから、災害時は原型復旧によるものとしていた。実施にあたり、改めて地元関係者と調整した結果、河川改修計画による断面での施工を強く要望されたことから、決定内容を超える部分について、合併施行としたい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　57,633,000円】

（上記理由による増減額　0円

※合併施行にかかる災害復旧事業の増減額無し）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議記録簿の内容は事実でないと判定した。

実際には、当初から河川改修計画を踏まえて発注しており、令和３年２月８日付けで当初契約を締結し、令和４年11月16日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元関係者から河川改修計画による断面での施工を要望されたとする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないものの、合併施行に伴う変更であり、災害復旧事業としての変更はない（実施単価更正のみ）ため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5187号　二級河川沼田川水系椋梨川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川沼田川水系椋梨川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からN箇所まで複数に分かれている。

【決定額242,380,000円】

令和3年1月21日付けの国との設計変更協議において、

「当該箇所は１４箇所（A～N箇所）の被災箇所からなる災害復旧工事であり、工事実施に当たっては地域事情や発注規模等を考慮し、A～D箇所とその他箇所の発注ロッドにより復旧工事を予定していた。このうちA～D箇所においては、現場条件等を理由に不落が発生しており、かつ当該箇所周辺の箇所においても不調が続いている。一方で、早期の復旧を地元から強く要望されていることから、県単独費による当面の現場対応を行うこととしたく、A～D箇所を廃止したい。なお、将来的には改めて決定工法による復旧を予定している。」

との内容について、地元との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　232,333,000円】

（上記理由による増減額　△30,220,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実であるが、協議日は事実でないと判定した。

実際には、早期完成の要望に対応するため、修繕工事で対応したが、国への廃工の報告にあたり、遡って協議録を作成したことから、協議日に不整合が生じたものである。

（影響額の算定）

協議録の日付は事実でないが、協議の内容は事実であり、また、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第2265号　主要地方道府中松永線　道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、主要地方道府中松永線の道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月19日から11月22日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した道路法面を現場吹付法枠等で復旧するものである。

【決定額32,937,000円】

令和3年1月27日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は簡易動的コーン貫入試験（簡易的な土質調査）結果等により、法面工法（吹付枠工（補助工法無し））を選定したところ、実施にあたり、土工作業中に小崩落が発生したことから、ボーリング調査（本格的な土質調査）を実施した。地層構成を確認した結果、調査震度の下端付近まで強く風化しており、全体的に軟質化が進んでいる。この調査を基に安定計算した結果、補助工法無しでは、安全率を確保できないことが判明した。また、SECT16.0においては、地質調査結果により安定勾配は1:1.2に設定するのが望ましいが、用地買収を伴うため、早期完成を図り、法面工法を吹付枠工＋鉄筋挿入工に変更したい。」

との内容について、関係地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　36,814,000円】

（上記理由による増減額　＋4,278,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、工事発注後、法面下段で小崩落が発生したことから、受注者から工事打合せ簿により、法面工法を「吹付枠工（補助工法無し）」から「吹付枠工＋鉄筋挿入工」へ変更することについて協議があった。元の用地取得範囲内で工事を完了させるため、協議のあった工法にて変更を令和2年7月20日付けで指示し令和３年３月12日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化への対応として、用地取得が困難とする事実でない協議録を添付し、設計変更協議をしていたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、査定後、現地着手した後に、法面の一部が小崩落したことは事

実であり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２一に定める「水勢又は地形の変動」に該当する。また、工事中の法面の崩落について早期に対応する必要があり、法面を緩勾配で切り直す場合には追加買収に時間を要するため、用地取得を行わず、計画範囲内での工法変更（吹付枠工＋鉄筋挿入工）としたことは妥当と判断されることから、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第1901号　一級河川芦田川水系綾目川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川芦田川水系綾目川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月12日から11月16日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額3,853,000円】

令和3年9月1日付けの国との設計変更協議において、

「査定時、工事用車両は市道から民地内を通ることを計画しており、民地所有者への土地の借用の承諾は得ていた。しかしながら、工事の実施にあたり民地所有者へ土地の立ち入りの確認をしたところ、工事用車両のより土地が荒らされることの懸念から、敷鉄板をすることを条件とされた。他の進入路がないことから、市道から被災箇所までの53.0mについて、工事用道路工（敷鉄板）を追加したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　5,043,000円】

（上記理由による増減額　＋761,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、査定決定後に実施設計を行っているが、この設計においても工事用道路（敷鉄板）の設置は見込まれておらず、本件工事を令和２年10月９日付けで既発注工事に追加し契約した際にも工事用道路（敷鉄板）の設置は含まれていない。その後、工事実施の段階で敷鉄板を設置することとして令和3年5月17日付けで変更契約を締結し、令和３年６月２日付けで完成している。

国との設計変更協議には現地の状況変化の説明が必要なため、地権者から工事用道路（敷鉄板）の設置要望があったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

災害査定後の実施設計においても工事用道路（敷鉄板）は見込まれておらず、現地の状況変化も認められないことから、設計変更は認められないものと判断し、正しく措置された場合の工事費（A）（3,955,600円）と、実際に施工された工事費（B）（4,675,000円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

(B)　4,675,000　(円) － (A)　3,955,600　(円) ＝　719,400　(円)

(内国費　479,839　(円))

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

災害年次	H30	工事番号	1901号	路線名	一級河川芦田川水系綾目川

内容
■設計変更協議時の変更理由
［関係者協議の結果に係る工事用道路の追加］査定時に土地の借用の了承を得ていたが、工事実施にあたり、地権者より土地が荒らされる懸念から工事用道路設置の要望があったため、工事用道路を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（3,955,600円）と、実際に施工された工事費（B）（4,675,000円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		1,793,928	1		1,839,235	1		1,924,850		85,615	
	河川土工			式				1		177,791	1		177,791			
	掘削工			式				1		41,760	1		41,760			
		掘削		m3				20	2,088	41,760	20	2,088	41,760			
		復興歩掛_掘削	土砂上記以外(小規模)	m3				20	2,088	41,760	20	2,088	41,760			
	盛土工			式				1		995	1		995			
		路体(築堤)盛土		m3				0.2	4,975	995	0.2	4,975	995			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3				0.2	4,977	995	0.2	4,977	995			
	法面整形工			式				1		21,219	1		21,219			
		法面整形(切土部)		m2				30	695	20,868	30	695	20,868			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				30	695.6	20,868	30	695.6	20,868			
		法面整形(盛土部)		m2				1	351	351	1	351	351			
		法面整形	盛土部法面締固め無し現場制約無し	m2				1	351.4	351	1	351.4	351			
	残土処理工			式				1		113,817	1		113,817			
		土砂等運搬		m3				32	1,803	57,717	32	1,803	57,717			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				30	1,749	52,470	30	1,749	52,470			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				3	1,749	5,247	3	1,749	5,247			
		残土等処分		m3				33	1,700	56,100	33	1,700	56,100			
		残土処分費	土砂	m3				30	1,700	51,000	30	1,700	51,000			
		残土処分費	硬岩	m3				3	1,700	5,100	3	1,700	5,100			
	護岸基礎工			式				1		33,348	1		33,348			
	作業土工			式				1		17,805	1		17,805			
		床掘り		m3				9	1,782	16,039	9	1,782	16,039			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3				6	1,760	10,560	6	1,760	10,560			
		復興歩掛_掘削	硬岩オープンカット	m3				3	1,435	4,305	3	1,435	4,305			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	破砕岩	m3				3	391.4	1,174	3	391.4	1,174			
		埋戻し		m3				2	883	1,766	2	883	1,766			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				2	883.4	1,766	2	883.4	1,766			
	基礎工			式				1		15,543	1		15,543			
		現場打基礎		m				9	1,727	15,543	9	1,727	15,543			
		基礎工		m												
		埋戻しコンクリート	岩着	m				2	1,727	3,454	2	1,727	3,454			
		埋戻しコンクリート	岩着	m				7	1,727	12,089	7	1,727	12,089			
	法覆護岸工			式	1		1,188,711	1		1,139,105	1		1,139,105			
	Coブロック工(Coブロック積)			式	1		652,380	1		641,893	1		641,893			
		大型ブロック積		m2	28	23,299	652,380	30	16,210	486,300	30	16,210	486,300			
		コンクリートブロック積	【総合単価】河川(基礎・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.9	m2	6	24,877	149,262									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				6	16,210	97,260	6	16,210	97,260			
		コンクリートブロック積	【総合単価】河川(岩着・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.9	m2	22	22,869	503,118									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				24	16,210	389,040	24	16,210	389,040			
		胴込・裏込材(砕石)		m3				20	4,810	96,212	20	4,810	96,212			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				12	3,825	45,900	12	3,825	45,900			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				8	6,289	50,312	8	6,289	50,312			
		吸出し防止材(全面)設置		m2				25	774	19,350	25	774	19,350			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				25	774	19,350	25	774	19,350			
		天端コンクリート		m				7	5,718	40,031	7	5,718	40,031			
		天端コンクリート	1：0.5　法あり	m				1	2,963	2,963	1	2,963	2,963			
		天端コンクリート	1：0.5　法なし	m				6	6,178	37,068	6	6,178	37,068			
	護岸付属物工			式	1		146,280	1		353,848	1		353,848			
		小口止		箇所	4	36,570	146,280	4	88,462	353,848	4	88,462	353,848			
		小口止工	【総合単価】H=3.0～5.0m	m3	4	36,570	146,280									
		１号小口止工		箇所				1	90,129	90,129	1	90,129	90,129			
		２号小口止工		箇所				1	90,711	90,711	1	90,711	90,711			
		３号小口止工		箇所				1	85,772	85,772	1	85,772	85,772			
		４号小口止工		箇所				1	87,236	87,236	1	87,236	87,236			
	すりつけ工			式	1		387,598	1		141,461	1		141,461			
		石積		m2	22	17,618	387,598	11	12,860	141,461	11	12,860	141,461			
		すりつけ工（練石積）	【総合単価】練積(基礎・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.9	m2	13	17,425	226,525									
		すりつけ工（練石積）	【総合単価】練積(岩着・裏込材有・裏コン無)1:0.3～1:0.9	m2	9	17,897	161,073									
		すりつけ工（石積）		m2				11	12,739	140,129	11	12,739	140,129			
		張芝工	[規]300m2未満	m2				0.7	1,903	1,332	0.7	1,903	1,332			
	植生工			式	1		2,453	1		1,903	1		1,903			
		張芝		m2	1	2,453	2,453	1	1,903	1,903	1	1,903	1,903			
		張芝	【総合単価】野芝	m2	1	2,453	2,453									
		張芝工	[規]300m2未満	m2				1	1,903	1,903	1	1,903	1,903			
	仮設工			式	1		605,217	1		488,991	1		574,606		85,615	
	工事用道路（敷鉄板）			式							1		85,615	1	85,615	
		敷鉄板		m2							159	538	85,615	159	85,615	
		敷鉄板設置		m2							159	161	25,599	159	25,599	
		敷鉄板撤去		m2							159	151	24,009	159	24,009	
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚							19	973	18,487	19	18,487	
		敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚							15	1,168	17,520	15	17,520	
	土留・仮締切工			式	1		153,638	1		175,890	1		175,890			
		土のう		袋	22	6,984	153,638	22	7,995	175,890	22	7,995	175,890			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	30	1,800	54,000									
		仮締切工（大型土のう）	【総合単価】	袋	22	4,529	99,638									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				22	7,420	163,240	22	7,420	163,240			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				22	575	12,650	22	575	12,650			
	水替工			式	1		368,736	1		188,156	1		188,156			
		ポンプ排水		日	6	31,359	368,736	6	31,359	188,156	6	31,359	188,156			
		締切排水工	【総合単価】	箇所	2	184,368	368,736									
		ポンプ設置・撤去		箇所				2	69,370	138,740	2	69,370	138,740			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				6	8,236	49,416	6	8,236	49,416			
	汚濁防止工			式	1		31,703	1		55,965	1		55,965			
		濁水処理設備		袋	7	4,529	31,703	7	7,995	55,965	7	7,995	55,965			
		沈砂池（大型土のう）	【総合単価】	袋	7	4,529	31,703									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				7	7,420	51,940	7	7,420	51,940			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				7	575	4,025	7	575	4,025			
	残土処理工			式	1		51,140	1		68,980	1		68,980			
		土砂等運搬		m3	20	1,057	21,140	20	1,749	34,980	20	1,749	34,980			
		土砂等運搬	小規模土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	20	1,057	21,140	20	1,749	34,980	20	1,749	34,980			
		残土等処分		m3	20	1,500	30,000	20	1,700	34,000	20	1,700	34,000			
		残土処分費	土砂	m3	20	1,500	30,000	20	1,700	34,000	20	1,700	34,000			

直接工事費						1,793,928			1,839,235			1,924,850		85,615	
処分費・投棄料等															
	運搬費											278,850		278,850	
	運搬費			式						1		278,850	1	278,850	
	運搬費			式						1		278,850	1	278,850	
		仮設材運搬費		t						28	9,958	278,850	28	278,850	
		仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離18.7km	式						1	278,850	278,850	1	278,850	
	共通仮設費率分					224,000			248,000			260,000		12,000	
共通仮設費計						224,000			248,000			538,850		290,850	
純工事費						2,017,928			2,087,235			2,463,700		376,465	
現場管理費						847,000			975,000			1,155,000		180,000	
工事原価						2,864,928			3,062,235			3,618,700		556,465	
	一般管理費率分					649,927			534,623			632,272		97,649	
	契約保証費					1,145									
一般管理費計						651,072			533,765			631,300		97,535	
工事価格						3,516,000			3,596,000			4,250,000		654,000	
工事価格計						3,516,000			3,596,000			4,250,000		654,000	落札率込
消費税相当額						281,280			359,600			425,000		65,400	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						3,797,000			3,955,600			4,675,000		719,400	
工事雑費						56,000			59,000			70,000		11,000	
工事費計						3,853,000			4,014,600			4,745,000		730,400	
国庫負担率				%										66.7	
国庫負担金返還額														479,839	

平成30年災　第2825号　一級河川芦田川水系綾目川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川芦田川水系綾目川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年12月3日から12月7日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。工事は、民地内を借用した上で工事用道路とすることを前提とした内容で申請し決定されたものである。
【決定額4,540,000円】

令和3年10月26日付けの国との設計変更協議において、
「査定時、工事用道路の必要用地については、地権者の承諾のもと既設の進入路を用いて無償借地としていた。実施にあたり再度、地権者に確認を行った結果、借地の条件として、進入路の状態を悪くしないように進入するように要望を受けた為、新規に工事用道路（敷鉄板）(L=50.0m)を追加したい。」
との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。
【設計変更協議で同意を得た変更決定額　5,893,000円】
（上記理由による増減額　＋700,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録のうち協議者は事実でないと判定した。

実際には、査定決定後に実施設計を行っているがこの設計においても工事用道路（敷鉄板）の設置は見込まれておらず、本件工事を令和２年10月９日付けで既契約工事に追加し契約した際にも工事用道路（敷鉄板）の設置は含まれていない。その後、協議録相手方の親族との協議を経て敷鉄板を設置することとして令和3年5月17日付けで変更契約を締結し、令和３年６月２日付けで完成している。

国との設計変更協議には現地の状況変化の説明が必要なため、遡って協議録を作成したことから、協議の相手方に齟齬が生じたものと考えられる。

（影響額の算定）

協議録の協議者は事実でないと判定したものの、協議録に記載されている内容は事実であると判断でき、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・工事用道路で民地等を借用する必要がある場合は、土地所有者との協議を行い、了承を得ることを各事務所へ改めて通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第1567号　一般県道尾道新市線　道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一般県道尾道新市線の道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月５日から11月９日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した道路法面の現場打法枠工及び現場吹付法枠で復旧するものである。工事は、工事用信号機により片側通行規制として申請し決定されたものである。

【決定額47,334,000円】

令和３年10月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は工事用信号機により片側通行規制をする計画としていた。工事着手前に警察に対し道路使用許可の申請をしたところ、通行規制区間内に市道との交差点があるため、交通誘導警備員を配置することを許可条件とされたため、交通誘導警備員を追加し、工事用信号機を削除したい。」

との内容について、警察との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　50,615,000円】

（上記理由による増減額　＋2,530,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、施工するためには交通誘導警備員の配置が必要であり、令和３年12月１日付けの変更契約で計上し、令和３年12月21日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、県職員が警察と協議したこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないものの、受注者が道路使用許可を申請した際に交通誘導警備員の配置が条件となったことは事実である。このため、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第1557号　二級河川藤井川水系藤井川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川藤井川水系藤井川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月5日から11月9日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額4,906,000円】

令和3年11月16日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、地元代表者の同意を得て市道の交通規制（通行止め）を行い、市道上での施工を想定していたことから、工事用道路工は計上していなかった。工事着手にあたり、地元代表者と再度市道の交通規制（通行止め）の調整を行ったが、同意を得ることができなかったため、河川内への進入のための工事用道路工を追加したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　8,334,000円】

（上記理由による増減額　＋2,186,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者からの工事打合せ簿により、道路上から施工できないため、工事用道路を設置したいと協議があり、令和2年10月23日付けで承諾した上で、令和４年１月11日付けで変更契約を締結し、令和４年１月２７日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元代表者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

工事用道路の追加をしなければ工事ができなかったことは事実であるが、工事内容の変更が必要となった原因は、災害査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（5,541,800円）と、実際に施工された工事費（B）（7,364,500円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）　7,364,500　（円）－（A）　5,541,800　（円）＝　1,822,700　（円）

（内国費　1,215,740　（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	1557号	路線名	二級河川藤井川水系藤井川

内容

■設計変更協議時の変更理由
［地元調整の結果による工事用道路工の追加］地元代表者から工事に伴う交通規制（通行止め）の同意を得ることができないため，工事用道路工（盛土）を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（5,541,800円）と、実際に施工された工事費（B）（7,364,500円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B) ― (A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		2,285,346	1		2,854,177	1		3,975,402		1,121,225	
		河川土工		式	1		73,614	1		296,129	1		296,129			
		掘削工		式				1		63,630	1		63,630			
		掘削		m3				30	2,121	63,630	30	2,121	63,630			
		復興歩掛_掘削	土砂上記以外(小規模)	m3				30	2,121	63,630	30	2,121	63,630			
		法面整形工		式				1		35,475	1		35,475			
		法面整形(切土部)		m2				50	709	35,475	50	709	35,475			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				50	709.5	35,475	50	709.5	35,475			
		残土処理工		式	1		73,614	1		197,024	1		197,024			
		土砂等運搬		m3	30	653	19,614	80	662	53,024	80	662	53,024			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	30	653.8	19,614	80	662.8	53,024	80	662.8	53,024			
		残土等処分		m3	30	1,800	54,000	80	1,800	144,000	80	1,800	144,000			
		投棄料	土砂	m3	30	1,800	54,000	80	1,800	144,000	80	1,800	144,000			
		法覆護岸工		式	1		1,265,745	1		1,797,760	1		1,797,760			
		作業土工		式				1		100,420	1		100,420			
		床掘り		m3				40	1,787	71,480	40	1,787	71,480			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3				40	1,787	71,480	40	1,787	71,480			
		埋戻し		m3				20	1,447	28,940	20	1,447	28,940			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3				20	1,447	28,940	20	1,447	28,940			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		1,265,745	1		1,697,340	1		1,697,340			
		大型ブロック積		m2	45	24,877	1,119,465	45	21,810	981,450	45	21,810	981,450			
		コンクリートブロック積	河川（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3~1:0.9（総合単価）	m2	45	24,877	1,119,465									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				45	21,810	981,450	45	21,810	981,450			
		吸出し防止材(全面)設置		m2				45	774	34,830	45	774	34,830			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				45	774	34,830	45	774	34,830			
		胴込・裏込材		m3				12	5,913	70,956	12	5,913	70,956			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				12	5,913	70,956	12	5,913	70,956			
		裏込材(砕石)		m3				26	3,729	96,954	26	3,729	96,954			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				26	3,729	96,954	26	3,729	96,954			
		コンクリートブロック基礎		m				8	15,710	125,680	8	15,710	125,680			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				2	62,840	125,680	2	62,840	125,680			
		天端コンクリート		m3				1	49,670	49,670	1	49,670	49,670			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				1	49,670	49,670	1	49,670	49,670			
		小口止コンクリート		m3	4	36,570	146,280	4	84,450	337,800	4	84,450	337,800			
		小口止工	H=3.0～5.0m（総合単価）	m3	4	36,570	146,280									
		1号小口止工	SECT0.0　SECT9.0	箇所				2	168,900	337,800	2	168,900	337,800			
		法面工		式	1		24,530	1		13,321	1		13,321			
		植生工		式	1		24,530	1		13,321	1		13,321			
		張芝		m2	10	2,453	24,530	7	1,903	13,321	7	1,903	13,321			
		張芝工	[規]300m2未満（総合単価）	m2	10	2,453	24,530									
		張芝工	[規]300m2未満	m2				7	1,903	13,321	7	1,903	13,321			
		雑工		式	1		375,837	1		309,525	1		309,525			
		雑工		式	1		375,837	1		309,525	1		309,525			
		すりつけ工（練石積）		m2	21	17,897	375,837	22	13,636	300,010	22	13,636	300,010			
		すりつけ工	練積（岩塊・裏込材有・裏コン無）1:0.3~1:0.9間勾配105（総合単価）	m2	21	17,897	375,837									
		石積(張)	積工	m2				22	9,700	213,400	22	9,700	213,400			
		胴込・裏込コンクリート_石積(張)	積工	m3				3	28,870	86,610	3	28,870	86,610			
		すりつけ工（野芝）		m2				5	1,903	9,515	5	1,903	9,515			
		張芝工	[規]300m2未満	m2				5	1,903	9,515	5	1,903	9,515			
		構造物撤去工		式	1		184,728	1		87,089	1		87,089			
		構造物取壊し工		式	1		184,728	1		87,089	1		87,089			
		コンクリート構造物取壊し		m3	18	6,611	118,998	8	6,742	53,936	8	6,742	53,936			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	18	6,611	118,998	8	6,742	53,936	8	6,742	53,936			
		コンクリート取壊し運搬処理		m3	18	3,651	65,730	8	4,144	33,153	8	4,144	33,153			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	18	2,485	44,730	8	994.2	7,953	8	994.2	7,953			
		コンクリート殻受入費	無筋	t	42	500	21,000	18	1,400	25,200	18	1,400	25,200			
		仮設工		式	1		360,892	1		350,353	1		1,471,578		1,121,225	
		仮設材運搬		式	1		31,596	1		19,884	1		19,884			
		土砂等運搬		m3	30	1,053	31,596	30	662	19,884	30	662	19,884			
		購入土（ほぐし）	土砂	m3	30	500.0	15,000									
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	30	553.2	16,596	30	662.8	19,884	30	662.8	19,884			
		土留・仮締切工		式	1		81,522	1		121,716	1		121,716			
		土のう		袋	18	4,529	81,522	18	6,762	121,716	18	6,762	121,716			
		仮締切工（大型土のう）		袋	18	4,529	81,522									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				18	6,177	111,186	18	6,177	111,186			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				18	585	10,530	18	585	10,530			
		水替工		式	1		184,368	1		114,085	1		114,085			
		ポンプ排水		日	5	36,873	184,368	5	22,817	114,085	5	22,817	114,085			
		締切排水工		箇所	1	184,368	184,368									
		ポンプ設置・撤去		箇所				1	70,090	70,090	1	70,090	70,090			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				5	8,799	43,995	5	8,799	43,995			
		汚濁防止工		式	1		63,406	1		94,668	1		94,668			
		土のう		袋	14	4,529	63,406	14	6,762	94,668	14	6,762	94,668			
		濁水対策工（大型土のう）		袋	14	4,529	63,406									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				14	6,177	86,478	14	6,177	86,478			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				14	585	8,190	14	585	8,190			
		工事用道路		式							1		1,121,225	1	1,121,225	
		仮設資材搬入（土砂）		式							1	288,125	288,125	1	288,125	
		購入土（ほぐし）		m3							300	500	150,000	300	150,000	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							250	552.5	138,125	250	138,125	
		工事用道路盛土（盛土、標準外）		m3							210	535	112,383	210	112,383	
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3							210	230.7	48,447	210	48,447	
		再生クラッシャラン	40～0mm	m3							8	1,700	13,600	8	13,600	
		復興歩掛_整地	敷均し(ルーズ)	m3							8	146.9	1,175	8	1,175	
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3							210	234.1	49,161	210	49,161	
		土のう		袋							25	6,262	156,550	25	156,550	
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋							25	5,677	141,925	25	141,925	
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋							25	585	14,625	25	14,625	
		土砂等運搬		m3							230	2,452	564,167	230	564,167	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							230	652.9	150,167	230	150,167	
		投棄料	土砂	m3							230	1,800	414,000	230	414,000	

直接工事費						2,285,346			2,854,177			3,975,402		1,121,225	
処分費・投棄料等						75,000			0			0			
	共通仮設費率分					285,000			381,000			483,000		102,000	
共通仮設費計						285,000			381,000			483,000		102,000	
純工事費						2,570,346			3,235,177			4,458,402		1,223,225	
現場管理費						1,077,000			1,497,000			1,898,000		401,000	
工事原価						3,647,346			4,732,177			6,356,402		1,624,225	
	一般管理費率分					827,198			875,796			1,095,998		220,202	
	契約保証費					1,456			1,843			1,843			
一般管理費計						828,654			876,823			1,097,598		220,775	
工事価格						4,476,000			5,609,000			7,454,000		1,845,000	
工事価格計						4,476,000			5,308,000			6,695,000		1,387,000	落札率込
消費税相当額						358,080			503,800			669,500		165,700	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						4,834,000			5,541,800			7,364,500		1,822,700	
工事雑費						72,000			83,000			110,000		27,000	
工事費計						4,906,000			5,624,800			7,474,500		1,849,700	
国庫負担率				%										66.7	
国庫負担金返還額														1,215,740	

平成30年災　第4408号　二級河川藤井川水系藤井川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川藤井川水系藤井川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月15日から1月18日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額13,582,000円】

令和3年11月16日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、地元代表者の同意を得て市道の交通規制（通行止め）を行い、市道上での施工を想定していたことから、工事用道路工は計上していなかった。工事着手にあたり、再度地元代表者と市道の交通規制（通行止め）の調整を行ったが、同意を得ることができなかったため、河川内への進入のための工事用道路工を追加したい。」

との内容について、地権者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　16,945,000円】

（上記理由による増減額　＋2,361,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者からの工事打合せ簿により、道路上からの作業ではバックホウ（0.45m3）では掘削（床堀）範囲に届かず、より大きなバックホウでは道路面を傷つける恐れがあるため、河川内へ工事用道路（盛土）を設置することについて協議があり、令和３年３月29日付けで承諾の上、令和４年１月11日付けで変更契約を締結し、令和４年１月27日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元代表者の同意が得られなかったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

工事用道路の追加をしなければ工事ができなかったことは事実であるが、工事内容の変更が必要となった原因は、災害査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（11,326,700円）と、実際に施工された工事費（B）（13,489,300円）との差額を影響額とした。（工事費は精算

額ベースで整理した金額）

（B）　13,489,300　（円）－（A）　11,326,700　（円）＝　2,162,600　（円）

（内国費　1,442,454　（円））

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

災害年次	H30	工事番号	4408号	路線名	二級河川藤井川水系藤井川

内容
■設計変更協議時の変更理由
［地元調整の結果による工事用道路工の追加］地元代表者から工事に伴う交通規制（通行止め）の同意を得ることができないため，工事用道路工（盛土）を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（11,326,700円）と、実際に施工されたた工事費（B）（13,489,300円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	災害復旧			式	1		5,673,917	1		5,845,555	1		7,221,281		1,375,726	
	土工			式	1		623,486	1		529,973	1		529,973			
		掘削工		式	1		80,400	1		40,898	1		40,898			
		掘削		m3	80	1,005	80,400	110	371	40,898	110	371	40,898			
		復興歩掛_掘削	土砂オープンカット押土無し	m3	80	1,005	80,400	110	371.8	40,898	110	371.8	40,898			
		路体盛土工		式	1		92,020	1		49,800	1		49,800			
		路体(築堤)盛土		m3	20	4,601	92,020	10	4,980	49,800	10	4,980	49,800			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m未満	m3	20	4,601	92,020	10	4,980	49,800	10	4,980	49,800			
		法面整形工		式	1		54,976	1		63,855	1		63,855			
		法面整形(切土部)		m2	80	687	54,976	90	709	63,855	90	709	63,855			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2	80	687.2	54,976	90	709.5	63,855	90	709.5	63,855			
		残土処理工		式	1		396,090	1		375,420	1		375,420			
		土砂等運搬		m3	130	760	98,878	140	662	92,792	140	662	92,792			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	130	760.6	98,878	140	662.8	92,792	140	662.8	92,792			
		残土等処分		m3	20	760	15,212	140	1,800	252,000	140	1,800	252,000			
		投棄料	土砂	m3	20	760.6	15,212	140	1,800	252,000	140	1,800	252,000			
		土砂等運搬		m3	130	1,800	234,000	10	662	6,628	10	662	6,628			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	130	1,800	234,000	10	662.8	6,628	10	662.8	6,628			
		残土等処分		m3	20	2,400	48,000	10	2,400	24,000	10	2,400	24,000			
		発生土受入れ費	岩塊・玉石混じり土	m3	20	2,400	48,000	10	2,400	24,000	10	2,400	24,000			
	法覆護岸工			式	1		4,242,273	1		4,655,796	1		4,655,796			
		作業土工		式	1		146,190	1		150,630	1		150,630			
		床掘り		m3	60	1,733	103,980	60	1,787	107,220	60	1,787	107,220			
		床掘り	土砂上記以外(小規模)	m3	60	1,733	103,980	60	1,787	107,220	60	1,787	107,220			
		埋戻し		m3	30	1,407	42,210	30	1,447	43,410	30	1,447	43,410			
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3	30	1,407	42,210	30	1,447	43,410	30	1,447	43,410			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		4,096,083	1		4,505,166	1		4,505,166			
		大型ブロック積		m2	98	22,491	2,204,180	98	22,644	2,219,120	98	22,644	2,219,120			
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2	98	22,240	2,179,520	98	22,410	2,196,180	98	22,410	2,196,180			
		異形棒鋼<JISG3112>	SD345,D13	kg	90	74	6,660	80	69	5,520	80	69	5,520			
		異形棒鋼<JISG3112>	SD345,D16	kg	250	72	18,000	260	67	17,420	260	67	17,420			
		吸出し防止材(全面)設置		m2	98	764	74,950									
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2	98	764.8	74,950									
		胴込・裏込コンクリート		m3	8	20,350	162,800	10	23,990	239,900	10	23,990	239,900			
		胴込・裏込コンクリート	大型ブロック	m3	8	20,350	162,800	10	23,990	239,900	10	23,990	239,900			
		型枠工		m2	3	6,885	20,655	3	7,146	21,438	3	7,146	21,438			
		型枠	一般型枠	m2	3	6,885	20,655	3	7,146	21,438	3	7,146	21,438			
		中詰コンクリート		m3	35	19,790	692,650	43	23,430	1,007,490	43	23,430	1,007,490			
		中詰コンクリート	大型ブロック	m3	35	19,790	692,650	43	23,430	1,007,490	43	23,430	1,007,490			
		裏込材(砕石)		m3	50	3,659	182,950	52	3,729	193,908	52	3,729	193,908			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3	50	3,659	182,950	52	3,729	193,908	52	3,729	193,908			
		コンクリートブロック基礎		m	16	9,428	150,848	16	10,360	165,760	16	10,360	165,760			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m	16	9,428	150,848	16	10,360	165,760	16	10,360	165,760			
		天端コンクリート		m3	5	45,250	226,250	5	49,670	248,350	5	49,670	248,350			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3	5	45,250	226,250	5	49,670	248,350	5	49,670	248,350			
		小口止コンクリート		m3	5	76,160	380,800	5	81,840	409,200	5	81,840	409,200			
		小口止工	SECT0.0　SECT17.0	箇所	2	190,400	380,800	2	204,600	409,200	2	204,600	409,200			
	雑工			式	1		455,544	1		217,198	1		217,198			
		雑工		式	1		455,544	1		217,198	1		217,198			
		すりつけ工（間知ブロック）		m2	21	20,623	433,090	5	18,750	93,750	5	18,750	93,750			
		コンクリートブロック積工		m2	21	18,250	383,250	5	18,750	93,750	5	18,750	93,750			
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3	2	24,920	49,840									
		すりつけ工（張りコンクリート）		m3	0.7	32,077	22,454	1	28,804	28,804	1	28,804	28,804			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	0.7	26,560	18,592	0.8	30,330	24,264	0.8	30,330	24,264			
		裏込砕石	RC-40	m3	0.7	5,518	3,862	0.8	5,676	4,540	0.8	5,676	4,540			
		すりつけ工（コンクリート壁）		式				1	94,644	94,644	1	94,644	94,644			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				1	30,330	30,330	1	30,330	30,330			
		型枠	一般型枠	m2				9	7,146	64,314	9	7,146	64,314			
	構造物撤去工			式	1		85,252	1		94,832	1		94,832			
		構造物取壊し工		式	1		59,400	1		58,688	1		58,688			
		コンクリート構造物取壊し		m3	8	6,611	52,888	8	6,742	53,936	8	6,742	53,936			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	8	6,611	52,888	8	6,742	53,936	8	6,742	53,936			
		石積取壊し		m2	20	325	6,512	10	475	4,752	10	475	4,752			
		掘削	岩塊・玉石オープンカット押土無し	m3	20	325.6	6,512	10	475.2	4,752	10	475.2	4,752			
		運搬処理工		式	1		25,852	1		36,144	1		36,144			
		殻運搬		m3	8	2,044	16,352	8	1,193	9,544	8	1,193	9,544			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	8	2,044	16,352	8	1,193	9,544	8	1,193	9,544			
		殻処分		m3	8	1,187	9,500	8	3,325	26,600	8	3,325	26,600			
		コンクリート塊受入費	再生工場搬入	t	19	500	9,500	19	1,400	26,600	19	1,400	26,600			
	仮設工			式	1		267,362	1		347,756	1		1,723,482		1,375,726	
		沈砂池工		式	1		173,578	1		172,078	1		172,078			
		土のう		袋	36	4,821	173,578	36	4,779	172,078	36	4,779	172,078			
		大型土のう設置	作業半径6m以下	袋	36	1,189	42,804	36	1,231	44,316	36	1,231	44,316			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	50	567	28,350	50	585	29,250	50	585	29,250			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	40	760.6	30,424	40	662.8	26,512	40	662.8	26,512			
		投棄料	土砂	m3	40	1,800	72,000	40	1,800	72,000	40	1,800	72,000			
		水替工		式	1		93,784	1		175,678	1		175,678			
		ポンプ排水		日	3	31,261	93,784	12	14,639	175,678	12	14,639	175,678			
		ポンプ設置・撤去		箇所	1	67,180	67,180	1	70,090	70,090	1	70,090	70,090			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日	3	8,868	26,604	12	8,799	105,588	12	8,799	105,588			
		工事用道路		式							1		1,375,726	1	1,375,726	
		仮設資材搬入（土砂）		式							1	389,615	389,615	1	389,615	
		購入土（ほぐし）		m3							340	580	197,200	340	197,200	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							290	663.5	192,415	290	192,415	
		工事用道路盛土（盛土，標準外）		m3							240	554	133,106	240	133,106	
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3							240	232	55,680	240	55,680	
		再生クラッシャラン	40～0mm	m3							10	1,700	17,000	10	17,000	
		復興歩掛_整地	敷均し(ルーズ)	m3							10	147.6	1,476	10	1,476	
		復興歩掛_積込(ルーズ)	土砂	m3							250	235.8	58,950	250	58,950	
		土のう		袋							30	6,262	187,860	30	187,860	
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋							30	5,677	170,310	30	170,310	
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋							30	585	17,550	30	17,550	
		土砂等運搬		m3							270	2,463	665,145	270	665,145	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							270	663.5	179,145	270	179,145	
		投棄料	土砂	m3							270	1,800	486,000	270	486,000	

直接工事費						5,673,917			5,845,555			7,221,281		1,375,726	
処分費・投棄料等						363,500									
	共通仮設費率分					686,000			778,000			890,000		112,000	
共通仮設費計						686,000			778,000			890,000		112,000	
純工事費						6,359,917			6,623,555			8,111,281		1,487,726	
現場管理費						2,591,000			3,052,000			3,499,000		447,000	
工事原価						8,950,917			9,675,555			11,610,281		1,934,726	
	一般管理費率分					1,872,580			1,785,338			2,039,735		254,397	
	契約保証費					3,503			3,884			3,884			
一般管理費計						1,876,083			1,788,445			2,042,719		254,274	
工事価格						10,827,000			11,464,000			13,653,000		2,189,000	
工事価格計						10,827,000			10,297,000			12,263,000		1,966,000	落札率込
消費税相当額						866,160			1,029,700			1,226,300		196,600	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						11,693,000			11,326,700			13,489,300		2,162,600	
工事雑費						175,000			169,000			202,000		33,000	
応急工事費						1,714,000			1,714,000			1,714,000			
工事費計						13,582,000			13,209,700			15,405,300		2,195,600	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														1,442,454	

平成30年災　第4022号　その他河川大川（因島）　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、その他河川大川（因島）の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月21日から１月25日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額14,509,000円】

令和３年11月26日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、車道の片側交互通行規制を行わず、歩道部の立入禁止措置での施工を想定していたことから、交通誘導警備員及び工事用信号機は未計上であった。工事着手にあたり、警察に対し道路使用許可の申請をしたところ、国道３１７号線は交通量が多い路線であり、歩道上に重機等を設置し作業を行った際危険が伴うため、作業中は交通誘導警備員の配置をするとともに、夜間は工事用信号機の設置を行い事故防止に努めてもらいたいとの指摘があった。検討の結果、事故防止の安全対策を講ずるため、交通誘導警備員及び工事用信号機を追加したい。」

との内容について、警察との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　17,718,000円】

（上記理由による増減額　＋982,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、協議録作成者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者から工事打合せ簿により道路使用許可申請書の写しが提出され、令和3年4月23日付けで受理している。更に、受注者から工事打合せ簿により交通誘導警備員の配置について協議があり、設計（契約）変更の対象として令和3年7月26日付け及び令和4年2月21日付けで指示し、令和４年６月20日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、職員が警察と協議したこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないものの、受注者が道路使用許可を申請した際に交通誘導警備員の配置が条件となったことは事実である。このため、施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影

響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第1585号　一級河川江の川水系片野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川江の川水系片野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年11月5日から11月9日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものであり、現場はA箇所からJ箇所まで複数に分かれている。

【決定額44,857,000円】

令和3年2月25日付けの国との設計変更協議において、
I箇所とJ箇所の廃止理由について、「工事実施にあたり、被災箇所（I,J箇所）の近接地権者へ説明を行った際、ブロック積の復旧計画高さに対し同意が得られなかった。別箇所（A～H箇所）に関しては早期復旧を行う必要があるため、I,J箇所を取りやめ、別工事として発注する。」
との内容について、地権者との協議録を添付した上で申請し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　38,839,000円】
（上記理由による増減額　△6,620,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、当該箇所は市が管理する公共土木施設であり、災害査定後に、県では復旧できないことが判明したことから、県の災害復旧分を廃工とした。

管理区分を誤ったまま災害査定を受けて採択されていたため、当該箇所について廃工にする必要が生じ、事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないが、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止しており、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。
・災害復旧事業の査定申請時には、被災した公共土木施設の管理者や管理区分の確認を徹底するよう、改めて周知を図る。

令和２年災　第54号　一級河川太田川水系府中大川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、令和２年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一級河川太田川水系府中大川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、令和２年９月14日から９月18日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額18,286,000円】

令和３年３月３日付けの国との設計変更協議において、

「【令和２年８月27日】 ※応急本工事実施前

申請時は、補助工法無しで床掘を行い護岸を施工する計画として申請した。

【令和２年９月11日】 ※応急本工事実施時・災害査定前

掘削作業中に、護岸背後から湧水があることが判明した。当該箇所は、兼用護岸であり、このまま掘削作業を続けると、護岸背後の道路が崩壊し、全面通行止めとなるため、掘削作業を一時中断した。通行ルートの比較検討を行うにあたり、バス路線であったことから、バス会社に運行ルートの変更協議を行ったが拒否された。このため、現状の運行ルート（導線）に影響のない範囲での通行ルートの検討を行い、工法を比較検討した結果、最も安価となる工法を採用する。なお、当該道路（主要地方道広島中島線）は、交通量が多く（18,659台/24hr）、通行止めが困難であった。

【令和２年９月14日】 ※災害査定時

査定時に、現地で湧水発生状況を説明し、仮設工（土留・仮締切工）についての設計変更を行うことを条件に採択された。」

との内容について、バス会社との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　34,301,000円】

（上記理由による増減額　＋16,015,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、受注者から令和２年８月25日付け確認依頼書により「法覆護岸工の床堀において、高さ5.8m付近の砂地盤から湧水が発生して廻りの砂が流れ出し、掘削法面（砂質土）が崩壊し始めたので施工が不可能になりました。その対応策として、別紙添付の鋼矢板による土留工法（埋め殺し）にて施工したく確認をお願いします。」との内容が提出され、同日付けで「現地確認の結果、湧水が確認でき掘削地盤も悪いことからこれ以上掘削すると車道が崩壊する恐れがあるため、土留工法を行い施工すること。なお、設計変更

の対象とする。」との内容の確認結果通知書を通知し、令和２年 12 月 11 日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、全面通行止めが困難であるという説明を補強するため、事実でない協議書を添付していたものである。

（影響額の算定）

協議録は事実でないと判定したものの、湧水の発生は事実であり、交通量が多く、通行止めが困難であったため、仮設工（土留・仮締切工）の設置については、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第 20・２五一に定める「水勢又は地形の変動」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。
・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5057号　二級河川瀬野川水系瀬野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系瀬野の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月28日から２月１日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工及びコンクリートブロック張工で復旧するものである。

【決定額44,575,000円】

令和４年２月３日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は見通しも良く、交通誘導警備員の配置は不要であると考えていたが、工事着手にあたり地元関係者へ工事説明を行ったところ、工事用車両運行ルートは歩行者・自転車の通行が多いことや、通学路になっていることから、交通誘導警備員の配置要望があったため追加したい。」

との内容について、地元関係者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　66,139,000円】

（上記理由による増減額　＋2,303,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議記録の内容は事実であるが、協議日は事実でないと判定した。

実際には、受注者からも令和３年５月18日付けの工事打合せ簿により、工事に伴う交通規制に必要な交通誘導警備員の配置について協議があり、その内容について同日付で設計（契約）変更の対象とし承諾し、令和４年６月29日付けで完成している。

設計変更協議書に添付した協議録は、協議内容を思い起こして作成したことから、実際の協議日と整合が取れていないと考えられる。

（影響額の算定）

協議日は事実でないものの、協議内容は事実であり、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法事務取扱要綱第20・２五に定める「その他前各号に掲げるものに類する事由」に該当するため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

平成30年災　第5058号　二級河川瀬野川水系瀬野川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年７月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川瀬野川水系瀬野川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年１月28日から２月１日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック張工で復旧するものである。

【決定額（当初）　　107,221,000円】
【決定額（第１回変更後）160,904,000円】

令和４年２月３日付けの国との設計変更協議（第２回）において、
「当該工事は、国道２号から民有地を通行し、工事箇所へ進入する計画となっているが、進入口の前後が緩やかなカーブで見通しが良くないため、交通安全に配慮しなければならないと判断したことから、交通誘導警備員を追加したい。」
との内容について、地元との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　172,707,000円】
（上記理由による増減額　＋11,267,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、協議録関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の内容は事実でないと判定した。

実際には、工事発注段階で交通誘導警備員を計上し、令和元年８月８日に当初契約を締結し、令和４年３月16日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、地元からの要望であったこととする事実でない協議録を添付していたものである。

（影響額の算定）

交通誘導警備員を配置して工事を実施したのは事実であるものの、配置が必要となった原因は査定申請時の精査不足であり、査定後の状況変化は認められなかった。このため、設計変更は認められないものと判断し、事実でない設計変更協議に伴う影響額の算定にあたっては、正しく措置された場合の工事費（A）（170,296,500円）と、実際に施工された工事費（B）（173,638,300円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）173,638,300（円）－（A）170,296,500（円）＝　3,341,800（円）
（内国費　2,228,980（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	5058号	路線名	二級河川瀬野川水系瀬野川

内容
■設計変更協議時の変更理由
「交通誘導警備員の追加に係る変更」 地権者との協議の結果、交通誘導警備員を追加したい
■影響額の考え方
正しく措置された場合の工事費（A）（170,296,500円）と、実際に施工された工事費（B）（173,638,300円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B) － (A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		51,009,541	1		97,493,795	1		99,438,595		1,944,800	
	河川土工			式				1		133,542	1		133,542			
		掘削工		式				1		133,542	1		133,542			
		掘削		m3				490	273	133,542	490	273.0	133,542			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				490	273.0	133,542	490	273.0	133,542			
	法覆護岸工			式	1		24,071,915	1		36,847,563	1		36,847,563			
		作業土工		式				1		1,686,359	1		1,686,359			
		床掘り		m3				900	268	241,320	900	268	241,320			
		床掘り	土砂標準	m3				900	268.0	241,320	900	268.0	241,320			
		埋戻し		m3				180	207	37,183	180	207	37,183			
		積込(ルーズ)	土砂	m3				180	207.0	37,183	180	207.0	37,183			
		基面整正		m2				1,278	363	463,740	1,278	363	463,740			
		基面整正		m2				1,278	363	463,740	1,278	363	463,740			
		法面整形(切土部)		m2				1,350	699	944,116	1,350	699	944,116			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				1,350	699.0	944,116	1,350	699.0	944,116			
		コンクリートブロック張工		式	1		22,366,553	1		24,388,542	1		24,388,542			
		コンクリートブロック張		m2	1,133	19,741	22,366,553	1,066	22,879	24,388,542	1,066	22,879	24,388,542			
		コンクリートブロック張	河川(基礎・張込材料:張コン無)(1:0~1:1.5 (総合単価)	m2	1,133	19,741	22,366,553									
		大型ブロック張	150kg/個以上(各種)m2	m2				1,066	19,917	21,231,070	1,066	19,917	21,231,070			
		胴込材(栗石)	大型ブロック	m3				376	6,287	2,363,846	376	6,287	2,363,846			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				1,073	740.0	793,626	1,073	740.0	793,626			
		天端コンクリート工		式				1		4,268,250	1		4,268,250			
		天端コンクリート		m3				91	46,904	4,268,250	91	46,904	4,268,250			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				91	46,904	4,268,250	91	46,904	4,268,250			
		コンクリートブロック基礎工		式				1		3,390,210	1		3,390,210			
		コンクリートブロック基礎		m3				57	59,477	3,390,210	57	59,477	3,390,210			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				57	59,477	3,390,210	57	59,477	3,390,210			
		すりつけ工		式	1		724,302	1		672,704	1		672,704			
		石張		m2	54	13,413	724,302	66	10,192	672,704	66	10,192	672,704			
		石張	練張(岩着) (総合単価)	m2	54	13,413	724,302									
		石積(張)	張工	m2				66	7,015	462,984	66	7,015	462,984			
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				8	26,215	209,720	8	26,215	209,720			
		小口止工		式	1		385,860	1		1,749,969	1		1,749,969			
		小口止コンクリート		式	1	385,860	385,860	1	1,749,969	1,749,969	1	1,749,969	1,749,969			
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満 (総合単価)	m3	2	46,650	93,300									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m (総合単価)	m3	8	36,570	292,560									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				8	27,763	222,100	8	27,763	222,100			
		型枠	一般型枠	m2				60	6,754	405,264	60	6,754	405,264			
		化粧型枠	化粧型枠	m2				4.9	8,654	42,405	4.9	8,654	42,405			
		化粧型枠材料費		m2				4.9	2,000	9,800	4.9	2,000	9,800			
		小口止め設置 (プレキャスト)		個				48	22,300	1,070,400	48	22,300	1,070,400			
		間切工		式	1		595,200	1		691,529	1		691,529			
		間切工		式	1	595,200	595,200	1	691,529	691,529	1	691,529	691,529			
		コンクリート擁壁	H=3.0m未満 (総合単価)	m3	1	46,650	46,650									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m (総合単価)	m3	15	36,570	548,550									
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3				8	27,320	218,560	8	27,320	218,560			
		型枠	一般型枠	m2				56	7,005	392,280	56	7,005	392,280			
		化粧型枠	化粧型枠	m2				7	9,527	66,689	7	9,527	66,689			
		化粧型枠材料費		m2				7	2,000	14,000	7	2,000	14,000			
	根固めの工			式	1		14,415,856	1		19,814,282	1		19,814,282			
		根固めブロック工		式	1		13,179,843	1		18,519,183	1		18,519,183			
		根固めブロック据付		個	873	15,097	13,179,843	822	22,529	18,519,183	822	22,529	18,519,183			
		標準平型ブロック製作・据付	層積0.5t (総合単価)	個	585	12,299	7,194,915									
		標準平型ブロック製作・据付	層積1.0t (総合単価)	個	288	20,781	5,984,928									
		根固めブロック	0.5ｔ　1000×1000×300	個				531	12,000	6,372,000	531	12,000	6,372,000			
		根固めブロック	1.0ｔ	個				291	27,000	7,857,000	291	27,000	7,857,000			
		消波根固めブロック横取り	2.5t以下	個				822	1,283	1,054,641	822	1,283	1,054,641			
		消波根固めブロック据付け	2.5t以下据付場所陸上層積	個				822	3,936	3,235,542	822	3,936	3,235,542			
		間詰工		式	1		1,236,013	1		1,295,099	1		1,295,099			
		間詰コンクリート		m3	29	21,700	629,300	25	25,957	648,930	25	25,957	648,930			
		コンクリート	無筋・鉄筋構造物18-8-40BB	m3	29	21,700	629,300	25	25,957	648,930	25	25,957	648,930			
		吸出し防止材		m2	890	681	606,713	941	687	646,169	941	687	646,169			
		吸出し防止材設置	全面	m2	890	681.7	606,713	941	687.0	646,169	941	687.0	646,169			
	構造物撤去工			式				1		924,819	1		924,819			
		構造物取壊し工		式				1		545,697	1		545,697			
		構造物撤去工		m3				81	6,737	545,697	81	6,737	545,697			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3				81	6,737	545,697	81	6,737	545,697			
		運搬処理工		式				1		379,122	1		379,122			
		殻運搬		m3				81	1,162	94,122	81	1,162	94,122			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3				81	1,162	94,122	81	1,162	94,122			
		殻処分		m3				81	3,519	285,000	81	3,519	285,000			
		Co殻処分費		t				190	1,500	285,000	190	1,500	285,000			
	仮設工			式	1		12,521,770	1		39,773,589	1		41,718,389		1,944,800	
		土留・仮締切工		式	1		1,292,213	1		563,843	1		563,843			
		土のう		袋	197	6,559	1,292,213	117	4,819	563,843	117	4,819	563,843			
		大型土のう	(総合単価)	袋	197	4,529	892,213									
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3	200	2,000	400,000									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				85	5,624	478,040	85	5,624	478,040			
		大型土のう設置	作業半径6m以下	袋				32	577	18,464	32	577	18,464			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				117	576	67,339	117	576	67,339			
		水替工		式	1		737,472	1		852,104	1		852,104			
		ポンプ排水		式	1	737,472	737,472	1	852,104	852,104	1	852,104	852,104			
		締切排水工	(総合単価)	箇所	4	184,368	737,472									
		ポンプ設置・撤去		箇所				4	69,210	276,840	4	69,210	276,840			
		ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				67	8,586	575,264	67	8,586	575,264			
		工事用道路工		式	1		7,357,275	1		13,503,187	1		13,503,187			
		工事用道路盛土		m3	1,100	6,317	6,949,040	3,230	3,406	11,001,255	3,230	3,406	11,001,255			
		工事用道路	W=4.0m (総合単価)	m	468	8,313	3,890,484									
		購入土盛土	購入土 (総合単価)	m3	1,100	2,517	2,768,700									
		路体(築堤)盛土	施工幅員2.5m以上4.0m未満	m3				1,500	640.0	959,550	1,500	640.0	959,550			
		復興歩掛_路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上	m3				1,700	228.0	387,770	1,700	228.0	387,770			
		購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				4,430	2,000	8,860,000	4,430	2,000	8,860,000			
		大型土のう	(総合単価)	袋	64	4,529	289,856									
		大型土のう製作・設置(BH設置)		袋				43	5,624	241,832	43	5,624	241,832			
		大型土のう設置	作業半径6m以下	袋				457	577	263,689	457	577	263,689			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				500	577	288,414	500	577	288,414			
		敷砂利		m2	25	5,303	132,575	1,626	536	872,096	1,626	536	872,096			
		敷砂利	再生砕石を使用する	m3	25	5,303	132,575	162	5,383	872,096	162	5,383	872,096			
		工事用道路撤去		m3	1,100	250	275,660	3,800	309	1,174,820	3,800	309	1,174,820			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3	1,100	250.6	275,660	3,800	309.0	1,174,820	3,800	309.0	1,174,820			
		大型土のう撤去		袋				208	2,188	455,016	208	2,188	455,016			
		大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋				208	577	120,016	208	577	120,016			
		大型土のう袋運搬	運搬距離L=34km	式				1	35,000	35,000	1	35,000	35,000			
		処分費 (大型土のう袋)	廃プラスチック類	m3				20	15,000	300,000	20	15,000	300,000			
		残土処理工		式	1		3,134,810	1		24,183,980	1		24,183,980			
		土砂等運搬		m3	1,330	1,067	1,405,810	5,660	1,714	9,703,980	5,660	1,714	9,703,980			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,330	1,057	1,405,810	5,660	1,714	9,703,980	5,660	1,714	9,703,980			
		残土等処分		m3	1,330	1,300	1,729,000	5,660	2,558	14,480,000	5,660	2,558	14,480,000			
		残土処分費	土砂	m3	1,330	1,300	1,729,000	5,660	2,558	14,480,000	5,660	2,558	14,480,000			
		交通管理工		式							1		1,944,800	1	1,944,800	
		交通誘導警備員		人							136	14,300	1,944,800	136	1,944,800	
		交通誘導警備員A		人							136	14,300	1,944,800	136	1,944,800	
		応急復旧工		式				1		670,475	1		670,475			
		袋詰玉石		式				1	30,475	30,475	1	30,475	30,475			
		袋詰玉石撤去		袋				53	575	30,475	53	575	30,475			
		廃プラ処分		式				1	640,000	640,000	1	640,000	640,000			
		収集運搬		m3				40	5,500	220,000	40	5,500	220,000			
		廃プラスチック類		m3				40	10,500	420,000	40	10,500	420,000			
直接工事費							51,009,541			97,493,795			99,438,595		1,944,800	
処分費・投棄料等							1,729,000			15,485,000			15,485,000			
共通仮設費率分							5,101,000			9,151,000			9,332,000		181,000	
共通仮設費計							5,101,000			9,151,000			9,332,000		181,000	
純工事費							56,110,541			106,644,795			108,770,595		2,125,800	
現場管理費							16,672,000			30,301,000			30,883,000		582,000	
工事原価							72,782,541			136,945,795			139,653,595		2,707,800	
一般管理費率分							11,859,426			18,385,753			18,717,661		331,908	
契約保証費							29,033			48,977			48,977			
一般管理費計							11,888,459			18,434,205			18,765,405		331,200	
工事価格							84,671,000			155,380,000			158,419,000		3,039,000	
落札率				%												
工事価格計							84,671,000			154,815,000			157,853,000		3,038,000	落札率込
消費税相当額							6,773,680			15,481,500			15,785,300		303,800	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							91,444,000			170,296,500			173,638,300		3,341,800	
工事雑費							1,371,000			2,791,000			2,841,000		50,000	
応急工事費							14,406,000			15,927,840			15,927,840			
工事費計							107,221,000			189,015,340			192,407,140		3,391,800	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															2,228,980	

平成30年災　第563号　二級河川野呂川水系野呂川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川野呂川水系野呂川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成30年10月1日から10月5日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸のコンクリートブロック積工で復旧するものである。

【決定額82,145,000円】

令和2年3月5日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、運搬費と受入費の合計金額が最安値となる処分場を見込んでいたが、処分場の受け入れる余裕地がなくなったことにより、残土受入を拒否されたため見込んでいた処分場へ搬出が困難となった。そのため、受入可能かつ残土処分費に係る単価が最安値となる処分先に変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　94,076,000円】

（上記理由による増減額　＋7,334,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約をし、令和元年12月25日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、正しく措置された場合の工事費（A）（116,771,000円）と実際に施工された工事費（B）（119,499,000円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）119,499,000（円）－（A）116,771,000（円）＝2,728,000（円）

（内国費　1,819,576（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

広島県

災害年次	H30	工事番号	563号	路線名	二級河川野呂川水系野呂川

内容

■設計変更協議時の変更理由
査定決定時は運搬距離、受入費の合計値が最安値となる処分場を見込んでいたが、受け入れる余裕地がなくなったため、処分先を変更することに伴い、運搬距離及び受入費を変更する
■影響額の考え方
設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、正しく措置された場合の工事費（A）（116,771,000円）と実際に施工された工事費（B）（119,499,000円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）（B）－（A）		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	築堤・護岸			式	1		46,801,612	1		72,757,434	1		74,441,479		1,684,045	
	河川土工			式	1		5,539,050	1		17,053,840	1		18,283,170		1,229,330	
		掘削工		式				1		607,440	1		607,440			
		掘削		m3				2,400	253	607,440	2,400	253	607,440			
		掘削	土砂オープンカット押土無し	m3				2,400	253.1	607,440	2,400	253.1	607,440			
		盛土工		式				1		468,410	1		468,410			
		盛土		m3				310	1,511	468,410	310	1,511	468,410			
		埋戻し		m3				310	1,511	468,410	310	1,511	468,410			
		法面整形工		式				1		34,360	1		34,360			
		法面整形(切土部)		m2				50	687	34,360	50	687	34,360			
		法面整形	切土部現場制約無し	m2				50	687.2	34,360	50	687.2	34,360			
		残土処理工		式	1		5,539,050	1		15,943,630	1		17,172,960		1,229,330	
		土砂等運搬		m3	1,650	3,357	5,539,050	2,690	5,927	15,943,630	2,690	6,384	17,172,960		1,229,330	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,650	1,357	2,239,050				2,690	2,384	6,412,960	2,690	6,412,960	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				2,690	1,927	5,183,630				▲ 2,690	▲ 5,183,630	
		受入費	礫質土	m3	1,650	2,000	3,300,000	2,690	4,000	10,760,000	2,690	4,000	10,760,000			
	護岸基礎工			式				1		246,695	1		246,695			
		作業土工		式				1		246,695	1		246,695			
		床掘り		m3				730	271	198,049	730	271	198,049			
		床掘り	土砂標準	m3				730	271.3	198,049	730	271.3	198,049			
		埋戻し		m3				110	190	20,966	110	190	20,966			
		積込(ルーズ)	土砂	m3				110	190.6	20,966	110	190.6	20,966			
		基面整正		m2				80	346	27,680	80	346	27,680			
		基面整正		m2				80	346	27,680	80	346	27,680			
	法覆護岸工			式	1		38,181,082	1		46,191,305	1		46,191,305			
		Coブロック工(Coブロック積)		式	1		13,236,104	1		15,015,231	1		15,015,231			
		コンクリートブロック基礎		m				69	13,298	917,600	69	13,298	917,600			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				16	57,350	917,600	16	57,350	917,600			
		大型ブロック積		m2	497	26,632	13,236,104	491	24,743	12,149,263	491	24,743	12,149,263			
		コンクリートブロック積	河川用（基礎・裏込材有・裏コン有）1:0.3～1:0.9	m2	497	26,632	13,236,104									
		大型ブロック積	水抜きパイプ無し	m2				491	22,240	10,919,840	491	22,240	10,919,840			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				221	5,563	1,229,423	221	5,563	1,229,423			
		胴込・裏込材(砕石)		m3				316	3,547	1,120,852	316	3,547	1,120,852			
		胴込・裏込材(砕石)	大型ブロック	m3				316	3,547	1,120,852	316	3,547	1,120,852			
		吸出し防止材(全面)設置		m2				491	764	375,516	491	764	375,516			
		吸出し防止材(全面)設置	合繊不織布t=10mm9.8kN/m	m2				491	764.8	375,516	491	764.8	375,516			
		天端コンクリート		m3				10	45,200	452,000	10	45,200	452,000			
		天端コンクリート	18-8-40BB	m3				10	45,200	452,000	10	45,200	452,000			
		石積(張)工		式	1		926,884	1		848,995	1		848,995			
		石積(張)基礎		m				9	5,097	45,880	9	5,097	45,880			
		現場打基礎コンクリート	18-8-40BB	m3				0.8	57,350	45,880	0.8	57,350	45,880			
		石積		m2	49	18,916	926,884	49	13,373	655,315	49	13,373	655,315			
		石積	練積（基礎・裏込材有・裏コン無）1:0.3～1:0.9	m2	49	18,916	926,884									
		石積(張)	積工	m2				49	9,315	456,435	49	9,315	456,435			
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				8	24,860	198,880	8	24,860	198,880			
		裏込材		m3				25	5,912	147,800	25	5,912	147,800			
		裏込材(クラッシャラン)	積工	m3				25	5,912	147,800	25	5,912	147,800			
		小口止工・間切工		式	1		336,315	1		1,431,328	1		1,431,328			
		コンクリート		m3	9	37,368	336,315	19	75,333	1,431,328	19	75,333	1,431,328			
		もたれ擁壁	H=5.0～8.0m	m3	6	37,925	227,550									
		コンクリート擁壁	H=3.0～5.0m	m3	3	36,255	108,765									
		コンクリート	小型構造物18-8-40BB	m3				19	27,040	513,760	19	27,040	513,760			
		型枠	一般型枠	m2				124	6,219	771,156	124	6,219	771,156			
		型枠	化粧型枠	m2				14	8,458	118,412	14	8,458	118,412			
		化粧型枠	モールドスター	m2				14	2,000	28,000	14	2,000	28,000			
		根固めブロック工		式	1		21,377,661	1		23,273,135	1		23,273,135			
		根固めブロック製作		個	533	35,938	19,154,720	537	35,974	19,318,120	537	35,974	19,318,120			
		消波根固めブロック製作	2.5t以下	個	163	17,720	2,888,360	164	17,720	2,906,080	164	17,720	2,906,080			
		消波根固めブロック製作	2.5tを超え5.5t以下	個	258	40,140	10,356,120	259	40,140	10,396,260	259	40,140	10,396,260			
		消波根固めブロック製作	2.5tを超え5.5t以下	個	112	52,770	5,910,240	114	52,770	6,015,780	114	52,770	6,015,780			
		根固めブロック据付		個	533	3,796	2,023,503	537	6,191	3,324,660	537	6,191	3,324,660			
		消波根固めブロック横取り	2.5t以下	個	163	1,227	200,001	164	1,227	201,228	164	1,227	201,228			
		消波根固めブロック横取り	2.5tを超え5.5t以下	個	370	1,295	479,150	373	1,295	483,035	373	1,295	483,035			
		消波根固めブロック据付け	2.5t以下据付場所陸上層積	個	163	2,264	369,032	164	2,894	474,616	164	2,894	474,616			
		消波根固めブロック据付け	2.5tを超え5.5t以下据付場所陸上層積	個	370	2,636	975,320	373	3,266	1,218,218	373	3,266	1,218,218			
		吸出し防止材設置	全面	m2				1,390	681.7	947,563	1,390	681.7	947,563			
		間詰材		m3	58	3,439	199,438	138	4,567	630,355	138	4,567	630,355			
		積込(ルーズ)	土砂	m3	58	188.6	10,938	138	190.6	26,302	138	190.6	26,302			
		間詰材投入	最大作業半径9m以下	m3				138	977.2	134,853	138	977.2	134,853			
		割ぐり石	150～50mm	m3	58	3,250	188,500	138	3,400	469,200	138	3,400	469,200			
		すりつけ工		式	1		855,589	1		655,315	1		655,315			
		石積		m2	49	17,461	855,589	49	13,373	655,315	49	13,373	655,315			
		石積	練積（岩着・裏込材有・裏コン無）1:0.3～1:0.9	m2	49	17,461	855,589									
		石積(張)	積工	m2				49	9,315	456,435	49	9,315	456,435			
		胴込・裏込コンクリート	積工	m3				8	24,860	198,880	8	24,860	198,880			
		構造物取壊し工		式	1		206,154	1		3,345,287	1		3,345,287			
		石積・根固・コンクリート取壊し		m3	17	12,127	206,154	283	11,618	3,288,129	283	11,618	3,288,129			
		掘削	岩塊・玉石オープンカット押土無し	m3				25	325.6	8,140	25	325.6	8,140			
		構造物とりこわし工(無筋構造物)		m3	17	6,598	112,166	259	6,611	1,712,249	259	6,611	1,712,249			
		殻運搬	Co(無筋・鉄筋)構造物とりこわし機械積込	m3	17	1,764	29,988	283	1,780	503,740	283	1,780	503,740			
		受入費	コンクリート殻	t	40	1,600	64,000	665	1,600	1,064,000	665	1,600	1,064,000			
		舗装版破砕		m2				129	443	57,158	129	443	57,158			
		舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2				129	112.9	14,564	129	112.9	14,564			
		殻運搬	舗装版破砕機械積込(騒音対策不要,舗装版	m3				6	3,099	18,594	6	3,099	18,594			
		受入費	アスファルト殻	t				15	1,600	24,000	15	1,600	24,000			
		復旧工		式	1		1,242,375	1		1,622,014	1		1,622,014			
		アスファルト舗装工		m2	54	2,447	132,111	129	2,810	362,606	129	2,810	362,606			
		下層路盤(歩道部)	全仕上り厚100mm1層施工	m2	54	196.5	10,611	129	680.9	87,836	129	680.9	87,836			
		表層(歩道部)	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)	m2	54	2,250	121,500	129	2,130	274,770	129	2,130	274,770			
		ガードレール		m	58	19,142	1,110,264	73	17,252	1,259,408	73	17,252	1,259,408			
		プレキャスト擁壁設置	基礎砕石有り均しCo有り	m	30	20,502	615,060	30	20,150	604,500	30	20,150	604,500			
		防護柵設置工(Gr)コンクリート建込	-塗装品_Gr-C-2B	m	30	8,532	255,960	31	8,532	264,492	31	8,532	264,492			
		防護柵設置工(Gr)土中建込	-塗装品_Gr-C-4E	m	28	7,488	209,664	42	7,488	314,496	42	7,488	314,496			
		防護柵設置工(Gr)防護柵撤去	土中建込	m	58	510	29,580	73	1,040	75,920	73	1,040	75,920			

	仮設工		式	1		3,081,480	1		9,265,594	1		9,720,309		454,715	
	工事用道路工		式	1		136,584	1		6,346,405	1		6,693,725		347,320	
	敷鉄板		m2	126	1,084	136,584	126	14,618	1,841,885	126	14,618	1,841,885			
	工事用道路	W=3.0m (敷鉄板, t=22cm)	m	42	3,252	136,584									
	敷鉄板設置・撤去		m2				126	209	26,334	126	209	26,334			
	敷鉄板賃料	22×1524×3048,802kg/枚	枚				27	1,870	50,490	27	1,870	50,490			
	購入土砂(ほぐし)	設計CBR20以上	m3				620	1,600	992,000	620	1,600	992,000			
	路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上敷均し+締固め	m3				620	157.4	97,588	620	157.4	97,588			
	再生クラッシャラン	40～0mm	m3				135	1,600	216,000	135	1,600	216,000			
	整地	敷均し(ルーズ)	m3				130	117	15,210	130	117	15,210			
	土砂等運搬(場内運搬)	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				610	380.3	231,983	610	380.3	231,983			
	積込(ルーズ)	土砂	m3				610	190.6	116,266	610	190.6	116,266			
	路体(築堤)盛土	施工幅員4.0m以上敷均し+締固め	m3				610	157.4	96,014	610	157.4	96,014			
	残土処理		m3				760	5,927	4,504,520	760	6,384	4,851,840		347,320	
	残土運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							760	2,384	1,811,840	760	1,811,840	
	残土運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				760	1,927	1,464,520				▲ 760	▲ 1,464,520	
	受入費	礫質土	m3				760	4,000	3,040,000	760	4,000	3,040,000			
	土留・仮締切工		式	1		1,864,984	1		2,050,616	1		2,142,016		91,400	
	土のう		袋	202	5,876	1,186,870	202	4,283	865,216	202	4,283	865,216			
	大型土のう製作・設置(BH設置)	流用土	袋	178	5,839	1,039,342	178	4,057	722,146	178	4,057	722,146			
	大型土のう設置	作業半径6m以下	袋	24	1,198	28,752	24	1,189	28,536	24	1,189	28,536			
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	202	588	118,776	202	567	114,534	202	567	114,534			
	土砂等運搬		m3	202	3,357	678,114	200	5,927	1,185,400	200	6,384	1,276,800		91,400	
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	202	1,357	274,114				200	2,384	476,800	200	476,800	
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				200	1,927	385,400				▲ 200	▲ 385,400	
	受入費	礫質土	m3	202	2,000	404,000	200	4,000	800,000	200	4,000	800,000			
	沈砂池工		式	1		342,440	1		369,285	1		385,280		15,995	
	土のう		袋	35	6,427	224,945	35	4,624	161,840	35	4,624	161,840			
	大型土のう製作・設置(BH設置)		袋	35	5,839	204,365	35	4,057	141,995	35	4,057	141,995			
	大型土のう撤去	作業半径6m以下	袋	35	588	20,580	35	567	19,845	35	567	19,845			
	土砂等運搬		m3	35	3,357	117,495	35	5,927	207,445	35	6,384	223,440		15,995	
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	35	1,357	47,495				35	2,384	83,440	35	83,440	
	土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				35	1,927	67,445				▲ 35	▲ 67,445	
	受入費	礫質土	m3	35	2,000	70,000	35	4,000	140,000	35	4,000	140,000			
	水替工		式	1		737,472	1		499,288	1		499,288			
	ポンプ排水		日	1	737,472	737,472	26	19,203	499,288	26	19,203	499,288			
	締切排水工		箇所	4	184,368	737,472									
	ポンプ設置・撤去		箇所				4	67,180	268,720	4	67,180	268,720			
	ポンプ運転	排水量0以上40未満(m3/h)	日				26	8,868	230,568	26	8,868	230,568			
直接工事費						46,801,612			72,757,434			74,441,479		1,684,045	
処分費・投棄料等									15,828,000			15,828,000			
	運搬費								171,430			171,430			
	運搬費		式	1		171,430	1		171,430	1		171,430			
	運搬費		式	1		171,430	1		171,430	1		171,430			
	仮設材運搬費		t	21.7	7,900	171,430	21.7	7,900	171,430	21.7	7,900	171,430			
	仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬	運搬距離21.5km	式	1	171,430	171,430	1	171,430	171,430	1	171,430	171,430			
	共通仮設費率分					3,811,000			4,811,000			4,922,000		111,000	
共通仮設費計						3,982,430			4,982,430			5,093,430		111,000	
純工事費						50,784,042			77,739,864			79,534,909		1,795,045	
現場管理費						13,513,000			16,882,000			17,263,000		381,000	
工事原価						64,297,042			94,621,864			96,797,909		2,176,045	
	一般管理費率分					10,343,213			13,020,941			13,328,896		307,955	
	契約保証費					24,745			25,195			25,195			
一般管理費計						10,367,958			13,046,136			13,354,091		307,955	
工事価格						74,665,000			107,668,000			110,152,000		2,484,000	
工事価格計						74,665,000			107,490,000			109,970,000		2,480,000	落札率込
消費税相当額						5,973,200			9,281,000			9,529,000		248,000	
合併施工に伴う減額															
本工事費計						80,638,000			116,771,000			119,499,000		2,728,000	
工事雑費						1,209,000			1,751,000			1,792,000		41,000	
応急工事費						298,000			298,000			298,000			
工事費計						82,145,000			118,820,000			121,589,000		2,769,000	
国庫負担率			%											66.7	
国庫負担金返還額														1,819,576	

平成30年災　第5117号　二級河川野呂川水系野呂川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川野呂川水系野呂川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、埋塞した河川の土砂を撤去するものである。

【決定額21,652,000円】

令和2年3月5日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいたが、処分場の受け入れる余裕地がなくなったことにより、残土受入を拒否されたため見込んでいた処分場へ搬出が困難となった。そのため、受入可能かつ残土処分費に係る単価が最安値となる処分先に変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　27,745,000円】

（上記理由による増減額　＋6,093,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約を締結し、令和元年10月24日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、正しく措置された場合の工事費（A）（20,766,460円）と実際に施工された工事費（B）（21,333,000円）との差額を影響額とした。（工事費は精算額ベースで整理した金額）

（B）21,333,000（円）－（A）20,766,460（円）＝566,540（円）

（内国費　377,882（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

災害年次	H30	工事番号	5117号	路線名	二級河川野呂川水系野呂川

内容
■設計変更協議時の変更理由
査定決定時は運搬距離、受入費の合計値が最安値となる処分場を見込んでいたが、受け入れる余裕地がなくなったため、処分先を変更することに伴い、運搬距離及び受入費を変更する
■影響額の考え方
設計変更協議時に選定した受入地に変更があったため、最も経済的な残土処分単価での工事費（A）（20,766,460円）と事実でない聞取表をもとに設計変更した工事費（B）（21,333,000円）との差額を影響額とした

レベル1
レベル2
レベル3
レベル4

費目	工種	種別	細別	単位	査定決定			(A)			(B)			影響額（返還対象額）(B) － (A)		備考
					数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
本工事費																
	河川維持			式	1		13,622,580	1		12,428,052	1		12,639,588		211,536	
	河川土工			式	1		13,622,580									
		掘削工		式	1		4,085,280									
		掘削		m3	2,000	2,043	4,085,280									
		掘削	岩塊・玉石 オープンカット 押土無し	m3	2,000	521	1,041,600									
		土砂等運搬	小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	2,040	1,492	3,043,680									
		残土処理工		式	1		9,537,300									
		整地		m3	2,000	99	197,180									
		整地	残土受入れ地での処理	m3	2,000	99	197,180									
		土砂等運搬		m3	2,000	1,610	3,220,120									
		積込(ルーズ)	岩塊・玉石	m3	2,000	225	449,800									
		土砂等運搬	標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	2,040	1,358	2,770,320									
		残土等処分		m3	2,040	3,000	6,120,000									
		処分費	岩塊・玉石混り土	m3	2,040	3,000	6,120,000									
	応急処理工			式				1		12,428,052	1		12,639,588		211,536	
		応急処理作業工		式				1		12,428,052	1		12,639,588		211,536	
		応急作業		式				1	9,268,366	9,268,366	1	9,268,366	9,268,366			
		土木一般世話役		人				26	19,400	504,400	26	19,400	504,400			
		普通作業員		人				3	17,300	51,900	3	17,300	51,900			
		運転手(特殊)		人				101	19,500	1,969,500	101	19,500	1,969,500			
		運転手(一般)		人				73	16,400	1,197,200	73	16,400	1,197,200			
		バックホウ運転	標準型・排2	時間				85	2,858	242,930	85	2,858	242,930			
		バックホウ運転	標準型・排2	時間				364	3,956	1,439,984	364	3,956	1,439,984			
		バックホウ運転	標準型・排2	時間				358	6,773	2,424,734	358	6,773	2,424,734			
		散水車運転	トラック架装型	時間				126	2,672	336,672	126	2,672	336,672			
		ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル	時間				136	1,532	208,352	136	1,532	208,352			
		ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル	時間				238	1,775	422,450	238	1,775	422,450			
		ダンプトラック運転	オンロード・ディーゼル	時間				191	2,316	442,356	191	2,316	442,356			
		単粒度砕石4号	30～20mm	m3				5	3,300	16,500	5	3,300	16,500			
		(賃料)鋼板	22×1524×3048,802kg/枚	枚・日				292	39	11,388	292	39	11,388			
		残土処理		m3				468	6,134	2,871,086	468	6,586	3,082,622		211,536	
		積込(ルーズ)	岩塊・玉石	m3				468	224.8	105,206	468	224.8	105,206			
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3							468	2,362	1,105,416	468	1,105,416	
		土砂等運搬	標準土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3				468	1,910	893,880				▲ 468	▲ 893,880	
		受入費	岩塊・玉石混じり土	m3				468	4,000	1,872,000	468	4,000	1,872,000			
		交通誘導警備員		人				26	11,100	288,600	26	11,100	288,600			
		交通誘導警備員B		人				26	11,100	288,600	26	11,100	288,600			
直接工事費							13,622,580			12,428,052			12,639,588		211,536	
処分費・投棄料等										1,872,000			1,872,000			
	技術管理費									442,208			442,208			
	共通仮設費率分						646,000			740,000			753,000		13,000	
共通仮設費計							646,000			1,182,208			1,195,208		13,000	
純工事費							14,268,580			13,610,260			13,834,796		224,536	
現場管理費							3,072,000			3,315,000			3,373,000		58,000	
工事原価							17,340,580			16,925,260			17,207,796		282,536	
	一般管理費率分						2,407,769			2,202,740			2,239,204		36,464	
	契約保証費						4,651									
一般管理費計							2,412,420			2,202,740			2,239,204		36,464	
工事価格							19,753,000			19,128,000			19,447,000		319,000	
工事価格計							19,753,000			19,119,000			19,438,000		319,000	落札率込
消費税相当額							1,580,240			1,647,460			1,895,000		247,540	
合併施工に伴う減額																
本工事費計							21,333,000			20,766,460			21,333,000		566,540	
工事雑費							319,000			311,000			319,000		8,000	
工事費計							21,652,000			21,077,460			21,652,000		574,540	
国庫負担率				%											66.7	
国庫負担金返還額															377,882	

平成30年災　第5143号　一般県道広仁方停車場線　道路災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、一般県道広仁方停車場線の道路災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した道路法面をコンクリート吹付等で復旧するものである。

【決定額62,574,000円】

令和2年3月17日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいたが、処分先場の受け入れる余裕地がなくなったことにより、残土受入を拒否されたため見込んでいた処分先へ搬出が困難となった。そのため、受入可能かつ残土処分費に係る単価が最安値となる処分先に変更する。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　68,843,000円】

（上記理由による増減額　＋2,678,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約を締結し、令和２年１月23日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時共有されていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更がなかったため、影響額は無とした。

－　　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。
・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

平成30年災　第5132号　二級河川野呂川水系中畑川　砂防設備災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川野呂川水系中畑川の砂防設備災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものである。

【決定額67,380,000円】

令和5年3月6日付けの国との設計変更協議において、

「査定時は、運搬費及び受入費の合計金額が最安値となる処分先を見込んでいたが、実施にあたり、処分先の受入れ状況を確認したところ、当初予定していた処分先及び現場近傍の処分地は、受入れ可能量まで達し受入不可となった。そのため、再選定結果に基づき処分先地を変更したい。」

との内容について、受入地の聞取表を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　93,997,000円】

（上記理由による増減額　＋1,924,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている聞取表の内容は事実でないと判定した。

実際には、事務所内での受入可能な受入地の情報をもとに、国への設計変更協議上と同じ処分地を選定した単価により変更契約を締結し、令和4年12月26日付けで完成している。

国との設計変更協議には、現地の状況変化の説明が必要なため、当時持っていた情報をもとに事実でない聞取表を添付していたものである。

（影響額の算定）

聞取表は事実でなかったため、改めて当時の受入状況をヒアリングした上で、最も経済的となる受入地を確認した。その結果、設計変更協議時に選定した受入地に変更がなかったため、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる業務改善策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・国との設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図る。

・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。

・大規模災害時において残土処分地が受入不可となった場合（見積徴収等）の残土処分費決定ルールを策定する。

平成30年災　第3442号　二級河川沼田川水系沼田川　河川災害復旧工事

（経緯）

本件災害復旧工事は、平成30年7月豪雨に伴う災害復旧事業として採択された、二級河川沼田川水系沼田川の河川災害復旧工事である。

災害査定は、平成31年1月28日から2月1日の間に実施された。決定した工事概要は、被災した護岸をコンクリートブロック積工や、現場打擁壁工等で復旧するものである。

【決定額78,013,000円】

令和3年2月25日付けの国への設計変更協議において、

「本工事に近接する市道橋を他事業として復旧する予定であったが、調整の結果、同時期に施工することが出来ないため、市道橋復旧時のとりつけ影響範囲では、市単独費で施工することとした。」

との内容について、市道橋管理者との協議録を添付した上で協議し、同意を得た。

【設計変更協議で同意を得た変更決定額　74,545,000円】

（上記理由による増減額　△3,474,000円）

今回の不適正な事務処理事案の発覚後、関係者への聞取り等を実施した結果、設計変更協議書に添付されている協議録の協議日が異なっている。

実際には、工事延長の減について、変更契約を締結の上令和２年５月25日付けで完成している。

国との設計変更協議が後回しとなっていたため、協議録の日付を遡って作成していたものと考えられる。

（影響額の算定）

協議録の日付は事実でないが、協議の内容は事実であり、また、施工箇所の一部の災害復旧事業を廃止（延長減）していることから、影響額は無とした。

－　（円）

（当該事案にかかる再発防止策）

・コンプライアンス研修の内容を見直すとともに、階層別に対する研修を実施する。

・設計変更協議は協議対象の工事着手前に行うことを各事務所へ通知し、周知徹底を図

る。
・国との設計変更協議の内容について事務所内で協議し、決裁した上で技術企画課に提出するよう通知する。